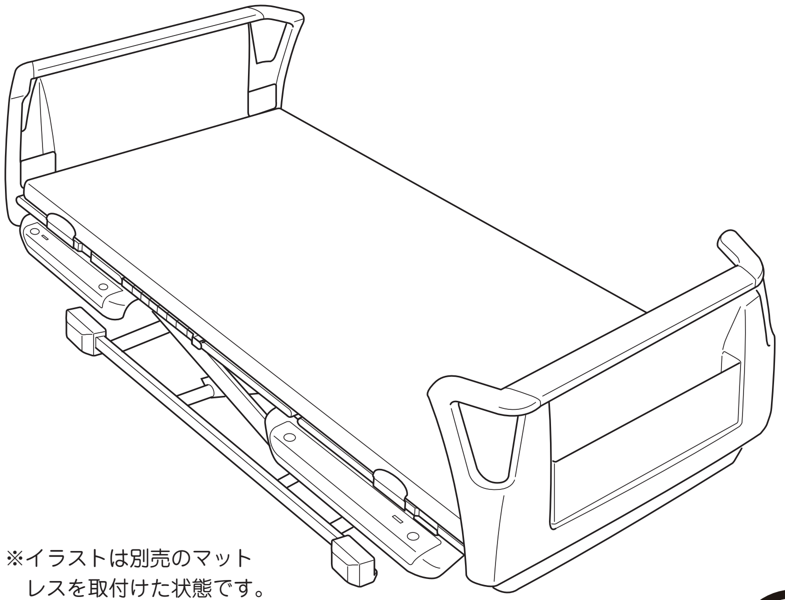
PARAMOUNT BED

取扱説明書

在宅ケアベッド　楽匠Sシリーズ

保証書別添

7F07375300A9



※イラストは別売のマットレスを取付けた状態です。

JIS T 9254:2009

JQA　JQ0308178

福祉用具

種類：背・ひざ・高、背・高、背

まえがき

このたびは、**在宅ケアベッド楽匠Sシリーズ**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しています。

- **ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- **ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。**
- **この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。**
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

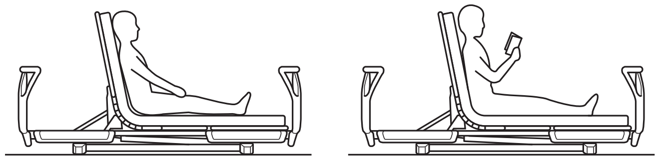
パラマウントベッド株式会社

1 使用目的・特長

■楽匠 S シリーズは、ご家庭でベッドを使用する方の動作を助けること、介護する方の介護負担を軽くすることを目的として作られたベッドです。
ベッドには、次のような特長があります。

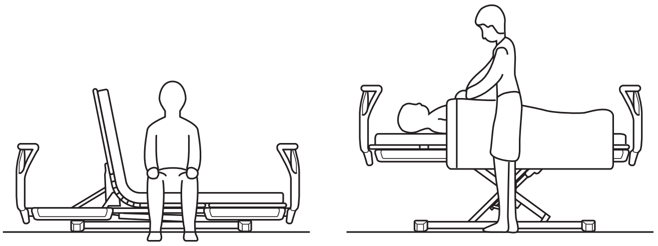
1. 手元スイッチ操作でベッドポジションを自在にコントロール

背 あ げ



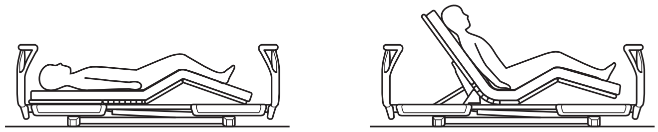
●ベッドからの起きあがりに役立ちます。
●ベッド上での食事、読書などに便利です。

高 さ 調 節



●座って、かかとが着く程度の高さに調節すると、安定した端座位がとれます。
●車椅子などの座面と高さをあわせると、移乗がしやすくなります。
●適度な高さまでベッドをあげると、楽な姿勢で介護ができます。
※1モーターシリーズは除く

膝 あ げ



●背あげを行う場合、先に膝をあげておくと身体のずれを少なくできます。
●背と膝の角度を適度にあげると、身体に負荷のかかりにくい楽な姿勢がとれます。
※2モーター・1モーターシリーズは背あげと連動

2. 伸びてやさしく曲がるキューマラインを採用
●背をあげたときの腹部の圧迫を軽減し、快適な背あげを行います。

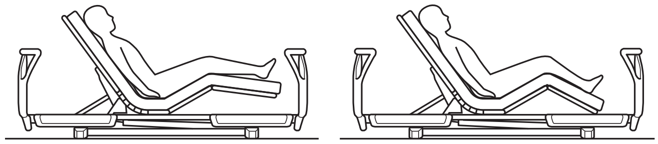
3. らくらくモーション搭載（らくらくモーションシリーズのみ）
●背あげ時の圧迫感を大幅に軽減します。
●背あげ時、さげ時の身体のずれを大幅に軽減します。
●背あげ時の姿勢をしっかり保持します。

4. 低床 20 ㎝※1
●低床のため、万一の転落の際にも衝撃を軽減します。
●背の低い方でも座った際に、かかとをしっかりゆかにつけることができます。

5. 最高床高 65 ㎝※1
●高さ調節の範囲が広いので、ベッドを使用する方、介護する方が使用しやすい高さに調節できます。
※1）ゆかからボトム上面までの高さを示しています。

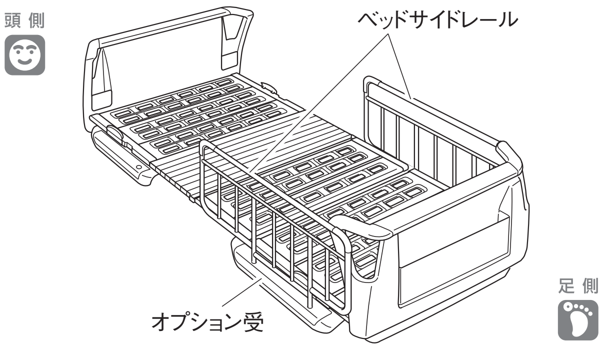
6. 垂直昇降機構を採用
●安定した端座位のまま高さ調節ができます。
●ベッドの高さ調節の際、ベッドが前後方向に動かない（スイングしない）ため、ベッドの設置スペースを小さくできます。

7. 足先の角度切換えが可能



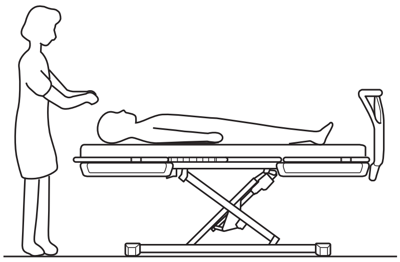
●膝あげの際、膝から先の曲がり角度(足ボトムの角度)を2段階（足先をあげる・足先をさげる）に調節できます。

8. 格納可能なオプション受



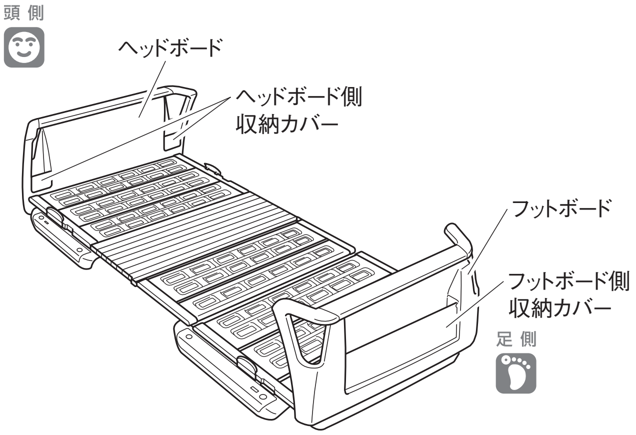
●オプション受には、ベッドサイドレールやスイングアーム介助バーなどを取付けることができます。
●オプション受を格納すると、車椅子などをよりベッドに近づけることができます。
また、ベッドの設置スペースをより小さくできます。

9. ボードの取外しが簡単



●ヘッドボード・フットボードの取外しができますので、シーツ交換、身体の清拭、洗髪、洗顔などの介護がしやすくなります。

10. 小物が収納可能なボード（KQ-9**0、KQ-9**1 シリーズのみ）



●ボードに収納スペースがあるため、身の回りの小物や取扱説明書などを入れることができます。

11. 自社開発の安全な電装品

●静粛性に優れたリニアアクチュエーターを採用しているため、ベッドの電動動作音が静かです。
●手元スイッチの入 / 切ボタンにより、ベッドの電源の ON/OFF を行えます。
●「点検お知らせ」機能により、電装品の点検時期をお知らせします。

2 もくじ

1 使用目的・特長 ······ 1 ～ 2

2 もくじ ······ 3 ～ 4

3 各部の名称 ······ 5

4 安全に使用するための注意事項 ······ 6 ～ 15

5 ベッドの使用方法

1. 手元スイッチの各部の名称······16 ～ 17
2. 手元スイッチを安全に使用するための注意事項······18
3. 手元スイッチの取付位置について······19
4. ベッドの電源を入れましょう······20
5. 背を動かしてみましょう······21 ～ 23
6. ベッドの高さを動かしてみましょう らくらく 3モーター 2モーター ······24
7. 膝を動かしてみましょう らくらく 3モーター ······25
8. 手元スイッチを設定・確認するときは······26 ～ 29
9. 手元スイッチ表示一覧······30 ～ 31
10. オプション受を使用・格納したいときは ······32 ～ 34
11. 足先の角度を変えたいときは ······35 ～ 36
12. 背膝連動 / 背あげを切換えたいときは 2モーター 1モーター ······37 ～ 38
13. ボードの収納カバーについて（樹脂ボードのみ）······39

6 ユニットの組合せと JIS の適合について ······ 40 ～ 41

7 設置についての注意事項 ······ 42

8 開梱と部品の確認 ······ 43 ～ 45

9 ベッドの組立方法

1. 脚座の取付け······46 ～ 47
2. 足側フレームの取付け······48 ～ 50
3. 頭側フレームの取付け······51
4. コード類の配線······52 ～ 55
5. 背膝連動幹の取付け 2モーター 1モーター ······56
6. オプション受の調節······57
7. ボード受金具の調節······58
8. ボトムの取付け······59 ～ 62
9. マットレス止めの取付け······63
10. ヘッドボード・フットボードの取付け ······64

10 組立後の点検 ······ 65 ～ 70

11 適合オプションについて

1. 延長フレーム ······72
2. キャスター・ハイトスペーサー（延長脚）・キャスター付ハイトスペーサー（延長脚）···73

3. ベッドサイドレール ……………………………………………74
4. ソフトカバー付／クリアカバー付／サクっとポケット付ベッドサイドレール ………74
5. スイングアーム介助バー（ベッド用グリップ）……………………75
6. ソフトカバー付／サクっとポケット付スイングアーム介助バー ………………75
7. オーバーテーブル／アジャストテーブル …………………………76
8. サイドサポート ……………………………………………………76
9. IV ポールホルダー …………………………………………………76

⓬ マットレス（別売）の使用方法とご注意 ………………………… 77

⓭ 電動介護リフト使用時のご注意

1. 電動介護リフト（床走行式リフト）の使用方法とご注意 ………………78
2. 電動介護リフト（機器設置式リフト）の使用方法とご注意 ……………79

⓮ 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

1. 背さげのしかた ……………………………………………………80
2. 戻しかた ……………………………………………………………81

⓯ 定期点検と日常のお手入れ

1. 定期点検 ……………………………………………………………82
2. 日常のお手入れ ……………………………………………………82

⓰ 故障かな？と思ったら ……………………………………………… 83 ～ 84

⓱ 長期保管と移動（移設）について

1. 長期保管 ……………………………………………………………85
2. 移動（移設）…………………………………………………………86

⓲ ベッドの分解方法

1. 分解作業の前に ……………………………………………………87
2. ヘッドボード・フットボードの取外し ……………………………87
3. マットレス止めの取外し …………………………………………88
4. ボトムの取外し ……………………………………………………89 ～ 91
5. コード類の配線の取外し …………………………………………92 ～ 94
6. 背膝連動幹の取外し 2モーター 1モーター ……………………………95
7. 頭側フレームの取外し ……………………………………………96
8. 足側フレームの取外し ……………………………………………97 ～ 98
9. 付属部品と分解したユニットの保管 ……………………………99

⓳ 仕様 …………………………………………………………………… 100～101

⓴ アフターサービスについて ………………………………………… 102

おことわり

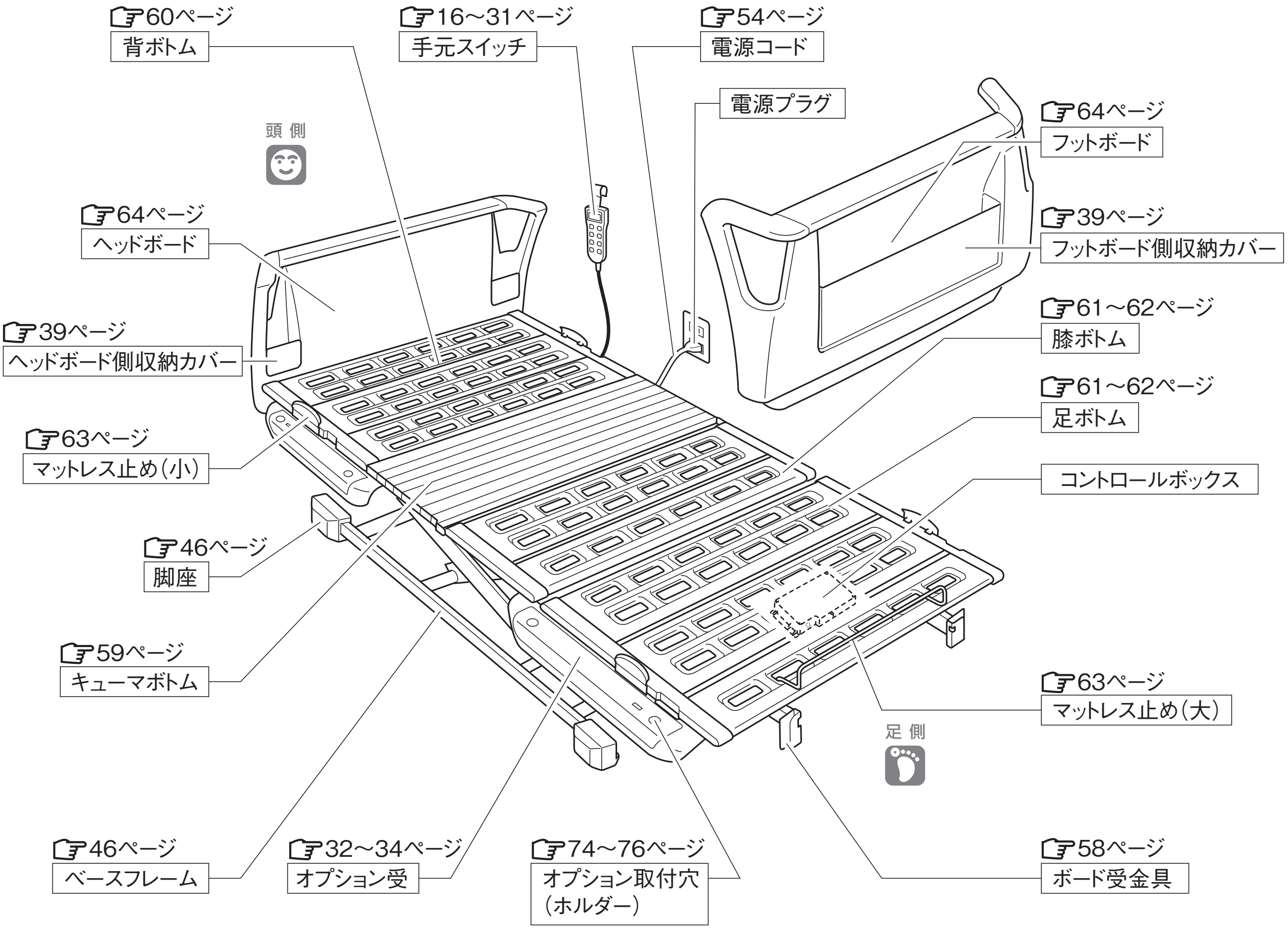
● 5ページ「3. 各部の名称」以降、本文中に記載の名称を一部以下のように略しております。

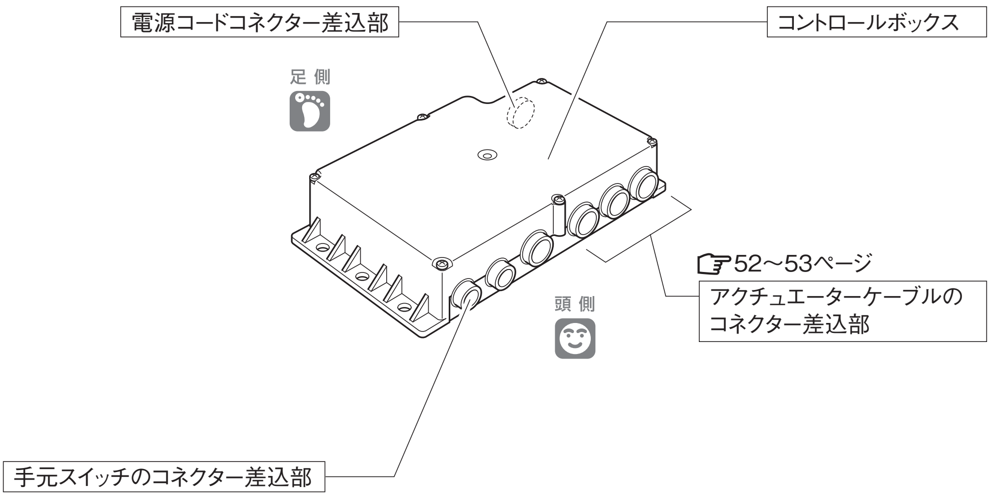
・ベッドサイドレール　➡　サイドレール
・スイングアーム介助バー　➡　介助バー

3 各部の名称

このマークの数字は、
説明のあるページを示しています。

※イラストはフットボードを取外した状態を示しています。





4 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

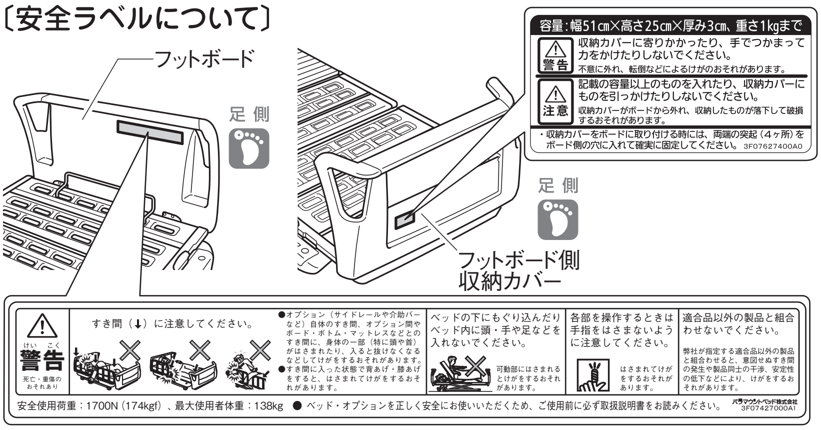
●ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

⚠ 警告（けいこく）	**この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折･圧迫･麻痺（まひ）など）を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠ 注意（ちゅうい）	**この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

★『安全に使用するための注意事項』などに記載の項目で、特に【すき間に関する注意】は、生命にかかわる重大な事故につながる可能性のある重要な項目です。本取扱説明書とあわせ、製品に別添の『すき間および電装品についての注意事項』を必ずお読みいただき、正しく安全にお使いください。なお、特に予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

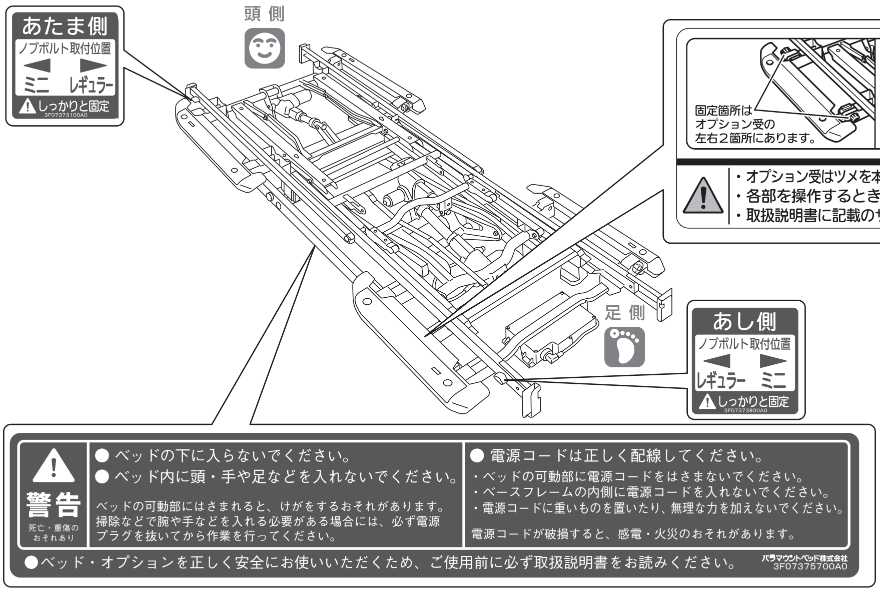
※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

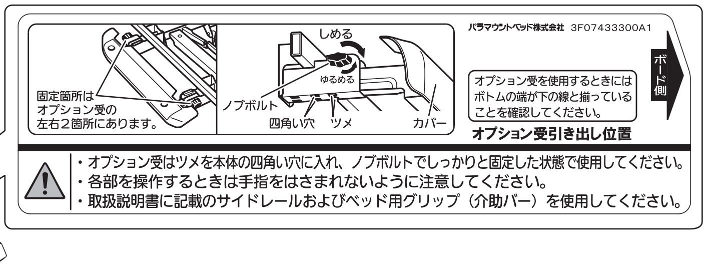
〔安全ラベルについて〕



●注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側とフットボード側収納カバー（樹脂ボードのみ）、ベースフレームの側面、オプション受の上面、ボード受金具の側面に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。

●安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。





※イラストはボード・ボトムを取外した状態を示しています。

4 安全に使用するための注意事項

⚠ 警告

■ベッドに直接取付けて使用するサイドレール、マットレスなどは弊社が指定する適合品をお使いください

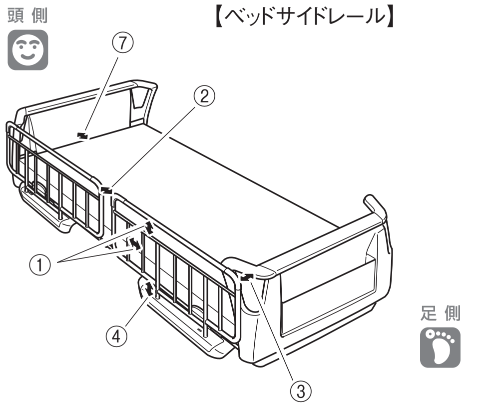
●指定以外の製品や他社製品と組合せると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。

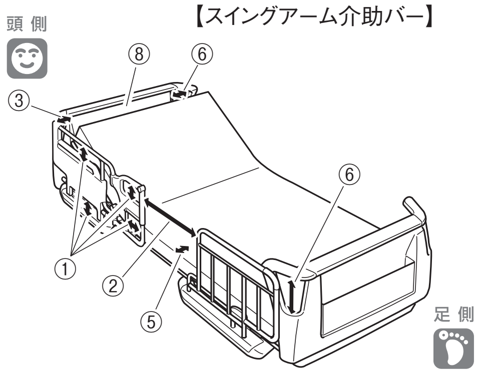
■すき間に注意してください

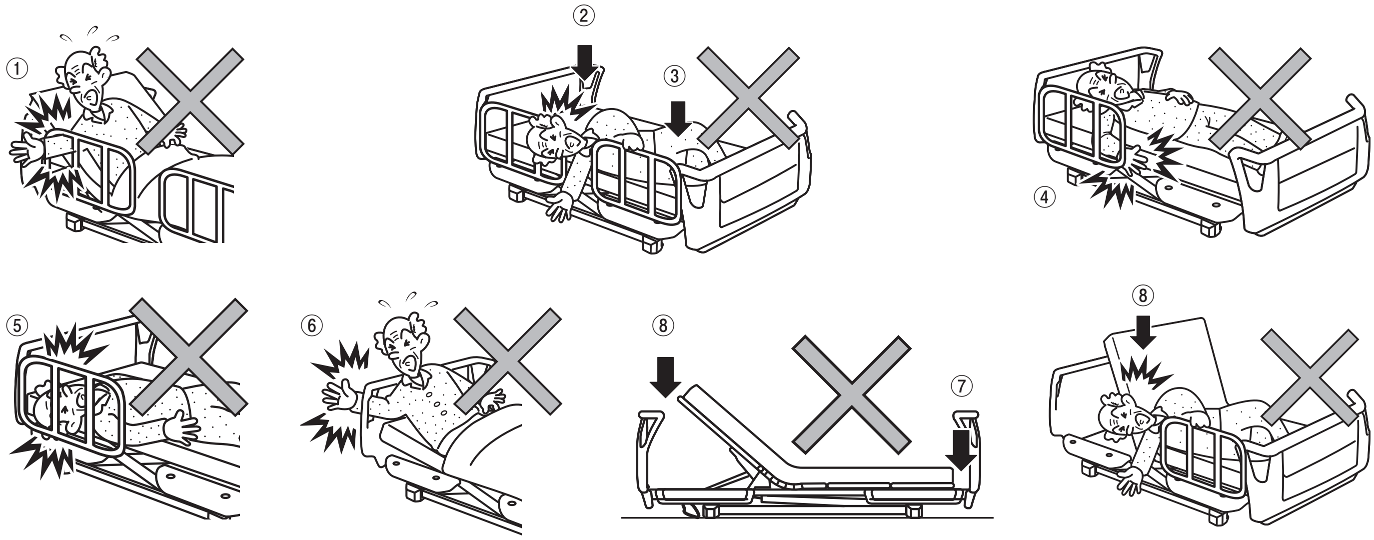
●ベッドやサイドレール・介助バーなどにはすき間があります。また、サイドレールや介助バーなどを組合せるとすき間ができます。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）がはさまれて、けがをするおそれがあります。
下記に記載の項目に注意してください。
●特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

①サイドレールなどの内部のすき間	⑤サイドレールなどとボトム·マットレスのすき間（幅方向）
②２本のサイドレールなどの間のすき間	⑥ボード内部のすき間
③サイドレールなどとボードのすき間	⑦ボードとマットレスのすき間
④サイドレールなどとボトム·マットレスのすき間（高さ方向）	⑧あがっているボトムとボード・サイドレールなどのすき間

※図は一例です。







⚠ 警告

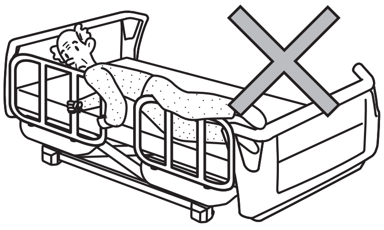
■身体の一部がすき間に入った状態で、手元スイッチの操作をしないでください

●すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
●特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■ベッドと壁や周りのものとのすき間にはさまれないように注意してください

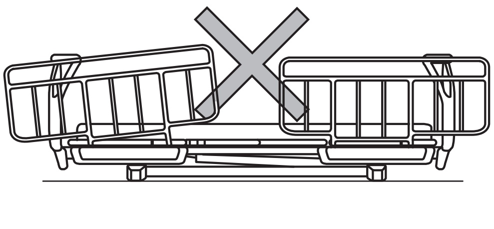
●身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
●特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください



●サイドレールとサイドレール、各ボードとサイドレールのすき間から転落し、けがをするおそれがあります。
●サイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。
●厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなり、サイドレールを乗り越えやすくなりますのでご注意ください。
●ベッドの背をあげた状態で使用される場合、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。
●特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

■サイドレール・介助バーなどを取付ける際は、正しい向きで取付けてください



●ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して、身体の一部がはさまれてけがをするおそれがあります。
●誤った向きでは確実に差込むことができず、サイドレール・介助バーなどが不意に外れるなどして、けがをするおそれがあります。正しい向きでの取付けかたについては、各オプションの「取扱説明書」を参照してください。
●誤った向きでは、ベッドの頭側・足側から大きくとび出る場合がありけがをするおそれがあります。
※ミニタイプは、通常取付状態でも最大約 20mm とび出しますが正常です。

4 安全に使用するための注意事項

⚠ 警告

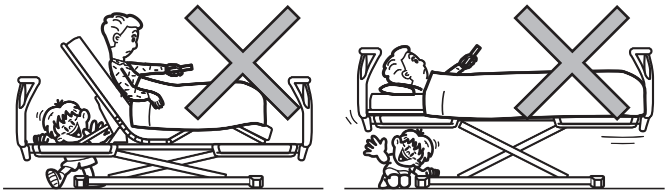
■サイドレール・介助バーなどを取付ける際は、オプション取付穴に異物が入っていないことを確認してください

●異物が入っていると確実に取付けることができず、ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して、身体の一部がはさまれてけがをするおそれがあります。

■ベースフレームに足をかけないでください

●ベースフレームに足をかけたり、足先を入れたりしないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

■ベッドの下に潜り込んだり、頭、手や足などを入れないでください



●ベッドの可動部とフレームやサイドレール・介助バーなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。手元スイッチ操作は、ベッドの下および周りに人や障害物がないことを確認して行ってください。

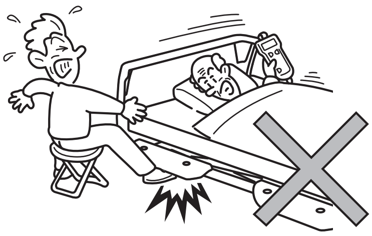
■手元スイッチ操作中はベッドのフレームとボトムの間などに手（指）や足などを入れないでください

●さがってきたボトムとベッドのフレームやボードなどの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

■オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください

●衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。
●ベッドの乗り降りなどの際に転倒して、けがをするおそれがあります。

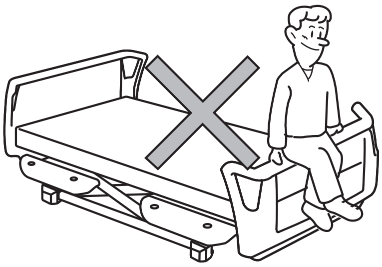
■ベッドの高さをさげるときは、オプション受の下に足を入れないでください



●はさまれて、けがをするおそれがあります。

⚠ 警 告

■サイドレール・介助バーやヘッドボード・フットボードなどに腰掛けたりしないでください



●ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドやサイドレール・介助バーなどが破損・変形して、けがをするおそれがあります。

■操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください

●操作が理解できないと思われる方が、1 人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。
・全禁止スイッチで手元スイッチをロック（禁止）する。（設定方法は 26 ページを参照）
・動作部位選択スイッチで操作ボタンをロック（禁止）する。（設定方法は 27 ページを参照）
・電源プラグを抜く。

●全禁止スイッチで手元スイッチをロック（禁止）している場合でも、もう 1 度全禁止スイッチを押すことにより、ロック（禁止）は解除され、手元スイッチが操作有効の状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

●動作部位選択スイッチで手元スイッチの操作ボタンをロック（禁止）している場合でも、操作音スイッチを 3 秒以上押し続けることにより、手元スイッチの設定はリセットされ、ボタン操作が有効の状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

■ボトム角度やベッドの高さを調節する際は、ベッドをご使用の方の状態に注意してください

●ベッドをご使用の方がボトム角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

●特に自分で体位を保持できない方の場合は、身体を支えながら操作してください。

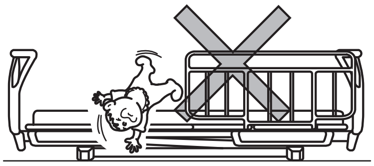
■ベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離す際は、ボトムの角度やベッドの高さに注意してください

●介護者などがベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離す際は、万一のベッドからの転落に備え、ご使用の方の状況に応じて、ボトムの角度を水平にしてベッドの高さを一番低い位置にしてください。

4 安全に使用するための注意事項

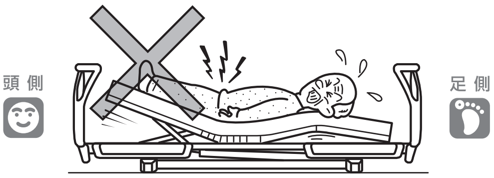
⚠ 警告

■乳幼児やお子様には使用しないでください



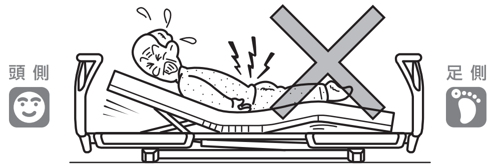
●本製品は乳幼児やお子様向けに設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。
●サイドレールを使用していてもすき間から転落して、けがをするおそれがあります。

■ベッドは正しい向きで使用してください



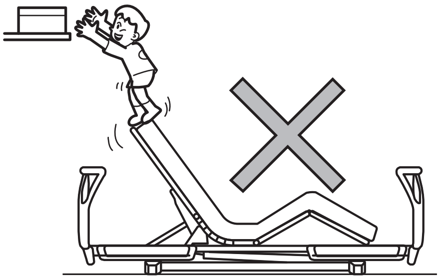
●ベッドの頭側、足側を間違えて寝たまま背あげ・膝あげ動作を行ったり、背あげ·膝あげした状態のベッドに頭側、足側を間違えて寝ると無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

■うつ伏せや横向き(仰向け以外)で寝た状態での角度調節は行わないでください



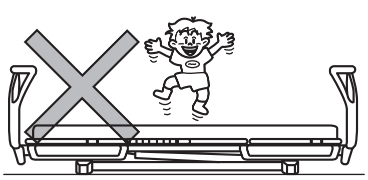
●関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

■踏み台がわりにしないでください



●ベッドから転落・転倒して、けがをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ベッドの上で飛び跳ねないでください



●ベッドから転落・転倒してけがをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください

⚠ 警告（けいこく）

■オプション受はベッドの幅（83 ㎝／ 91 ㎝）にあわせて正しい位置に設定してください。また、オプション受は正しい向きで使用してください

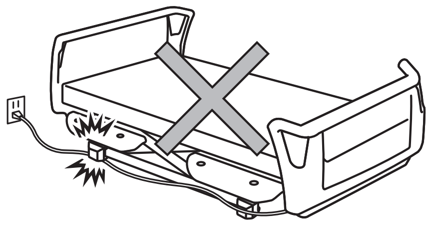
●誤った位置や向きで使用すると、ベッドとサイドレール・介助バーなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれて、けがをするおそれがあります。

（設定方法は、32 ～ 34 ページ参照）

■お客様による修理・改造はしないでください

●意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、けがをするおそれがあります。
●改造などを行った場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

■コード類（電源コードなど）を傷つけないでください



●コード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。
○ベッドの可動部にコード類をはさまないようにしてください。
○コード類に重いものを置いたり無理な力を加えないようにしてください。
○ベッドでコード類を踏みつけないでください。
●傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。

■電源コードや手元スイッチのコードに足を引っ掛けないようにしてください

●プラグやコードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
●転倒して、けがをするおそれがあります。

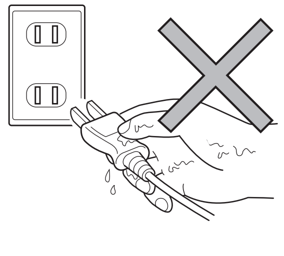
■ベッドやその他の電気機器のコード類（電源コードなど）をベッドの下に通さないでください

●脚座やキャスター、可動部などにはさまれてコード類が破損し、感電・火災のおそれがあります。

■電子治療器を使用するときは必ず電源プラグを抜いてください

●電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。
●なお、他の ME 機器と併用する際は、安全をご確認の上ご使用ください。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください



●ショートして感電したり、故障するおそれがあります。

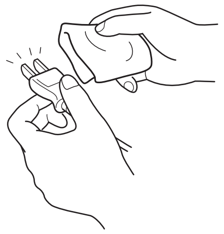
4 安全に使用するための注意事項

⚠ 警告

■掃除などベッドの下に入る際は電源プラグを抜いてください

●誤操作によりフレームなどにはさまれて、けがをするおそれがあります。

■電源プラグにほこりを付着させないでください



●電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。
●電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

■電源プラグに無理な力を加えないでください

●電源プラグが破損し、感電・火災のおそれがあります。

■電源プラグを抜く際は、電源プラグを持って抜いてください

●電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで、感電・火災のおそれがあります。

■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください

●誤操作によりベッドが動作し、けがをするおそれがあります。

■タコ足配線は行わないでください

●コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

■水などをこぼさないでください

●モーターや手元スイッチなどの電装品に、水などをこぼさないでください。ショートして感電したり、故障の原因となります。誤ってこぼしてしまった場合には、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはパラテクノコールセンター（102 ページ参照）までご連絡ください。

■ベッドは定期的に点検してください

●使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬけがをするおそれがあります。

■被災したベッドは点検・修理をしてください

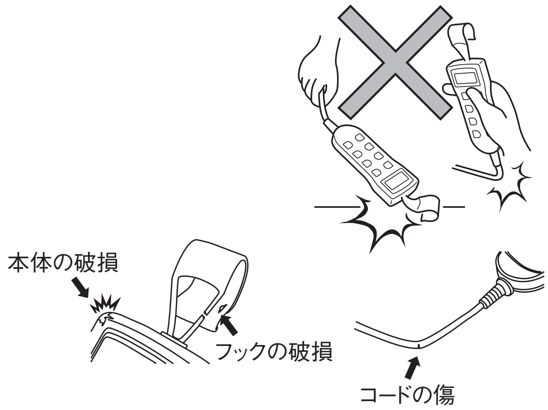
●地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（102 ページ参照）まで、点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

⚠ 警　告

■ベッドをご使用の方の容態にあわせて使用し、治療中の方は医師に相談をしてください

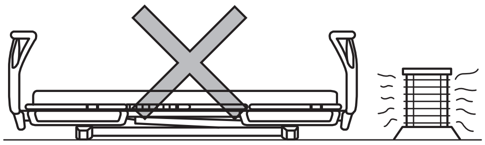
●ご使用の方の容態によっては、ベッドの操作で容態を悪化させる可能性があります。
●現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

■手元スイッチなどの電装品の取扱いに注意してください



●ベッドが誤作動してけがをしたり、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。また、故障の原因となります。
○ぶつけたり傷つけないでください。
○落としたり、コードを無理に引っ張らないでください。
●傷んだ手元スイッチなどの電装品は修理（交換）を依頼してください。

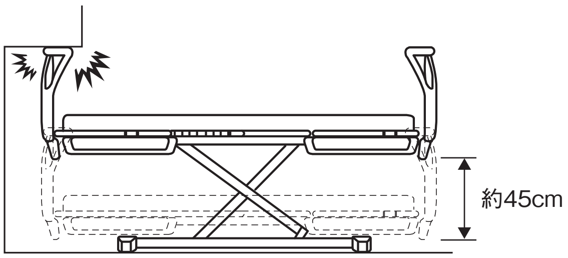
■火気に近づけないでください



●ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

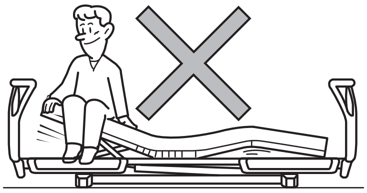
⚠ 注　意

■高さ調節のとき、壁や梁、壁のコンセントに気をつけてください



●ベッドや壁などが破損・変形するおそれがあります。ベッドは高さ調節操作で、上下に約 45 ㎝動きます。ご使用の際には、高さ調節でベッドが壁や梁、電源プラグにあたらないことをご確認ください。

■あがっているボトムに乗らないでください

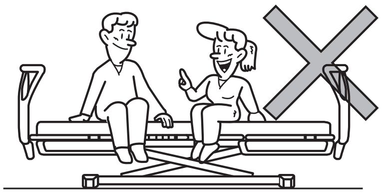


●ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因となります。

4 安全に使用するための注意事項

⚠注 意

■２人以上で使用しないでください



●このベッドは１人用の設計になっています。２人以上で使用すると、ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの最大使用者体重は 138kg です。一時的に、介護者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確かめてください。
○ベッドに乗る方の合計体重が 138kg を超えていないこと
○ボトムがさがってフラットになり、最低高さになっていること。
●介護者がベッドに乗る機会の多い場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（102 ページ参照）に依頼してベッドの定期点検を受けてください。

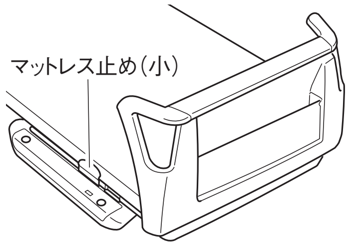
■ベッドに安全使用荷重を超える荷重を加えないでください

●ベッドが破損してけがをするおそれがあります。このベッドの安全使用荷重は 1700N（174 kgf）です。安全使用荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、使用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。

■手元スイッチ操作時は周囲を確認してください

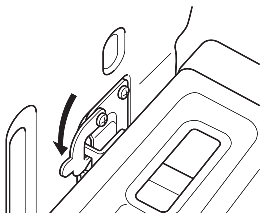
●手元スイッチ操作によって周囲の物を破損させたり、ベッドが破損・変形する原因となります。

■移乗の際などにマットレス止め（小）に身体をぶつけないように注意してください



●けがをするおそれがあります。

■ヘッドボード・フットボードはストッパーをかけてください



●ボードの取付けが不完全な場合、身体を支えるためボードにつかまったときやベッド移動でボードを押す（引く）ときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。（64 ページ参照）

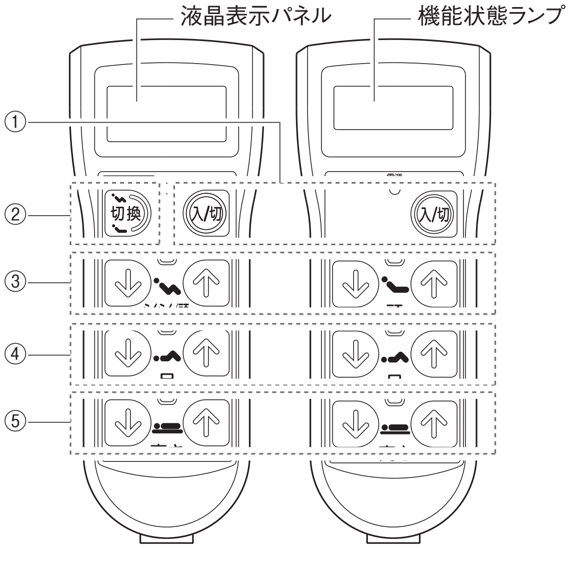
■スプレータイプの殺虫剤をベッドに直接噴射しないでください

●殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがありますので十分ご注意ください。

5 ベッドの使用方法

1. 手元スイッチの各部の名称

＜おもて面ボタン＞・・・20 ～ 25 ページ参照



らくらくモーションシリーズ　3/2/1モーターシリーズ
（イラストは3モーターシリーズ）

■切換ボタン

①入 / 切ボタン

ベッドの電源の「入 / 切」を切換えます。

②らくらく切換ボタン

背ボトムの動作パターン「らくらくモーション」・「背あげ」を切換えます。

■操作ボタン

③らくらく / 頭ボタン，頭ボタン

背ボトムの角度を調節します。

④足ボタン

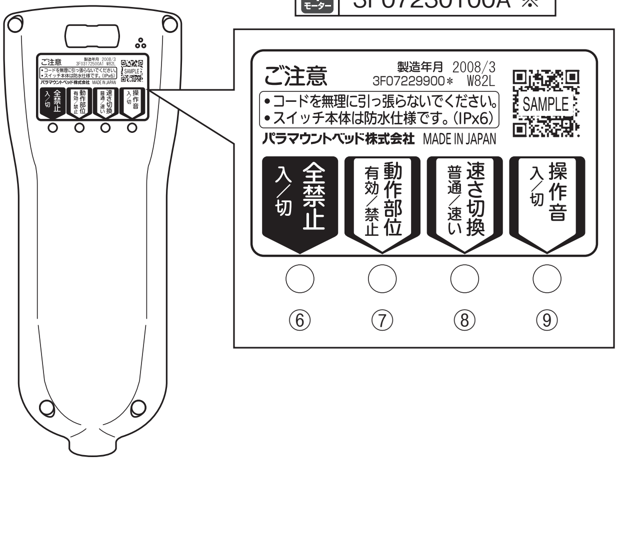
膝ボトムの角度を調節します。

⑤高さボタン

ベッドの高さを調節します。

＜うら面スイッチ＞・・・26 ～ 29 ページ参照

	手元スイッチ品番
らくらく	3F07229900A ※
3モーター	3F06929600A ※
2モーター	3F07229200A ※
1モーター	3F07230100A ※



⑥全禁止スイッチ

手元スイッチを使用されたくない場合に、すべてのボタン操作をロック (禁止) に設定することができます。

⑦動作部位選択スイッチ

③④⑤のボタン操作の「有効 / ロック (禁止)」を個別に設定することができます。

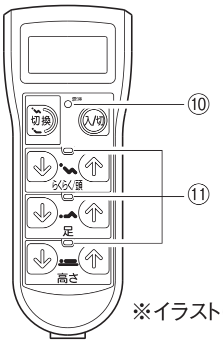
⑧速さ切換スイッチ

背ボトムとベッドの高さの動作速度を 2 段階「普通 / 速い」で切換えることができます。

⑨操作音選択スイッチ

・操作音の「入 / 切」を切換えることができます。
・3 秒以上押すことで、うら面スイッチとらくらく切換ボタンの設定内容を初期状態に戻すことができます。

＜表示ランプ＞・・・31 ページ参照



※イラストはらくらくモーションシリーズ

⑩電源ランプ

ベッドの電源の「入 / 切 」をお知らせします。

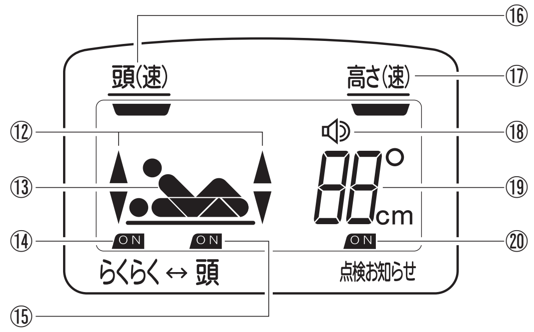
⑪操作選択ランプ

ボタン操作の「 有効 / ロック (禁止)」をお知らせします。

5 ベッドの使用方法

1. 手元スイッチの各部の名称

＜液晶表示パネル＞・・・30 ページ参照 らくらく



⑫動作方向
あがる / さがるの状態を表示します。

⑬動作部位
動作している部位を表示します。

⑭らくらく動作
背ボトムの動作パターンが「らくらくモーション」に設定されているときに点灯します。

⑮頭動作
背ボトムの動作パターンが「背あげ」に設定されているときに点灯します。

⑯頭速い
背ボトムの動作速度が「速い」に設定されているときに点灯します。

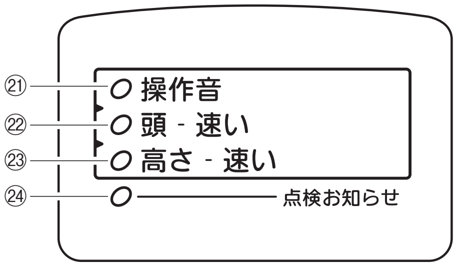
⑰高さ速い
ベッドの高さの動作速度が「速い」に設定されているときに点灯します。

⑱操作音
操作音が「入」に設定されているときに点灯します。

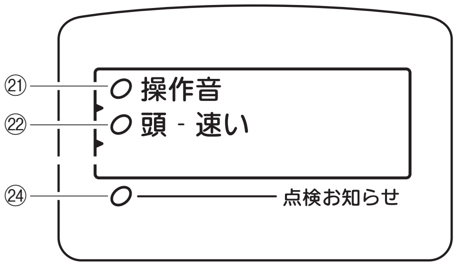
⑲角度･高さ
ベッドの角度または高さを表示します。

⑳点検お知らせ
電装品の点検時期のときに点滅します。

＜機能状態ランプ＞・・・31 ページ参照 3モーター 2モーター 1モーター



※イラストは、3/2モーターシリーズ



※イラストは、1モーターシリーズ

㉑操作音
操作音が「入」に設定されているときに点灯します。

㉒頭・速い
背ボトムの動作速度が「速い」に設定されているときに点灯します。

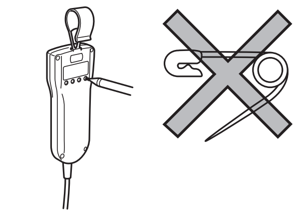
㉓高さ・速い
ベッドの高さの動作速度が「速い」に設定されているときに点灯します。

㉔点検お知らせ
電装品の点検時期のときに点滅します。

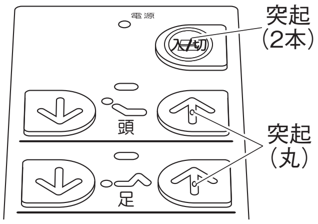
2. 手元スイッチを安全に使用するための注意事項

⚠ 警告	●操作が理解できないと思われる方（12 歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。操作が理解できないと思われる方が、1 人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬけがをするおそれがあります。1 人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、次のいずれかの方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。 ・全禁止スイッチで手元スイッチをロック（禁止）する。 （設定方法は 26 ページ参照） ・動作部位選択スイッチで操作ボタンをロック（禁止）する。 （設定方法は 27 ページ参照） ・電源プラグを抜く。 ●全禁止スイッチで手元スイッチをロック（禁止）している場合でも、もう 1 度全禁止スイッチを押すことにより、ロック（禁止）は解除され、手元スイッチが操作有効の状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。 ●動作部位選択スイッチで手元スイッチの操作ボタンをロック（禁止）している場合でも、操作音スイッチを 3 秒以上押し続けることにより、手元スイッチの設定はリセットされ、ボタン操作が有効の状態に戻ってしまいますのでご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。（29 ページ参照）

⚠ 注意	●手元スイッチは、楽匠 S シリーズ専用のものを取付けてご使用ください。正しく機能しないおそれがあります。取付ける前に、適合する手元スイッチの品番および形状が同じであることをご確認ください。（16・20 ページ参照） ●うら面スイッチの切換えは、先の細いもの（鋭利なものを除く）でスイッチを軽く押して行ってください。シャープペンシルを使用する場合は、芯を出したままで行わないでください。芯が折れてスイッチとケースの間にはさまると、手元スイッチの故障の原因となります。



■ボタンの説明



識別用突起

●入 / 切ボタンには、他のボタンと指でも識別できるよう、2 本の突起がついています。
●各部位のあげ操作ボタンには、指でも認識できるよう、丸い突起がついています。

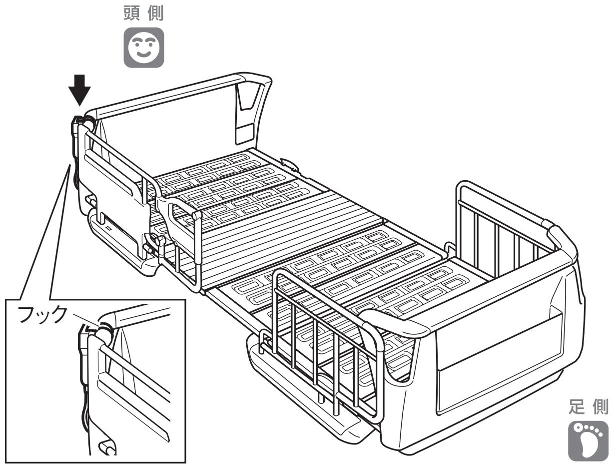
ボタン操作

●ボタンを押すと動き、離すとその位置でとまります。また、2 つ以上のボタンを押した場合も止まります。

注記!

●2 つ以上のボタンを押して止めた場合、再度操作をするときは、1 度すべてのボタンから手を離してください。
●ベッドが動作しない場合は、83 ～ 84 ページの「16 故障かな？と思ったら」を参照してください。

3. 手元スイッチの取付位置について

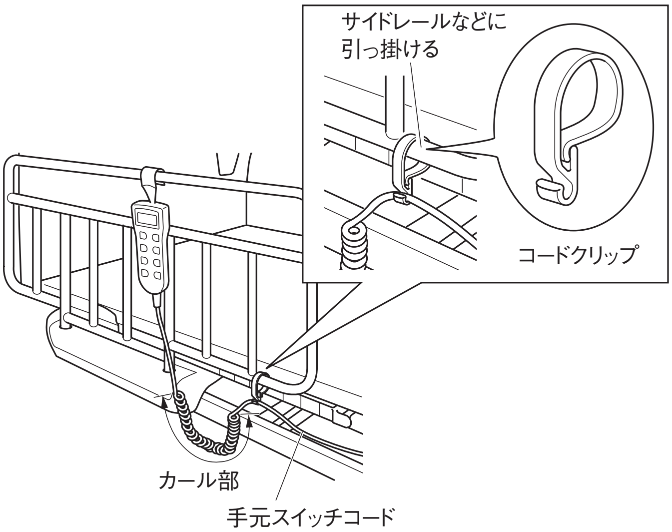


●手元スイッチはお使いになる方向によって、コードの配線方法が異なります。55 ページ「手元スイッチの配線」に従って、正しく配線してください。

●手元スイッチにはフックがついています。使用しないときは、操作ボタンに触れないようにフックを利用して、ボードもしくはサイドレールなどの外側に掛けてください。

⚠ 警告（けいこく）	
	●手元スイッチを使用しないときは、ボードもしくはサイドレールなどの外側に掛けてください。内側に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せぬベッドの動作によりけがをするおそれがあります。 **●手元スイッチを内側に掛けた状態で操作しないでください。ボトムとサイドレールなどのすき間に手（指）をはさまれてけがをしたり、手元スイッチが破損・変形するおそれがあります。**

■コードクリップの使い方



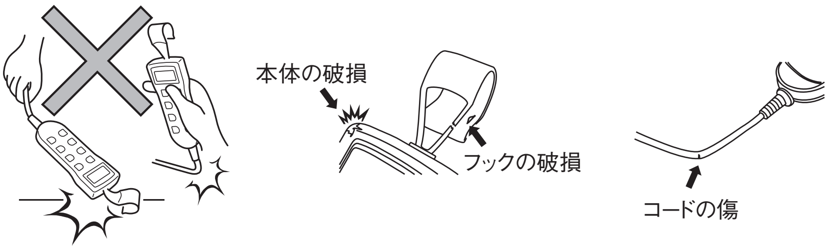
●付属のコードクリップを手元スイッチコードに取付け、サイドレールなどに引っ掛けることで、コードがゆかに着くことを予防することができます。

注記！

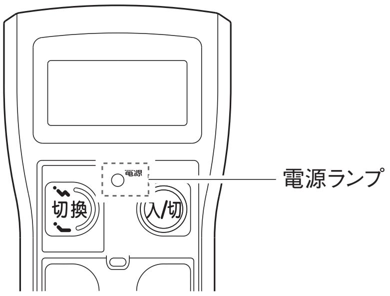
●コードクリップは、乗り降りの妨げにならない位置に取付けてください。

●コードクリップは、手元スイッチコードのカール部が常に引っ張られた状態にならない位置に取付けてください。

⚠ 警告（けいこく）	
	●手元スイッチの取扱いに注意してください。ベッドが誤動作してけがをしたり、ショートなどにより、感電・火災のおそれがあります。また、故障の原因となります。 **○ぶつけたり、傷つけないでください。** **○落としたり、コードを無理に引っ張らないでください。** **●傷んだ手元スイッチは修理（交換）を依頼してください。**



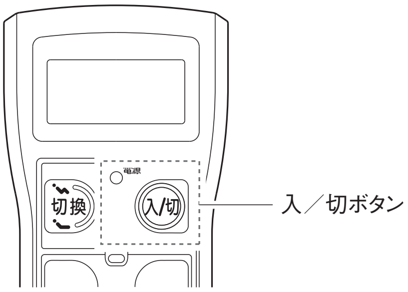
4. ベッドの電源を入れましょう



❶ベッドの電源プラグを、コンセントに差込んでください。手元スイッチの電源ランプが、オレンジ色に点灯します。

注記!

●電源ランプが点灯せず、いずれかのおもて面ボタンを押したときのみ電源ランプがオレンジ色に点灯する場合は、手元スイッチがロック(全禁止)されています。(26ページ参照)

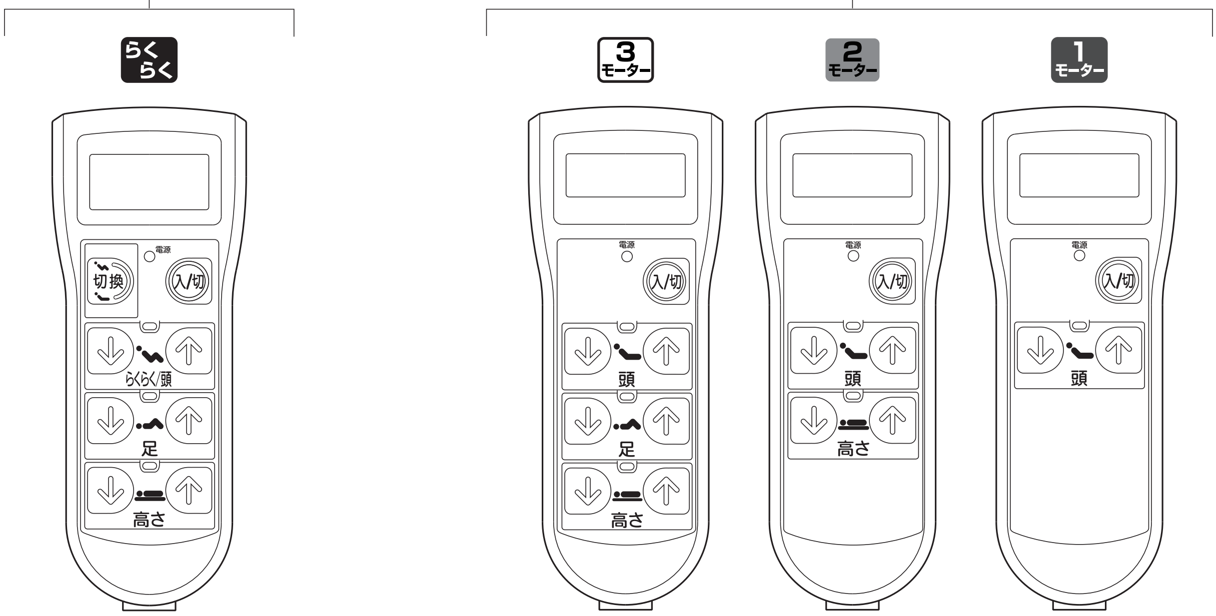


❷手元スイッチの入 / 切ボタンを押して、ベッドの電源を入れてください。電源ランプが緑色に変わります。もう一度入 / 切ボタンを押すと、電源ランプがオレンジ色に戻り、電源を切ることができます。

※イラストはらくらくモーションシリーズ

❸使用している手元スイッチの種類を確認し､下記ページからお読みください。

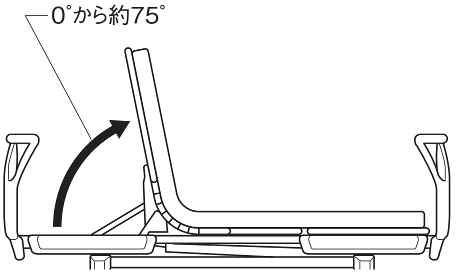
21 ページから
23ページから



5 ベッドの使用方法

5. 背を動かしてみましょう らくらく

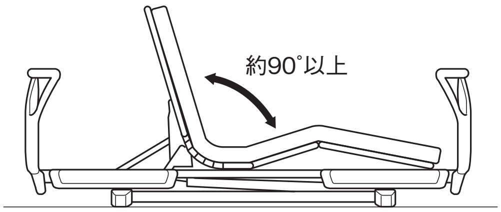
■背ボトムの動作範囲 らくらく



●背ボトムの角度を調節できます。
ベッドの背もたれ部分が、0° から約 75° まで調節できます。

●背ボトムの動作は、「らくらくモーション（背·膝が動作）」または「背あげ」かを選ぶことができます。

■角度制限機能 らくらく

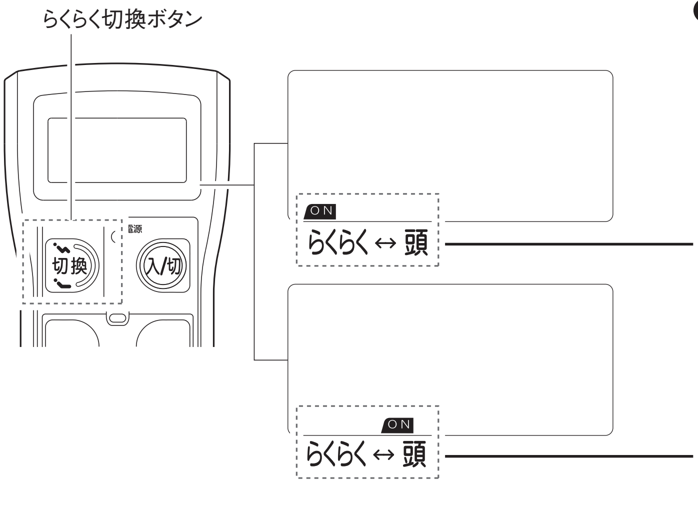


●胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝ボトムの間の角度が約 90° より小さくならないように自動的に動作します。
背ボトム（膝ボトム）をあげていくと、背ボトムと膝ボトムの角度が常に約 90° 以上になるように、膝ボトム（背ボトム）がさがります。

注記！ **●安全のため、角度制限機能は解除できません。**

■背ボトムの動作パターンを選びましょう らくらく

●らくらく切換ボタンを押してください。
押すたびに、液晶表示パネルのらくらく動作表示または頭動作表示に ON が点灯します。

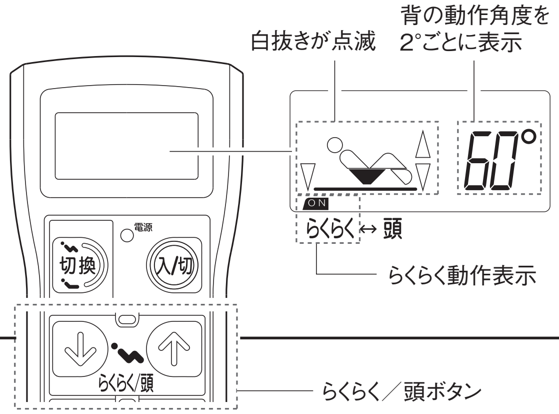


らくらく動作表示に ON
⇒「らくらくモーション」で動作…22ページ

頭動作表示に ON
⇒「背あげ」で動作…22ページ

■「らくらくモーション」で動かしましょう

らくらく



●らくらくモーションは、背あげ時や背さげ時の圧迫感やずれを軽減し、より良い姿勢を保てるよう、背ボトムと共に膝ボトムも動かします。
●らくらく動作表示に ON が点灯していることを確認してください。

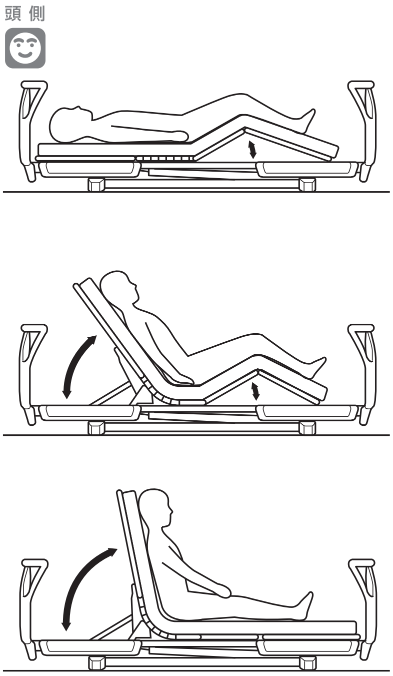
注記！ ●**膝角度は表示されません。**

あげボタンを押す

❶膝が先行して約 18° まであがると、連動して背が動きだします。

❷膝が約 26° で一度停止します。背が約 40° まであがると、膝が連動してさがり始めます。

❸背が約75°まであがるのとほぼ同時に膝が 0° までさがります。



さげボタンを押す

❶背がさがり始めるのとほぼ同時に、膝があがり始めます。

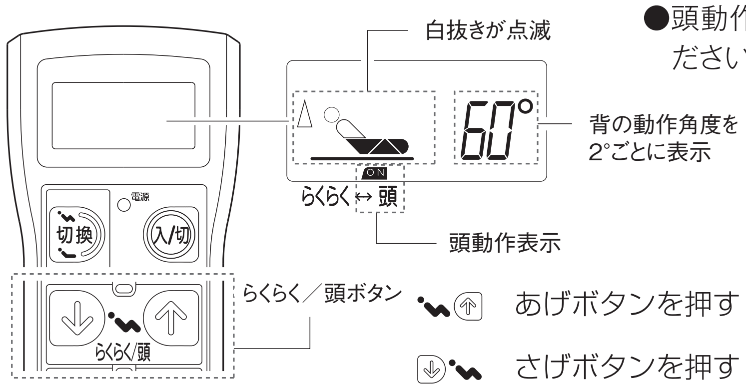
❷膝が約 26° で一度停止します。背が約 16° までさがると、膝が連動してさがり始めます。

❸背と膝が連動して 0° までさがります。

■「背あげ」で動かしましょう

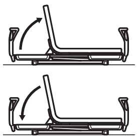
らくらく

●頭動作表示に ON が点灯していることを確認してください。



あげボタンを押す　背ボトムがあがります。

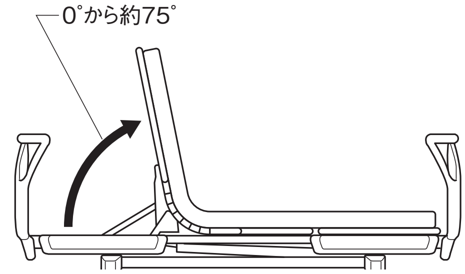
さげボタンを押す　背ボトムがさがります。



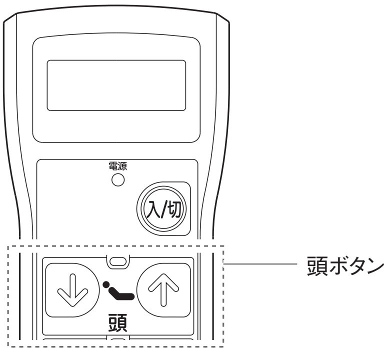
5 ベッドの使用方法

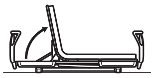
5. 背を動かしてみましょう 3モーター 2モーター 1モーター

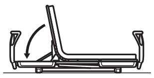
■背ボトムの動作範囲 3モーター 2モーター 1モーター



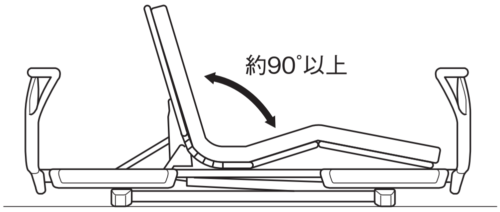
●背ボトムの角度を調節できます。
ベッドの背もたれ部分が、0° から約 75° まで調節できます。



あげボタンを押す  背ボトムがあがります。

さげボタンを押す  背ボトムがさがります。

■角度制限機能 3モーター



●胸部や腹部にかかる圧迫感を軽減するため、背ボトムと膝ボトムの間の角度が約 90° より小さくならないように自動的に動作します。
背ボトム（膝ボトム）をあげていくと、背ボトムと膝ボトムの角度が常に約 90° 以上になるように、膝ボトム（背ボトム）がさがります。

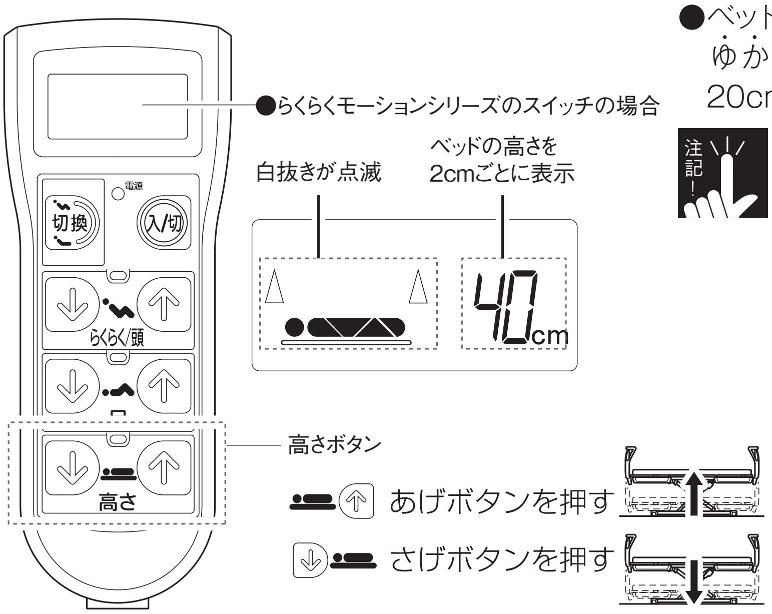
●安全のため、角度制限機能は解除できません。

■背膝連動 2モーター 1モーター

●切換金具操作により、背あげと連動して膝ボトムが約 20° まであがります。操作方法は、37 ～ 38 ページ「背膝連動 / 背あげを切換えたいときは」を参照してください。

6. ベッドの高さを動かしてみましょう らくらく 3モーター 2モーター

■高さの動作範囲 らくらく 3モーター 2モーター



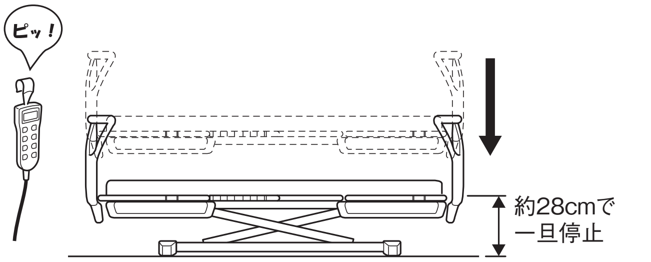
※イラストは、らくらくモーションシリーズ

●ベッドの高さを調節できます。
ゆかからベッドのボトム上面までの高さを、約20cmから約65cmまで調節できます。

注記 **●ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサー使用時は、表示と実際の高さは異なります。（47ページ参照）**

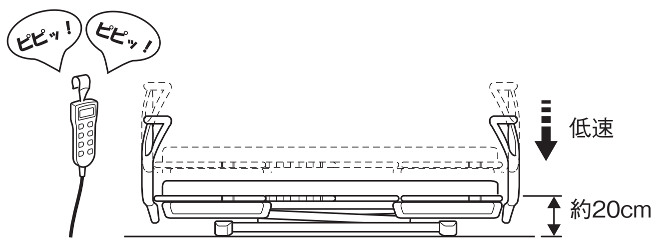
■低床位置のお知らせ らくらく 3モーター 2モーター

< 一旦停止時 >



●安全のため、ベッドの高さをさげる場合、ゆかからボトム上面までの高さ（床高）が約28cmで、ブザーを鳴らして一旦停止します。

< 低床動作中 >



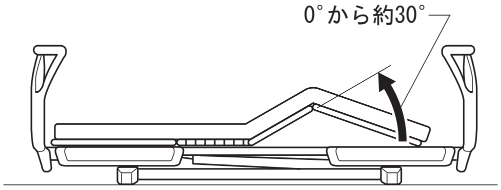
●再度、手元スイッチの高ささげボタンを押すと、ブザーを繰り返し鳴らしながら最低高さ（約20cm）までさがります。
○通常の速度より低速でさがります。
○床高28cm以下で停止しているときにベッドをさげる場合は、一旦停止せずに最低高さ(約20cm)までさがります。

注記 **●安全のため、一旦停止時・低床動作中のブザー音は、操作音選択スイッチで「切」に設定しても切ることができません。**
●ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサー使用時は、一旦停止する高さは表示と異なります。（47ページ参照）

5 ベッドの使用方法

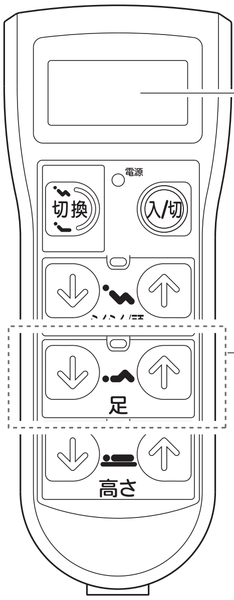
7. 膝を動かしてみましょう らくらく 3モーター

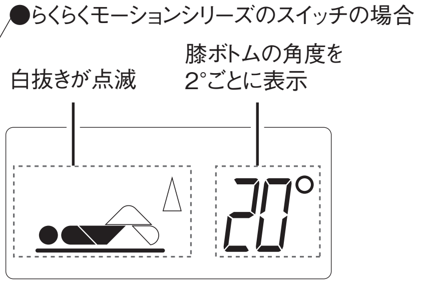
■膝ボトムの動作範囲 らくらく 3モーター



●膝ボトムの角度を調節できます。
膝ボトムが、0° から約 30° まで調節できます。

●2 モーター・1 モーターシリーズは、膝ボトムのみの調節はできません。





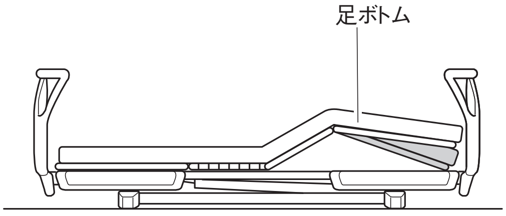
足ボタン

あげボタンを押す 膝ボトムがあがります。

さげボタンを押す 膝ボトムがさがります。

※イラストは、らくらくモーションシリーズ

■足先の角度切換 らくらく 3モーター 2モーター 1モーター



●手動で足ボトム先端の角度を 2 段階に切換えることができます。
切換操作方法は、35 ~ 36 ページ「足先の角度を変えたいときは」を参照してください。

8. 手元スイッチを設定・確認するときは

手元スイッチをロック（禁止）するときは

●手元スイッチうら面の全禁止スイッチを操作することにより、手元スイッチのすべてのボタンをロック（禁止）することができます。
●全禁止スイッチを押してください。
すべてのランプ、表示が消え、全禁止スイッチ以外のボタン操作がすべて無効になります。

全禁止スイッチ

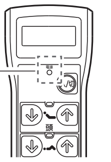
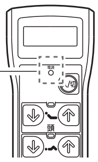
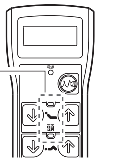
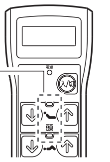
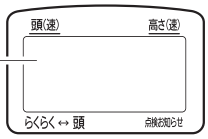
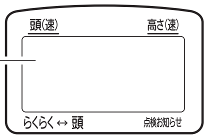
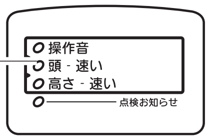
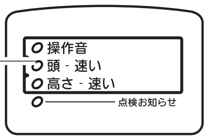
注記！ **●電源プラグを抜き差しした場合も、手元スイッチのロック（禁止）は解除されません。**

手元スイッチのロック（禁止）を解除するときは

●ロック（禁止）された状態で、全禁止スイッチを押すと、ロック（禁止）が解除され、ベッドの電源が入っていない状態になります。
●ベッドを操作する際は、おもて面の入 / 切ボタンを押してください。

注記！ **●手元スイッチをロック（禁止）する前の設定状態は、ロックを解除してもリセットされません。**

ロックまたは解除時の各表示部の状態

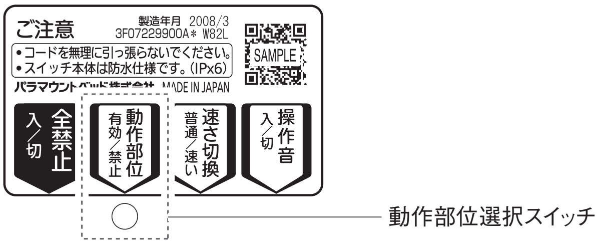
表示部	ロックされた状態（禁止） ※ボタン操作：無効	解除されている状態（有効） ※ボタン操作：有効
電源ランプ	消灯 ※おもて面ボタンを押したときのみオレンジで点灯 	点灯 （オレンジまたは緑） ※ロック解除後はオレンジ 
操作選択ランプ	すべて消灯 	設定状態により点灯／消灯 ※ロック解除後はすべて消灯 
液晶表示パネル らくらく	すべて消灯 	設定状態により点灯／消灯 ※ロック解除後はすべて消灯 
機能状態ランプ 3モーター 2モーター 1モーター	すべて消灯 	設定状態により点灯／消灯 ※ロック解除後はすべて消灯 

5 ベッドの使用方法

8. 手元スイッチを設定・確認するときは

個別に操作ボタンの有効 / ロック (禁止) を設定するときは

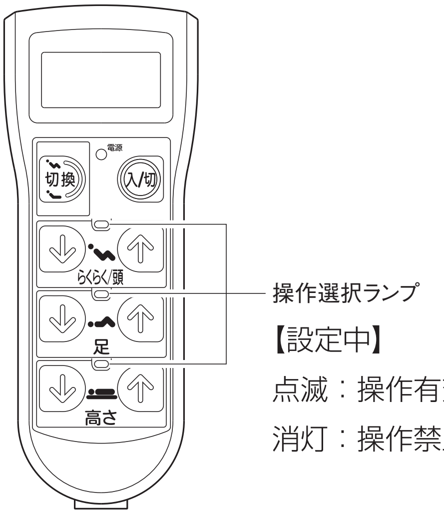
■動作部位選択スイッチで、らくらく / 頭・頭･足･高さそれぞれの操作ボタンを個別にロック（禁止）または有効に設定することができます。



❶動作部位選択スイッチを押してください。電源ランプが点滅し、操作選択ランプが以下の状態になります。
[操作有効] : 点滅　　[操作禁止] : 消灯

❷ロック（禁止）にしたい場合は、点滅している箇所（「らくらく / 頭」「頭」「足」「高さ」）のあげ ⇧・さげ ⇩ いずれかのボタンを押してください。操作選択ランプが消灯し、操作禁止を選択した状態になります。
※操作有効にする場合は、消灯している箇所のあげ･さげいずれかのボタンを押してください。操作選択ランプが点滅し、操作有効を選択した状態になります。

❸すべての選択が終了しましたら、動作部位選択スイッチを押してください。点滅していた電源ランプ･操作選択ランプが点灯し、選択したボタンの有効 / ロック（禁止）の設定が完了します。



【設定中】
点滅：操作有効
消灯：操作禁止

▷

【設定完了後】
点灯：操作有効
消灯：操作禁止

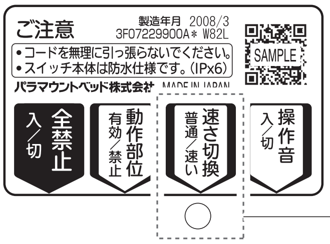
※イラストは、らくらくモーションシリーズ

注記！

●動作部位選択スイッチを押しただけでは、それまでの操作ボタンの有効 / ロック（禁止）の設定内容は取消しされません。
●らくらくモーションシリーズで、足ボタンを禁止にした場合は、らくらく / 頭ボタンの動作パターンが、「背あげ」に設定（固定）されます。
●動作部位選択スイッチを押して、ボタンの有効 / ロック（禁止）を選択後、15 秒間何も操作が行われない場合、選択が無効になり、動作部位選択スイッチを押す前の設定に戻ります。

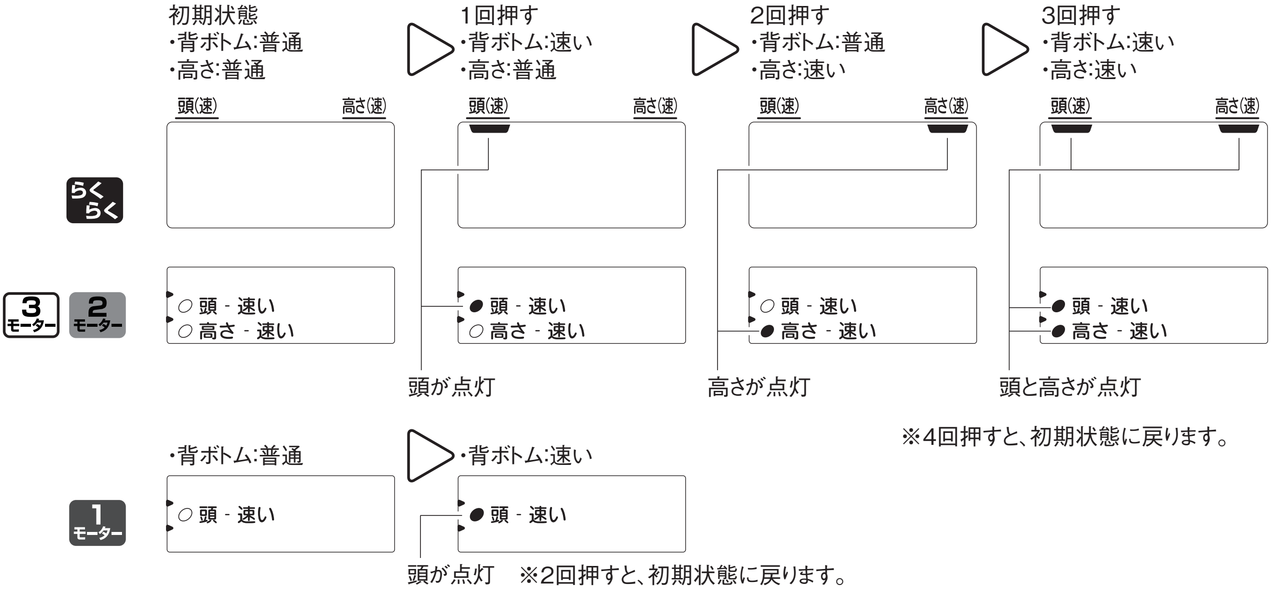
⚠ 警告（けいこく）	●動作部位選択スイッチでボタンを禁止にしている場合でも、リセット機能 (29 ページ参照) により、操作有効の状態に戻りますので、ご注意ください。意図せぬベッドの動作により、けがをするおそれがあります。

動作速度「普通 / 速い」を切換えるときは



速さ切換スイッチ

●速さ切換スイッチを操作することで、背ボトム・ベッドの高さの動作速度を 2 段階（普通 / 速い）で切換えることができます。
「速い」は「普通」の約 1.5 倍の速さで動作します。
●らくらくモーション・3 モーター・2 モーターシリーズは、速さ切換スイッチを押すたびに、背ボトム・ベッドの高さの速さ（普通 / 速い）が以下のように切換わります。
● 1 モーターシリーズは、速さ切換スイッチを押すたびに、背ボトムの速さ（普通 / 速い）が切換わります。

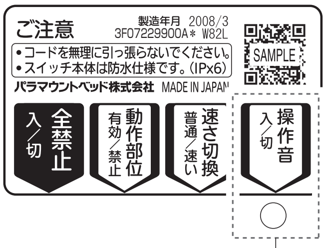


注記

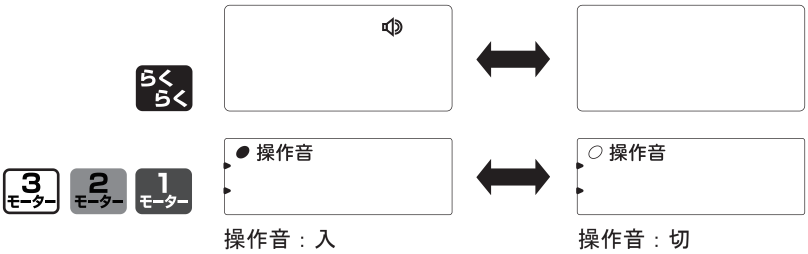
●らくらくモーションの場合は、背ボトムの動作速度の設定によらず、「普通」の速度で動作します。
●低床動作中（床高約 28 ㎝以下）は、動作速度の設定によらず、同じ速さで動作します。（24 ページ参照）

操作音「入 / 切」を選択するときは

●操作音選択スイッチを押すたびに、手元スイッチ操作時の操作音（入 / 切）を選択することができます。



操作音選択スイッチ



注記

●安全のため、ベッドの高さをさげる場合の一旦停止時・低床動作中のブザー音は、操作音 「切」に設定しても、切ることができません。

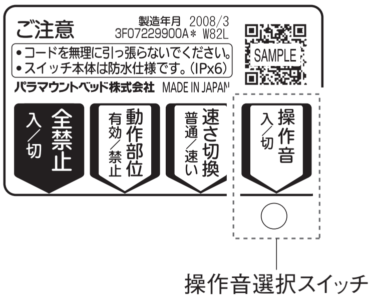
5 ベッドの使用方法

8. 手元スイッチを設定・確認するときは

手元スイッチの設定をリセットするときは

●操作音選択スイッチを 3 秒以上押すことで、うら面スイッチとらくらく切換ボタンの設定内容を以下の初期状態に戻すことができます。

●リセット中は、「ピー」というブザー音が鳴ります。



< 初期状態 >

・動作部位選択：すべてのボタン操作が有効

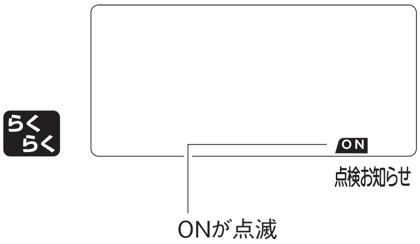
・速さ切換：普通（背ボトムと高さ）

・操作音選択：入

・らくらく切換：らくらくモーション

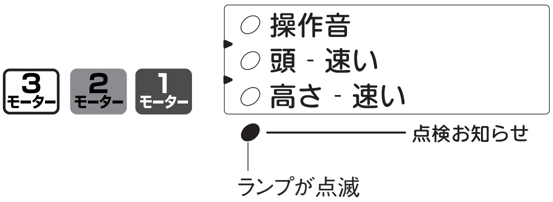
手元スイッチの点検お知らせ表示について

●手元スイッチの点検お知らせ表示の点滅により、電装品の点検時期をお知らせします。
83 ～ 84 ページ「 16 故障かな？と思ったら 」を参照してください。



点滅：電装品の点検時期であることを表示しています。

●より安全にご使用いただくために、電装品を点検してください。長期間使用すると、部品が摩耗・劣化して故障するおそれがあります。



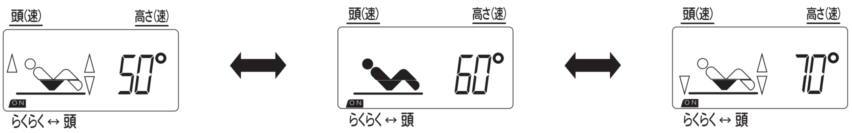
9. 手元スイッチ表示一覧

■液晶表示パネルについて

らく らく

●ベッドの動作情報は、液晶表示にて確認することができます。
●白抜きの箇所が点滅表示します。

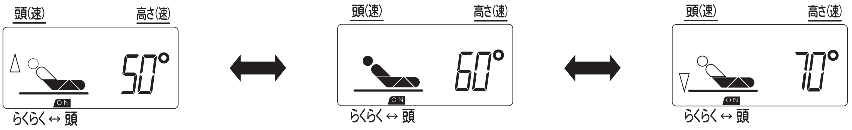
らくらくモーション (らくらく / 頭ボタン)



あげ　　動作停止状態　　さげ

●背動作角度が 2° ごとに表示されます。
膝動作角度は表示されません。

背あげ (らくらく / 頭ボタン)



あげ　　動作停止状態　　さげ

●背動作角度が 2° ごとに表示されます。

あげ（速い）　　動作停止状態　　さげ（速い）

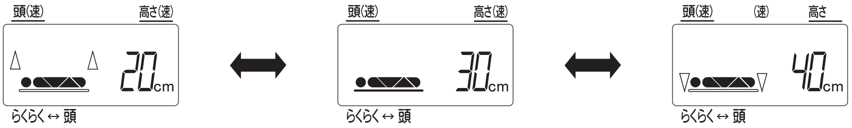
●背動作速度が「速い」時は、「ふつう」の時よりも点滅の間隔が速くなります。

膝あげ (足ボタン)

あげ　　動作停止状態　　さげ

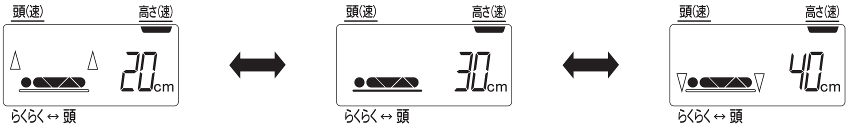
●膝動作角度が 2° ごとに表示されます。

高さ調節 (高さボタン)



あげ（普通）　　動作停止状態　　さげ（普通）

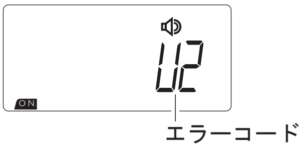
●高さが 2cm ごとに表示されます。



あげ（速い）　　動作停止状態　　さげ（速い）

●高さ調節速度が「速い」時は、「ふつう」の時よりも点滅の間隔が速くなります。

●表示される角度･高さは、目安としてください。
●ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサー使用時は、表示と実際の高さが異なります。（47 ページ参照）



●角度調節の 0 ～約 4° の範囲は「--」が表示されます。故障ではありません。
●液晶表示パネルは、操作後約 20 秒経過すると表示内容が自動的に消えます。
●数値表示部に『U1』『H1』などの値が現れた場合はエラーコードを表示しています。83 ～ 84 ページ「⑯ 故障かな？と思ったら」を参照してください。

9. 手元スイッチ表示一覧

■機能状態ランプ

3モーター 2モーター 1モーター

うら面スイッチで設定した内容を、機能状態ランプで確認することができます。

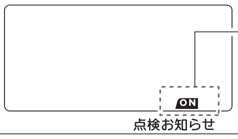
ランプ	状態	ランプ	状態
● 操作音 / ○ 頭 - 速い / ○ 高さ - 速い	点灯 操作音：入	○ 操作音 / ○ 頭 - 速い / ○ 高さ - 速い	消灯 操作音:切
○ 操作音 / ○ 頭 - 速い / ○ 高さ - 速い	消灯 背ボトム速さ：普通	○ 操作音 / ● 頭 - 速い / ○ 高さ - 速い	点灯 背ボトム速さ：速い
○ 操作音 / ○ 頭 - 速い / ○ 高さ - 速い	消灯 高さ速さ：普通	○ 操作音 / ○ 頭 - 速い / ● 高さ - 速い	点灯 高さ速さ：速い

■点検お知らせランプ

らくらく 3モーター 2モーター 1モーター

＜液晶表示パネル＞

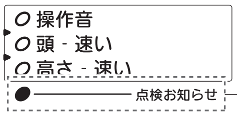
らくらく



点滅:電装品の点検時期であることを表示しています。

＜機能状態ランプ＞

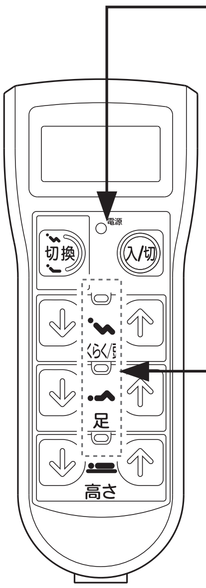
3モーター 2モーター 1モーター



点滅:電装品の点検時期であることを表示しています。

■表示ランプ

らくらく 3モーター 2モーター 1モーター



＜電源ランプ＞

ランプの状態	色	意味	参照ページ
点灯	オレンジ	ベッドの電源：切	20
	緑	ベッドの電源：入	20
消灯	ー	・全禁止設定中	26
		・電源プラグが抜けている	20
		・停電・断線により操作ができない	83 ～ 84
点滅	緑	動作部位選択中	27
	赤	断線や傷害物との接触などの異常	83 ～ 84

＜操作選択ランプ＞※電源ランプが緑（ベッドの電源：入）の場合

ランプの状態	意味	参照ページ
点灯	操作が有効なボタン	27
消灯	操作禁止のボタン	27
点滅	動作部位選択中（操作有効のボタン）	27

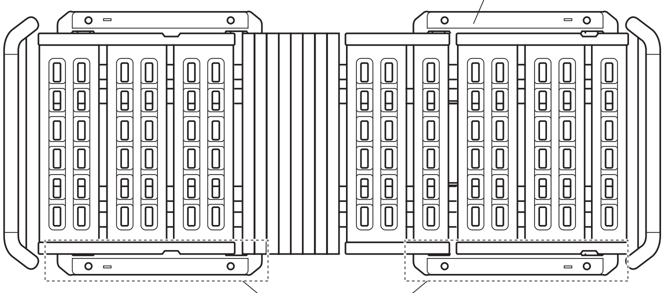
※イラストは、らくらくモーションシリーズ

10. オプション受を使用・格納したいときは

■オプション受の位置を使用目的にあわせて調節することができます。

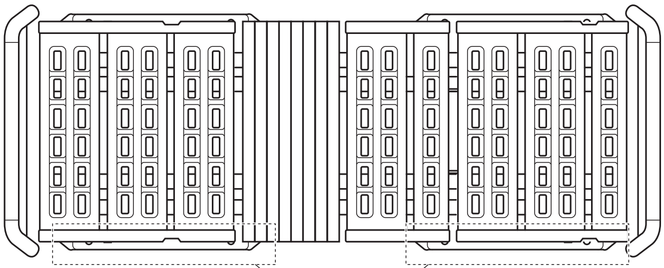
オプション受使用時

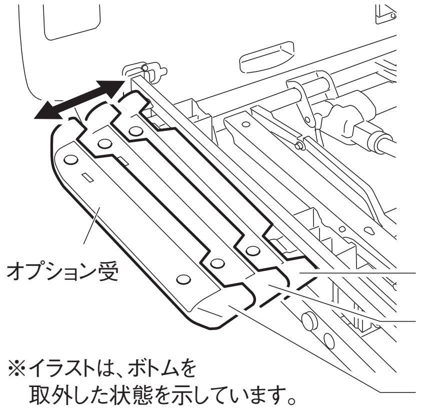
●サイドレールや介助バーなどを取付けることができます。



オプション受格納時

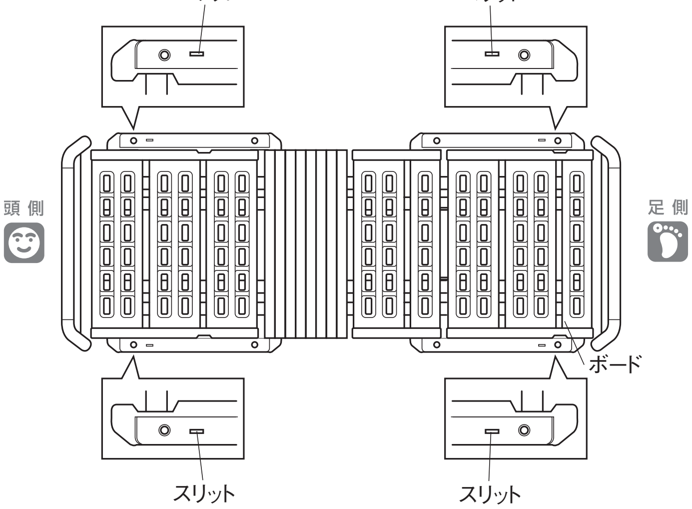
●車椅子などをよりベッドに近づけられます。
●ベッドの設置スペースを小さくできます。





●お使いになるベッドの幅や目的にあわせて4ヶ所(頭側・足側の左右各1ヶ所)のオプション受をそれぞれ下記の表に従って適切な位置に調節してください。(調節方法は33～34ページを参照)

オプション受の状態 ＼ ベッドの幅	83cm	91cm
格納時	(a)	(b)
使用時	(b)	(c)



●オプション受には左右があります。オプション受を取外してしまった場合、オプション受のスリットをボード側に向けて取付けてください。
また、オプション受を使用する場合、必ずオプション受が正しい向きに取付いていることを確認してください。

⚠ 警告(けいこく)

●オプション受はベッドの幅(83 ㎝/ 91 ㎝)にあわせて正しい位置に設定してください。また、オプション受は正しい向きで使用してください。誤った位置や向きで使用すると、ベッドとサイドレール・介助バーなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。

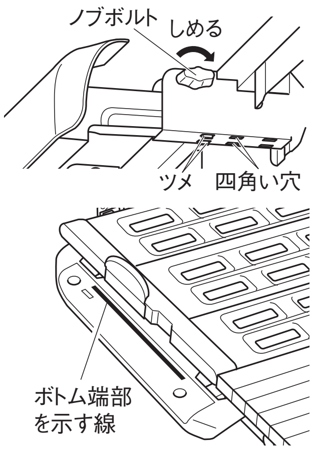
5 ベッドの使用方法

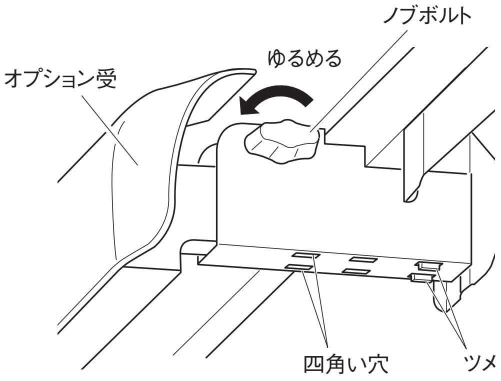
10. オプション受を使用・格納したいときは

⚠ 警告（けいこく）

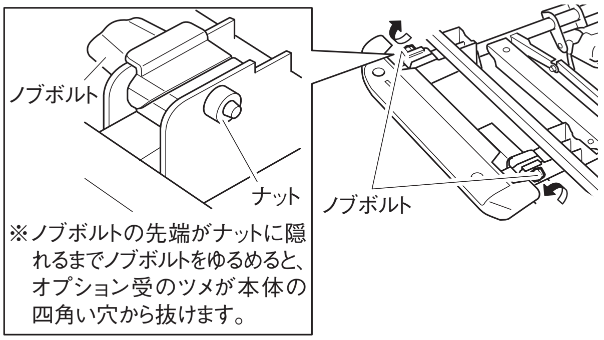
●オプション受はオプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブボルトでしっかりと固定した状態で使用してください。オプション受が、がたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

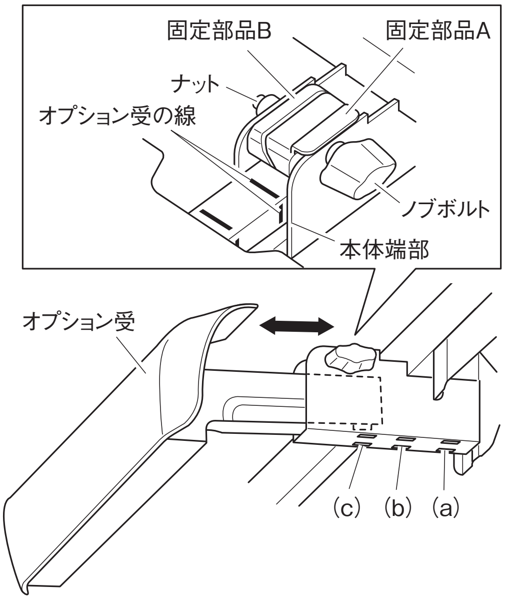
●オプション受を使用する場合は、ボトムを取付けた後、オプション受に貼られているラベルのボトム端部を示す線とボトムの端部が、揃っていることを確認してください。誤った位置で使用すると、ベッドとサイドレール・介助バーなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。





❶オプション受を持ちあげた際に、オプション受のツメが本体の四角い穴から抜けるようになるまでノブボルトをゆるめてください。（1つのオプション受につき2ヶ所）



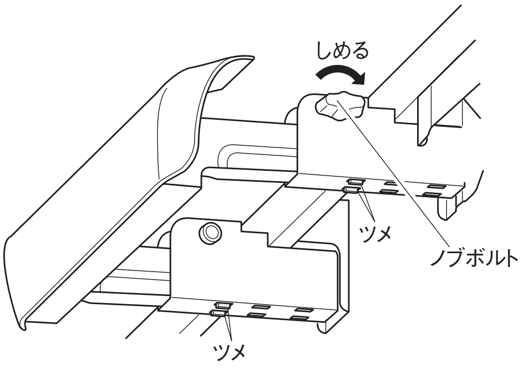


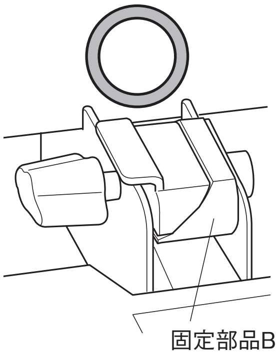
❷オプション受を持ちあげながらスライドさせ、適切な位置の四角い穴（下表参照）にツメを入れてください。オプション受の線と本体端部の位置をあわせると位置決めしやすくなります。

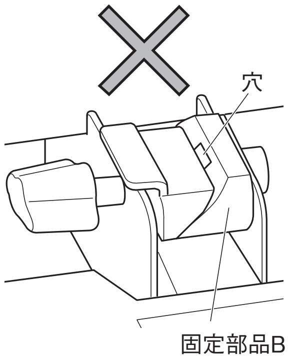
ベッド幅 ＼ オプション受の状態	83cm	91cm
格納時	(a)	(b)
使用時	(b)	(c)

注記

●固定部品A・Bが図のように正しい向きで取付いていること（固定部品Aがノブボルト側、固定部品Bがナット側）を確認してください。







❸ノブボルトを締付け、オプション受をしっかり固定してください。（1つのオプション受につき2ヶ所）

注記

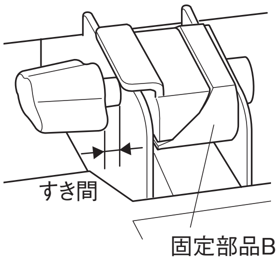
●ノブボルトが回しづらい場合は、オプション受を手で支えながらノブボルトを締付けてください。

❹オプション受のツメが本体の四角い穴に入っていることを確認してください。（ツメは1つのオプション受につき4ヶ所）。また、オプション受のがたつきがないことを確認してください。

注記

●固定部品Bの穴が見える場合は、ツメが本体の四角い穴に入っていない、または、オプション受がしっかり固定されていない可能性があります。再度ツメが本体の四角い穴に入っていること、ノブボルトが確実に締まっていること、オプション受のがたつきがないことを確認してください。

●ノブボルトを締付けた際、下図のように固定部品Bの穴が見えず、ノブボルトの付け根部分に少しすき間ができるのが適正な状態です。

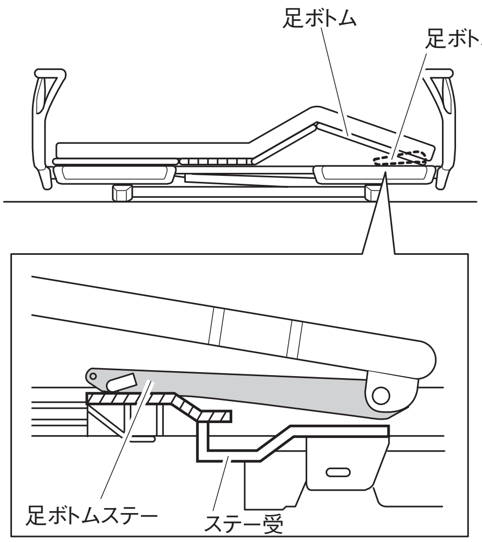


5 ベッドの使用方法

11. 足先の角度を変えたいときは

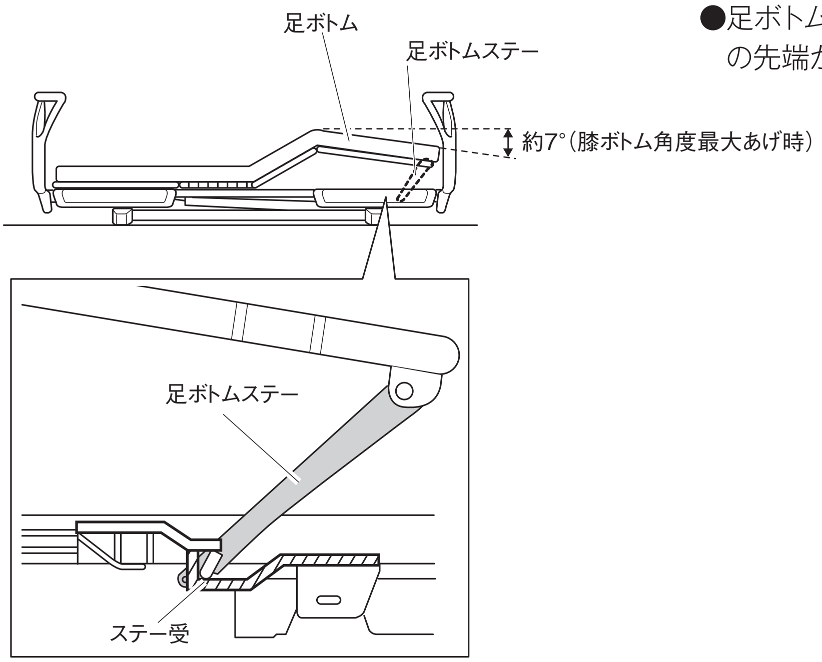
■膝あげ時の足先の角度を２段階に切換えることができます。

足先さげ



●足ボトムステーをステー受の上段に置くと、足ボトムの先端がさがった状態で(ベッドフレームに沿って)膝あげ動作を行います。

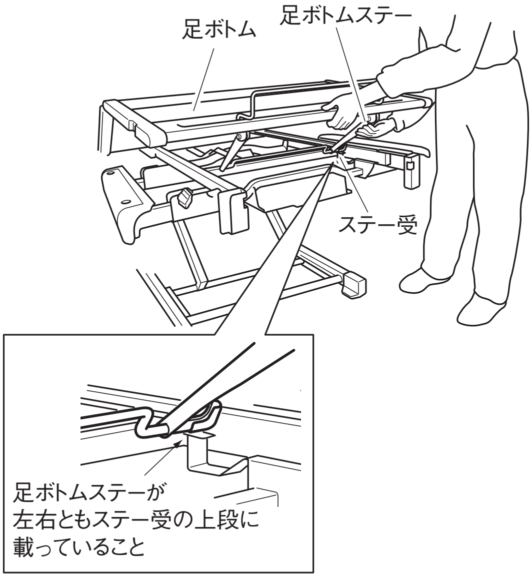
足先あげ



●足ボトムステーをステー受の下段に置くと、足ボトムの先端があがった状態で膝あげ動作を行います。

⚠ 注（ちゅう）意（い）	●足ボトムステーは、ステー受以外の位置には移動させないでください。ベッドが破損するおそれがあります。 ●足先の角度切換え操作は、手や腕などをはさまないよう注意して行ってください。 ●ベッドをご使用中の場合は、ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、切換え操作を行ってください。手や腕などをはさまれて、けがをするおそれがあります。

足先さげにする場合



※イラストはフットボードを取外した状態を示しています。

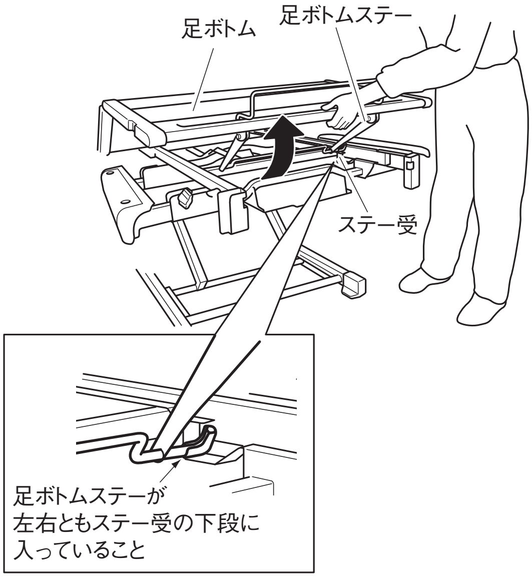
❶足ボトム先端の中央部をゆっくり持ちあげ、足ボトムステーをステー受の上段に載るように支えながら、ゆっくりと足ボトムをおろしてください。

❷足ボトムステーがステー受の上段に載ったことを確認してから、足ボトムステーを支えている手を離してください。

❸足ボトムを最後までおろしてください。

注記！
- **足ボトムステーが左右ともステー受の上段に確実に載っていることを確認してから使用してください。**
- **足先の角度切換え作業は、足ボトムの角度によらず行えます。**

足先あげにする場合



※イラストはフットボードを取外した状態を示しています。

❶足ボトム先端の中央部をゆっくり持ちあげ、足ボトムステーを足側にスライドさせてください。

❷足ボトムステーがステー受の下段に入ったことを確認してから、ゆっくりと足ボトムをおろしてください。

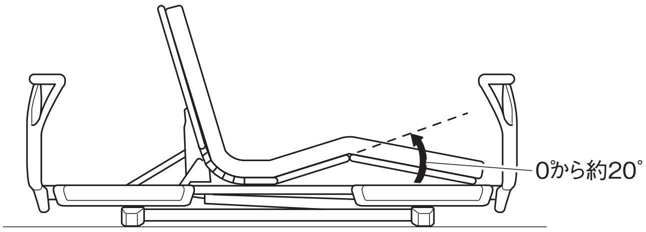
注記！
- **足ボトムステーが左右ともステー受の下段に確実に入っていることを確認してから使用してください。**
- **足先の角度切換え作業は、足ボトムの角度によらず行えます。**

使用目的・特長
注意事項
ベッドの使用方法
ベッドの組立方法
オプションについて
手動背さげについて
定期点検とお手入れ
故障かな?と思ったら
ベッドの保管・分解
仕様・アフターサービス

12. 背膝連動 / 背あげを切換えたいときは 2モーター 1モーター

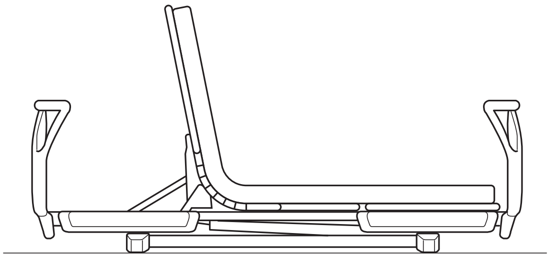
■切換金具の操作により、背あげ時の膝ボトムの動きを切換えることができます。

背膝連動



●背あげ動作に連動して、膝ボトムの角度が動作します。
背を約 75° まであげたとき、膝ボトムが約 20° まであがります。

背あげ



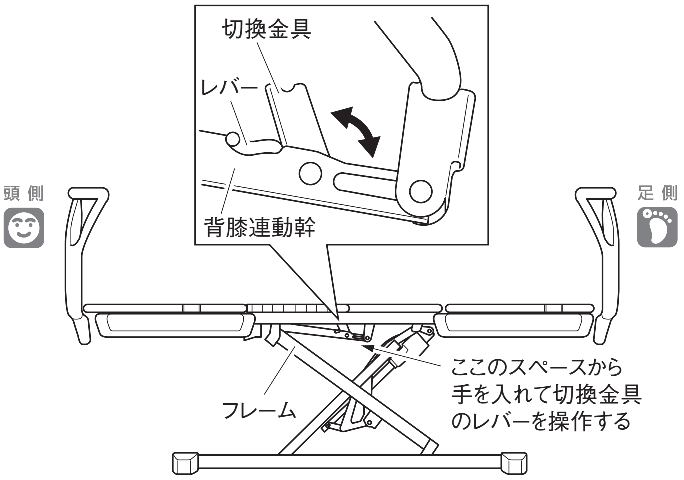
●背あげ動作によらず、膝ボトムは 0° のままです。

⚠ 警告

- **背膝連動／背あげの切換え操作を行う際は、すべてのボトムをさげた状態で作業してください。けがをするおそれがあります。**
- **ベッド動作中に、フレームに手を入れないでください。けがをするおそれがあります。**

注記！

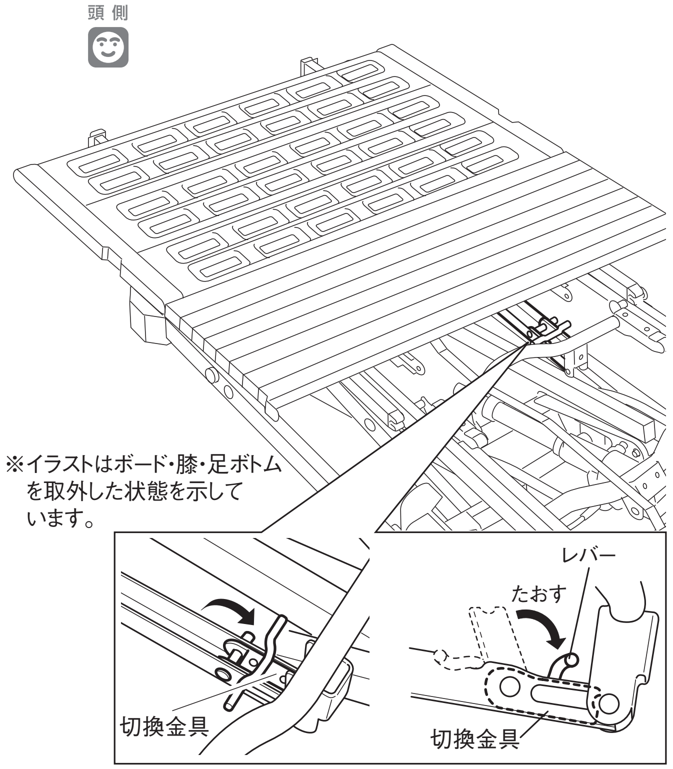
- **背膝連動幹は 56 ページ「背膝連動幹の取付け」に従って、正しく取付けてください。**



❶手元スイッチを操作して、背ボトムと膝ボトムを一番下までさげてください。
❷手元スイッチを操作して、ベッドの高さをあげてください。（2モーターシリーズ）
※ベッドの高さをあげても操作しにくい場合や１モーターシリーズでは、膝・足ボトムを取外してから切換金具を操作してください。膝・足ボトムの取外し方は 89 ページを参照してください。
❸電源プラグをコンセントから抜いてください。
❹フレームの間から手を通し（膝・足ボトムを取外した場合は上から手を入れ）、図のように切換金具のレバーを操作して「背膝連動」もしくは、「背あげ」に設定してください。
❺電源プラグをコンセントに差込んでください。

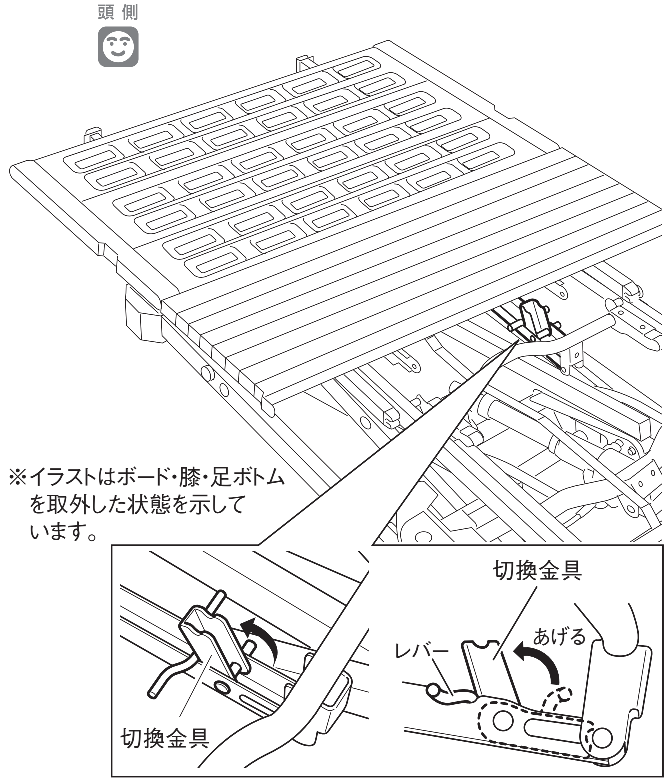
背膝連動

- 切換金具をたおしてください。



背あげ

- 切換金具をあげてください。



5 ベッドの使用方法

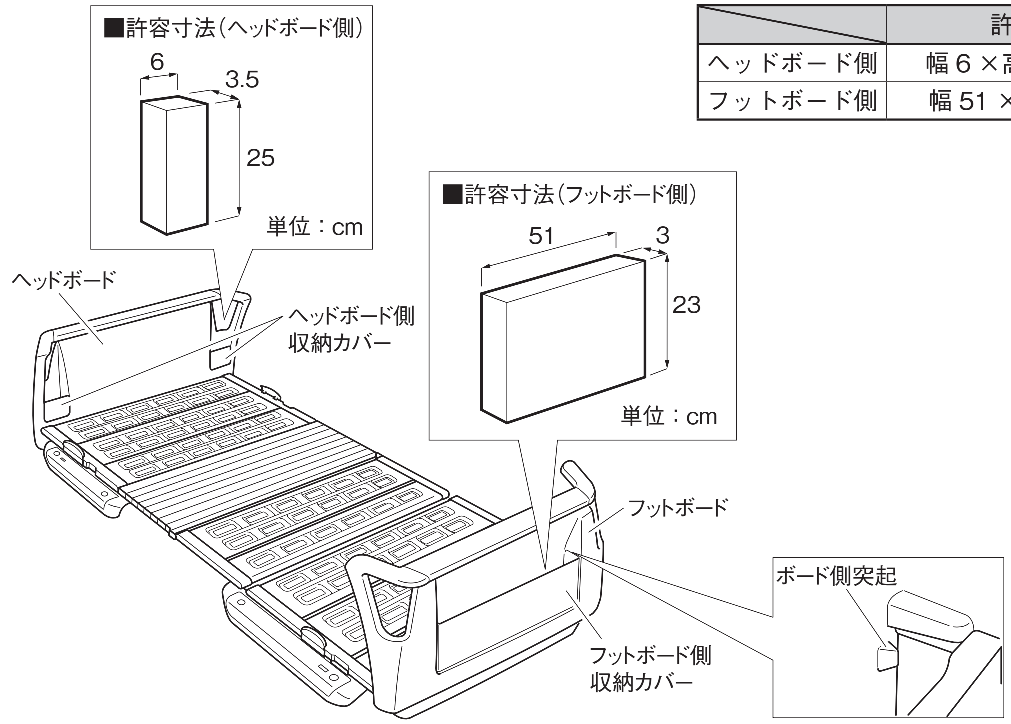
13. ボードの収納カバーについて（樹脂ボードのみ）

■収納カバーは、樹脂ボード（KQ-9**0、KQ-9**1 シリーズ）にのみ付いています。
■ヘッドボードは内側に 2 ヶ所、フットボードは外側に 1 ヶ所収納カバーが付いています。

ヘッドボード側：ベッド周りの小物を入れることができます。
フットボード側：取扱説明書などを入れることができます。

注記！ ●フットボード側収納カバーをフットボードに取付ける際は、両端の突起（4 ヶ所）をフットボード側の穴に入れて、確実に固定してください。

	許容寸法 [cm]	耐荷重
ヘッドボード側	幅 6 ×高さ 25 ×厚み 3.5	0.5kg
フットボード側	幅 51 ×高さ 23 ×厚み 3	1kg



⚠ 警告（けいこく）

●収納カバーに寄りかかったり、手でつかまって力をかけたりしないでください。
収納カバーが不意に外れ、転倒してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意（ちゅうい）

●許容寸法・耐荷重を超えるものを入れると、収納カバーや収納物が落下・破損し、けがをするおそれがあります。
●収納物が飛び出していると、ベッド動作時などに接触し、ベッドや収納物が破損するおそれがあります。
●収納カバーは、ものを引っ掛けたり外側から力をかけると、ボードから外れたり、収納カバーが破損するおそれがあります。
●収納物を取出す際は、カバー外向きに力を加えないでください。収納カバーが外れたり、破損するおそれがあります。
●メガネなど壊れやすいものを入れる場合は、ケースなどに入れてから収納カバーに入れてください。

6 ユニットの組合せと JIS の適合について

■楽匠 S シリーズは下表のユニットの組合せで JIS 認証を取得しています。下表の組合せ以外では使用しないでください。
オプションについては、「11 適合オプションについて」（71 ～ 76 ページ）をご確認ください。
■下表以外の組合せの場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

⚠ 警告（けいこく）
●ベッドは正しいユニットの組合せを確認した上で組立ててください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。各ユニットの番号は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

らくらくモーションシリーズ

83 ㎝幅	ミニ			レギュラー		
	KQ-9600	KQ-9601	KQ-9602	KQ-9610	KQ-9611	KQ-9612
ベースフレーム	Q9100V					
足側フレーム	Q9600F	Q9601F		Q9600F	Q9601F	
頭側フレーム	Q9100H	Q9101H		Q9100H	Q9101H	
ボトム	Q9000U			Q9010U		
ボード	Q9000B	Q9001B	Q9002B	Q9000B	Q9001B	Q9002B

91 ㎝幅	ミニ			レギュラー		
	KQ-9620	KQ-9621	KQ-9622	KQ-9630	KQ-9631	KQ-9632
ベースフレーム	Q9100V					
足側フレーム	Q9600F	Q9601F		Q9600F	Q9601F	
頭側フレーム	Q9100H	Q9101H		Q9100H	Q9101H	
ボトム	Q9020U			Q9030U		
ボード	Q9020B	Q9021B	Q9022B	Q9020B	Q9021B	Q9022B

3モーターシリーズ

83 ㎝幅	ミニ			レギュラー		
	KQ-9300	KQ-9301	KQ-9302	KQ-9310	KQ-9311	KQ-9312
ベースフレーム	Q9100V					
足側フレーム	Q9300F	Q9301F		Q9300F	Q9301F	
頭側フレーム	Q9100H	Q9101H		Q9100H	Q9101H	
ボトム	Q9000U			Q9010U		
ボード	Q9000B	Q9001B	Q9002B	Q9000B	Q9001B	Q9002B

91 ㎝幅	ミニ			レギュラー		
	KQ-9320	KQ-9321	KQ-9322	KQ-9330	KQ-9331	KQ-9332
ベースフレーム	Q9100V					
足側フレーム	Q9300F	Q9301F		Q9300F	Q9301F	
頭側フレーム	Q9100H	Q9101H		Q9100H	Q9101H	
ボトム	Q9020U			Q9030U		
ボード	Q9020B	Q9021B	Q9022B	Q9020B	Q9021B	Q9022B

6 ユニットの組合せと JIS の適合について

２モーターシリーズ

83 ㎝幅	ミニ			レギュラー		
	KQ-9200	KQ-9201	KQ-9202	KQ-9210	KQ-9211	KQ-9212
ベースフレーム	Q9100V					
足側フレーム	Q9200F	Q9201F		Q9200F	Q9201F	
頭側フレーム	Q9100H	Q9101H		Q9100H	Q9101H	
ボトム	Q9000U			Q9010U		
ボード	Q9000B	Q9001B	Q9002B	Q9000B	Q9001B	Q9002B

91 ㎝幅	ミニ			レギュラー		
	KQ-9220	KQ-9221	KQ-9222	KQ-9230	KQ-9231	KQ-9232
ベースフレーム	Q9100V					
足側フレーム	Q9200F	Q9201F		Q9200F	Q9201F	
頭側フレーム	Q9100H	Q9101H		Q9100H	Q9101H	
ボトム	Q9020U			Q9030U		
ボード	Q9020B	Q9021B	Q9022B	Q9020B	Q9021B	Q9022B

１モーターシリーズ

83 ㎝幅	ミニ			レギュラー		
	KQ-9100	KQ-9101	KQ-9102	KQ-9110	KQ-9111	KQ-9112
ベースフレーム	Q9000V					
足側フレーム	Q9100F	Q9101F		Q9100F	Q9101F	
頭側フレーム	Q9100H	Q9101H		Q9100H	Q9101H	
ボトム	Q9000U			Q9010U		
ボード	Q9000B	Q9001B	Q9002B	Q9000B	Q9001B	Q9002B

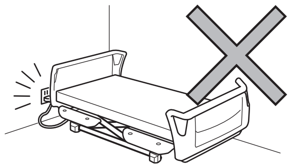
91 ㎝幅	ミニ			レギュラー		
	KQ-9120	KQ-9121	KQ-9122	KQ-9130	KQ-9131	KQ-9132
ベースフレーム	Q9000V					
足側フレーム	Q9100F	Q9101F		Q9100F	Q9101F	
頭側フレーム	Q9100H	Q9101H		Q9100H	Q9101H	
ボトム	Q9020U			Q9030U		
ボード	Q9020B	Q9021B	Q9022B	Q9020B	Q9021B	Q9022B

7 設置についての注意事項

■ベッドを設置するにあたたって、下記の注意事項を守ってください。
■一度組立ててしまいますと、部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

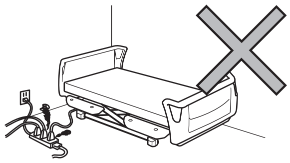
⚠ 警告

■電源プラグの抜き差しができなくなる場所にはベッドを設置しないでください



●誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。
●誤操作によるけがをするおそれがあります。

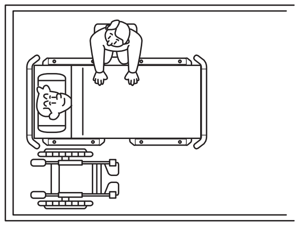
■ベッドの電源は直接コンセントからとってください



●コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続しようとすると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。

⚠ 注意

■ベッド周辺のスペースを確保してください

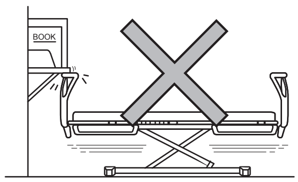


●ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって必要なスペースを確保してください。壁やものなどを傷つけるおそれがあります。
●介護する方がベッド周りで介護をするためのスペースをどれだけとるか（シーツ交換だけか、おむつ交換、着替え、洗髪、歯磨き、食事の介助などが必要かどうかによってベッドの周囲をどれだけあけるか）を考慮してください。

■ベッド使用時にゆかにかかる荷重に耐えられる場所に設置してください

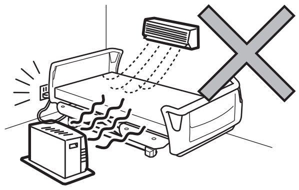
●ベッドの質量は最大約 95kg です。寝具およびオプション（付属品）やベッドを使用する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。ゆかなどが破損するおそれがあります。

■ベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などと当たらないよう注意してください



●特に高さ方向については、ベッドの高さ調節によってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。家具備品や構造物などが破損するおそれがあります。

■故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください



・直射日光のあたる場所
・冷暖房器による冷気や暖気が直接あたる場所
・過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
・高温・多湿・低温・乾燥した場所
・ほこり、煙、塩分、イオウ分、腐食性物質などの多い場所
・換気の悪い場所
・振動や衝撃のある場所
・ゆかが水平でない場所

8 開梱と部品の確認

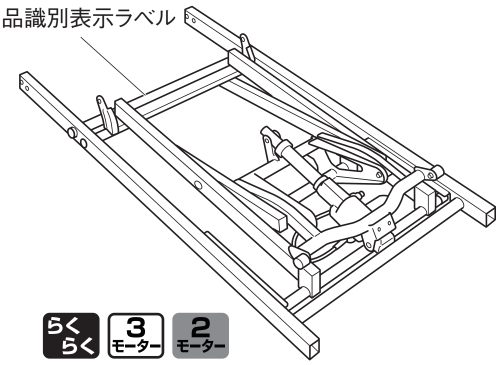
●開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。
万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または直接弊社までご連絡ください。

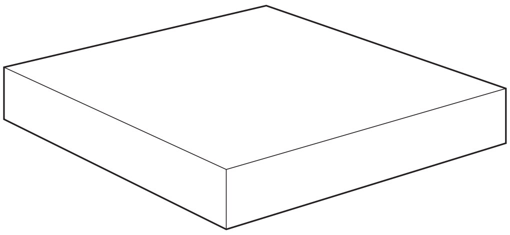
⚠ 注意	●重量のあるユニットを用いてベッドを組立てたり移動する際は、２人以上で作業を行ってください。背や腰などをいためるおそれがあります。 ●組立ての際にはユニット同士やユニットの可動部で、手や指をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

※（　）内の数字は梱包材を含む質量です。

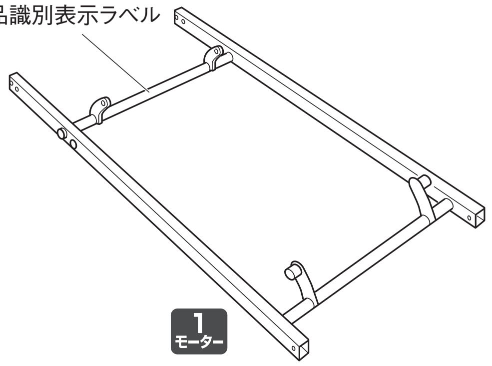
❶ベースフレーム

らくらくモーションシリーズ 3モーターシリーズ 2モーターシリーズ	1モーターシリーズ
Q9100V 約23.5kg （28.0kg）	Q9000V 約7.5kg （12.0kg）

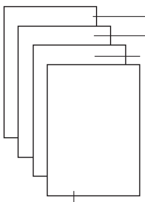




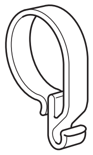
139 × 76 × 19.5（cm）



■付属品

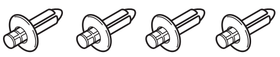


取扱説明書1冊
すき間および電装品についての注意事項1枚
保証書1枚
ベッドの使い方 1枚

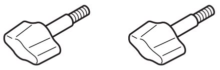


コードクリップ×1

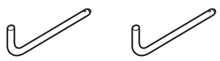
■組立付属部品



プッシュリベット×4

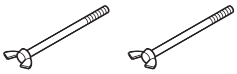


ノブボルト×2



L字ピン×2

連結ピン×2

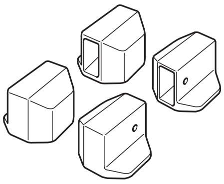


蝶ボルト×2

スナップピン×4

蝶ナット×2

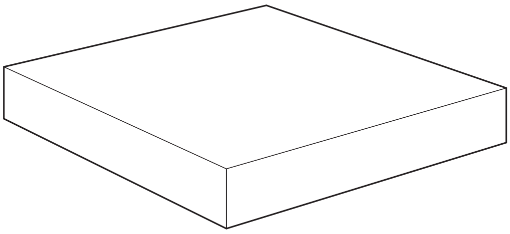
■脚座



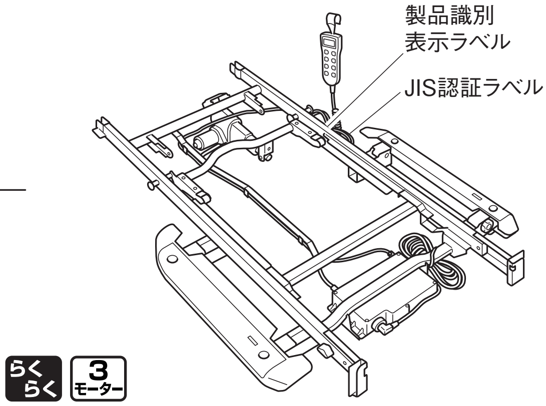
脚座 右×2
脚座 左×2

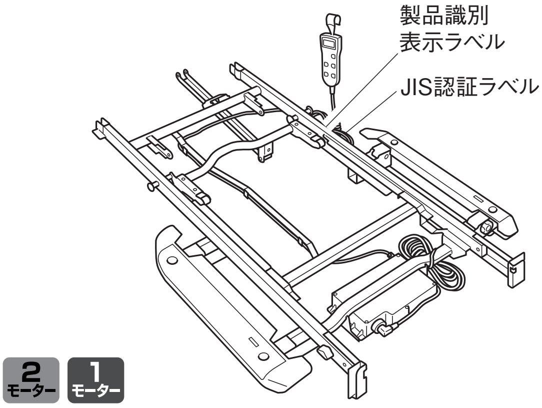
❷足側フレーム

らくらくモーションシリーズ	3モーターシリーズ	2モーターシリーズ	1モーターシリーズ
Q9600F Q9601F 約20.0kg (24.5kg)	Q9300F Q9301F 約20.0kg (24.5kg)	Q9200F Q9201F 約18.5kg (23.5kg)	Q9100F Q9101F 約18.5kg (23.5kg)



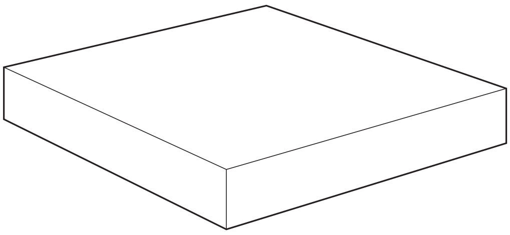
136.5 × 93 × 18.5 (cm)



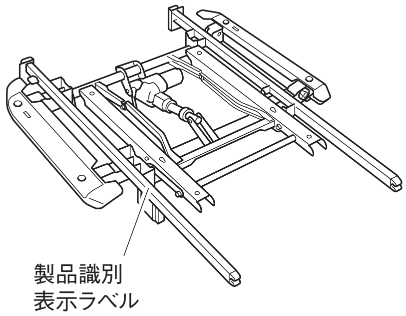


❸頭側フレーム

Q9100H
Q9101H
約21.5kg
(25.5kg)



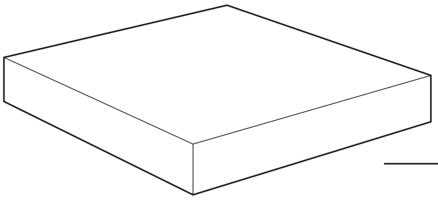
119.5 × 93 × 18.5 (cm)



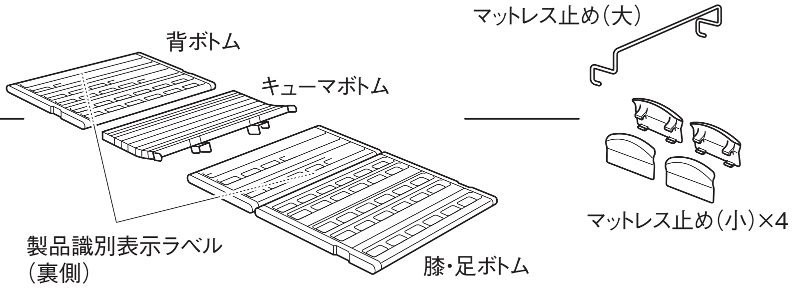
8 開梱と部品の確認

❹ボトム

83cm幅ミニ	83cm幅レギュラー	91cm幅ミニ	91cm幅レギュラー
Q9000U 約18.0kg (20.5kg)	Q9010U 約19.0kg (21.5kg)	Q9020U 約19.5kg (22.0kg)	Q9030U 約20.0kg (23.5kg)

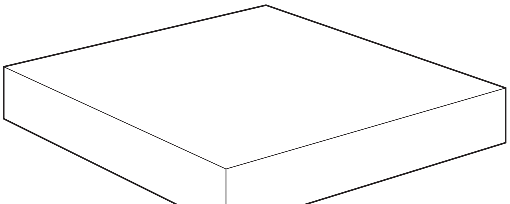


98.5 × 86 × 13 (cm) (Q9000U)
104 × 86 × 13 (cm) (Q9010U)
98.5 × 93 × 13 (cm) (Q9020U)
104 × 93 × 13 (cm) (Q9030U)

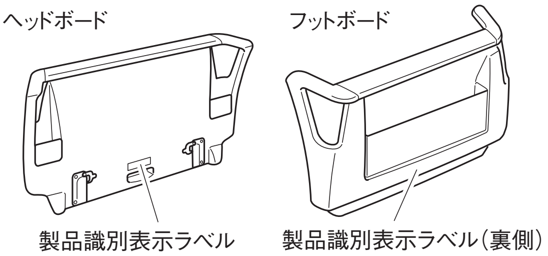


❺ボードセット

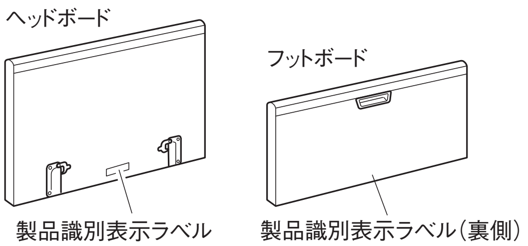
樹脂		木製	
83cm	91cm	83cm	91cm
Q9000B Q9001B 約8.0kg (9.5kg)	Q9020B Q9021B 約9.0kg (10.0kg)	Q9002B 約9.5kg (11.5kg)	Q9022B 約10.0kg (12.0kg)



86 × 54 × 18 (cm) (Q9000B、Q9001B)
93 × 54 × 18 (cm) (Q9020B、Q9021B)
92.5 × 59.5 × 11 (cm) (Q9002B)
99.5 × 59.5 × 11 (cm) (Q9022B)



ボード(樹脂)



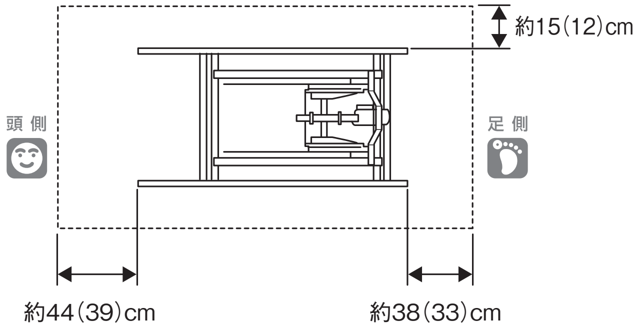
ボード(木製)

※ロング仕様にする場合は、延長フレーム(別売:72 ページ参照)が必要です。

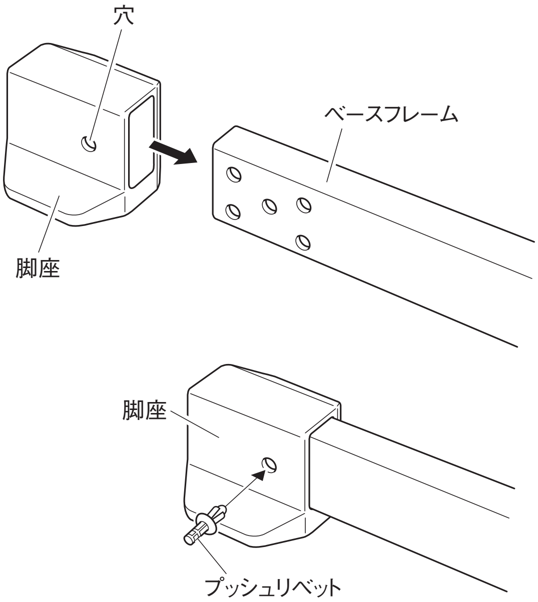
9 ベッドの組立方法

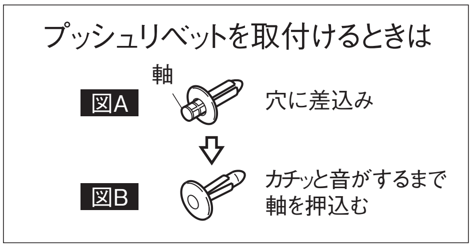
1. 脚座の取付け

■ベースフレーム設置の目安



※点線は、ベッド組立て状態を示しています。
※91cm幅／レギュラーサイズ、( )は83cm幅／ミニサイズの寸法です。





注記！

● 47ページのキャスター（KQ-P90C）・ハイトスペーサー（KQ-P90H・KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用する場合は、各製品の取扱説明書をご確認ください。

❶組立前に左図を参考に42ページの「7 設置についての注意事項」に従い、ベッドの設置場所を決めてください。このとき、ベースフレームの頭側・足側の向きに注意して置いてください。

❷ベースフレームを持ち、先端に脚座を差込んでください。（4ヶ所）

注記！

●脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。

❸プッシュリベットが図Aのような状態であることを確認してください。
※なっていない場合は98ページを参照して、図Aの状態にしてください。

❹ベースフレームと脚座の穴位置をあわせ、プッシュリベットを差込んでください。

❺プッシュリベットの軸を指で押込んで図Bの状態にして、脚座をベースフレームに固定してください。（4ヶ所）

⚠ 警告（けいこく）

●プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。固定されていない場合、脚座が外れてけがや破損の原因となります。
●滑りやすいゆか材（フローリングなど）の上で使用する場合は、脚座やキャスターの下に敷物（脚座カーペット KQ-P731：別売）などを敷いてください。使用中にベッドが不意に動き、転倒してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意（ちゅうい）

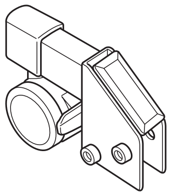
●畳やじゅうたんなどの上で長期間使用する場合は、脚座やキャスターの下に敷物（脚座カーペット KQ-P731：別売）などを敷いてください。畳やじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

9 ベッドの組立方法

1. 脚座の取付け

■キャスター・ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサー（別売）の取付け

キャスター・ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサーを使用する場合は、各製品の「取扱説明書」に従って正しく取付けてください。



キャスター
（KQ-P90C）

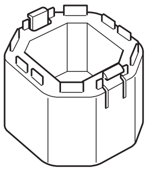
●キャスター

以下のキャスターを取付けることができます。

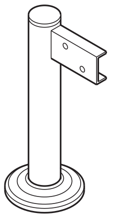
・キャスター（KQ-P90C）

ベッドの高さは変わりません。

●キャスターの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。



ハイトスペーサー
（KQ-P90H）



ハイトスペーサー
（KQ-027A）

●ハイトスペーサー

以下のハイトスペーサーを取付けることができます。

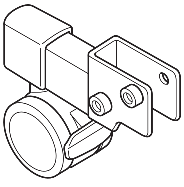
・ハイトスペーサー（KQ-P90H）

ベッドの高さを約 6.5 ㎝高くすることができます。

・ハイトスペーサー（KQ-027A）

ベッドの高さを約 17 ㎝高くすることができます。

●ハイトスペーサーの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。



キャスター付ハイトスペーサー
（KQ-P90CH）

●キャスター付ハイトスペーサー

以下のキャスター付ハイトスペーサーを取付けることができます。

・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）

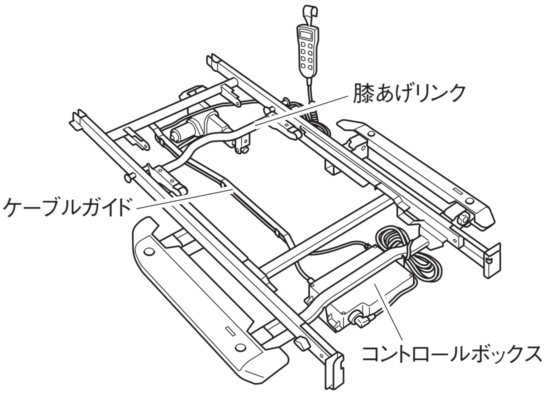
ベッドの高さを約 6.5 ㎝高くすることができます。

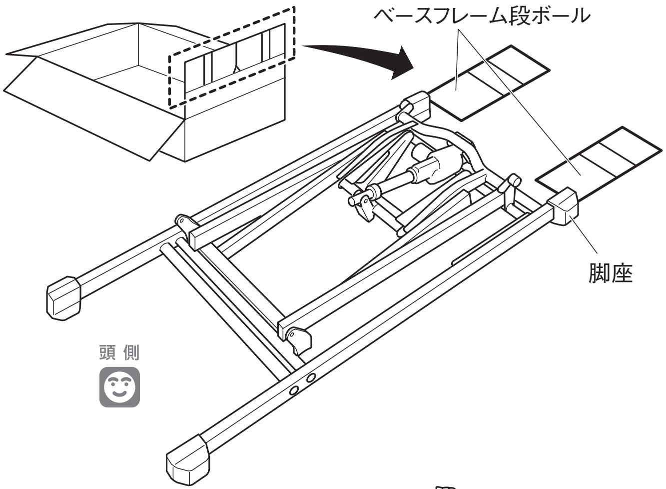
●キャスター付ハイトスペーサーの取扱説明書に従って、正しく取付けてください。

2. 足側フレームの取付け

⚠ 注意

- **膝あげリンクやケーブルガイド、コントロールボックス周辺部を持って運搬や組立てを行わないでください。けがや破損の原因となります。**
- **足側フレームを置く際、ゆかを傷つけないよう注意してください。**





注記!

- **ベースフレームの外箱の一部を切取ると、足側フレームの置く位置の目安になります。また、ゆかの傷つきを予防できます。**

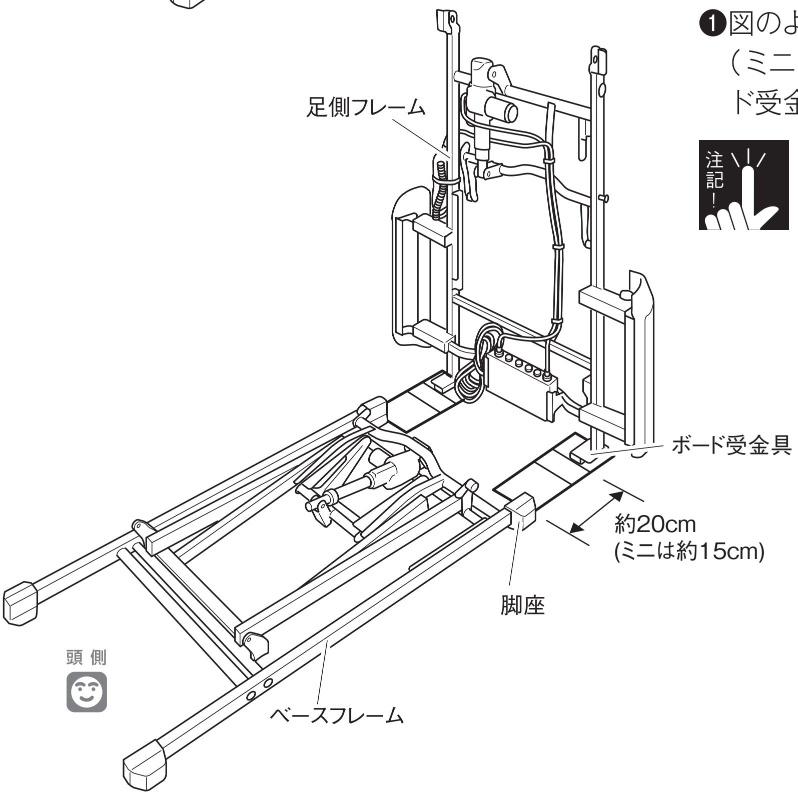
※ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用する場合は、「■ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用する場合」（49 ページ）から組立ててください。

※キャスター（KQ-P90C）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用する場合は、キャスターを固定状態にしてから組立ててください。

❶図のようにベースフレームの足側の脚座から約 20 ㎝（ミニの場合は、約 15cm）離れたところに、ボード受金具を下にして足側フレームを立ててください。

注記!

- **ハイトスペーサー（KQ-P90H）を使用する際は、約 30 ㎝離れたところに足側フレームを立ててください。**

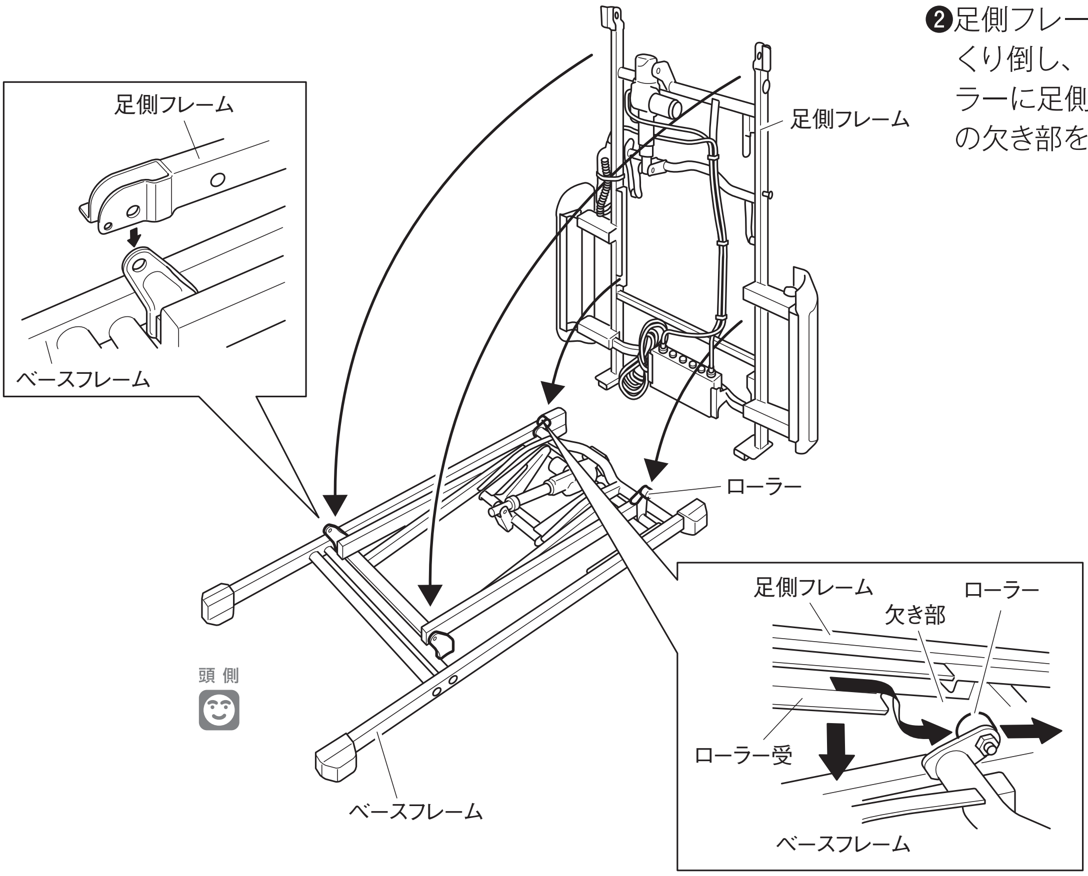


⚠ 注意

- **足側フレームを立てた状態で放置しないでください。ユニットが倒れてけがをしたり、ベッドが破損するおそれがあります。**

9 ベッドの組立方法

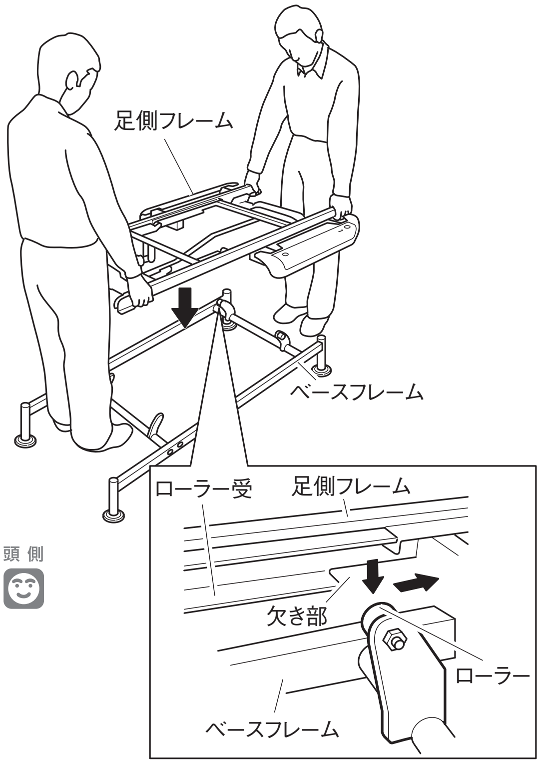
2. 足側フレームの取付け



❷足側フレームの先端を持ってゆっくり倒し、ベースフレームのローラーに足側フレームのローラー受の欠き部を載せてください。

■ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用する場合

※イラストはKQ-027A



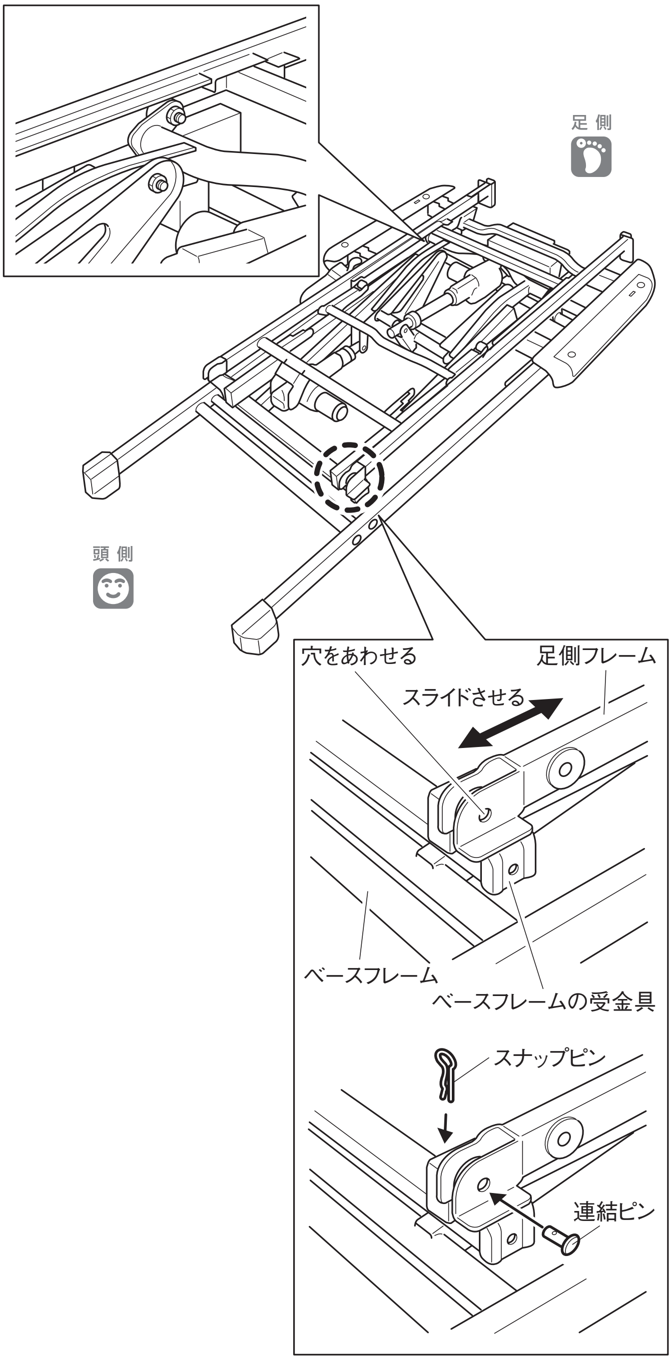
注記！ **●ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）の取扱説明書もあわせてご確認ください。**

⚠ 注意（ちゅうい）	**●作業は2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。**

❶足側フレームを頭側と足側の向きに注意して2人以上で持ちあげてください。

❷ベースフレームのローラーに足側フレームのローラー受の欠き部を載せるようにして、ゆっくりと足側フレームをおろしてください。

※❸以降の作業は、ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用する場合も同じです。



❸足側フレームをスライドさせて、先端の穴をベースフレームの受金具の穴にあわせてください。

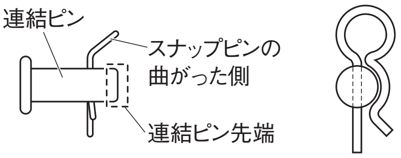
⚠ 警（けい）告（こく）	●ローラーがローラー受に入っていることを確認してください。入っていない場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

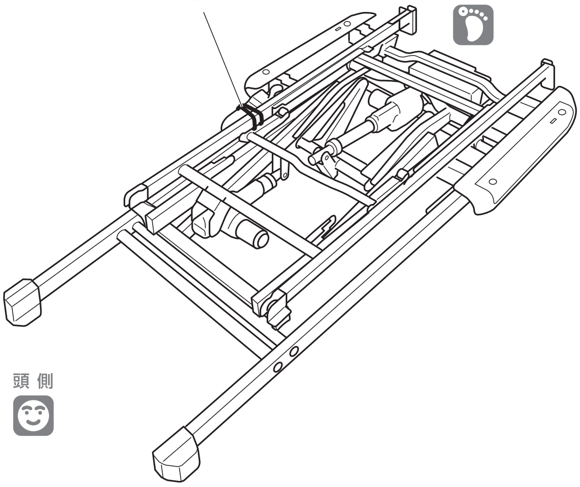
❹❸であわせた穴に外側から連結ピンを差込んでください。（左右各1ヶ所）

❺❹で差込んだ連結ピンの穴にスナップピンを差込んでください。（左右各1ヶ所）

⚠ 警（けい）告（こく）

●連結ピンはしっかりと差込み、下図のように裏面でスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。





❻手元スイッチと膝あげリンクを固定している輪ゴムを取外してください。

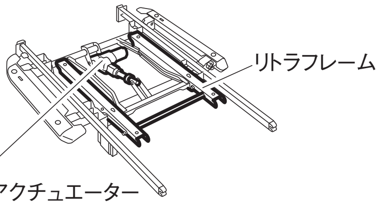
注記！

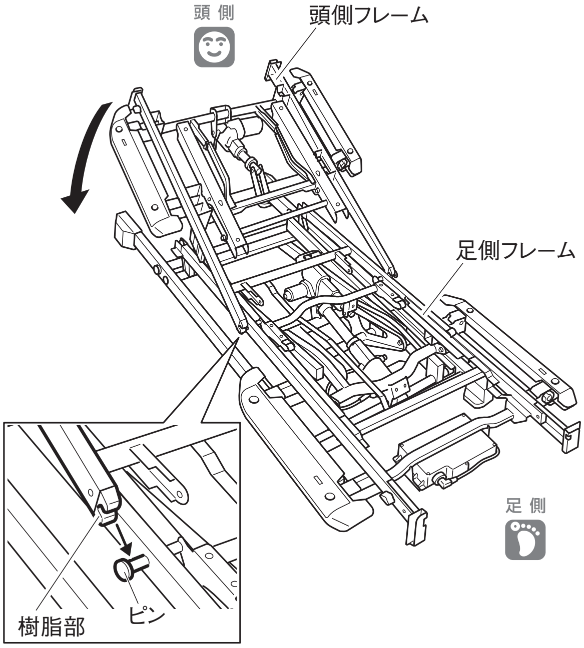
●キャスター（KQ-P90C）を使用する場合は、キャスターの取扱説明書に従って、キャスターを正しく取付けてください。

9 ベッドの組立方法

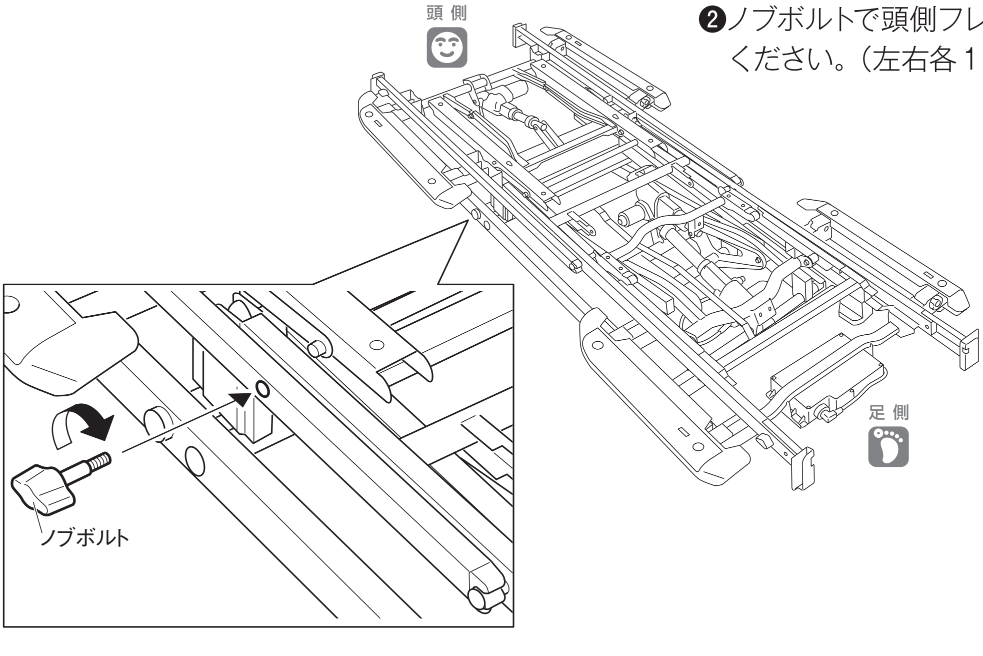
3. 頭側フレームの取付け

⚠ 注意（ちゅうい）	●背アクチュエーター・リトラフレームなどを持って、運搬や組立てを行わないでください。けがや破損の原因となります。





❶頭側フレームの樹脂部を足側フレームのピンにあわせて、足側フレームの上に載せてください。



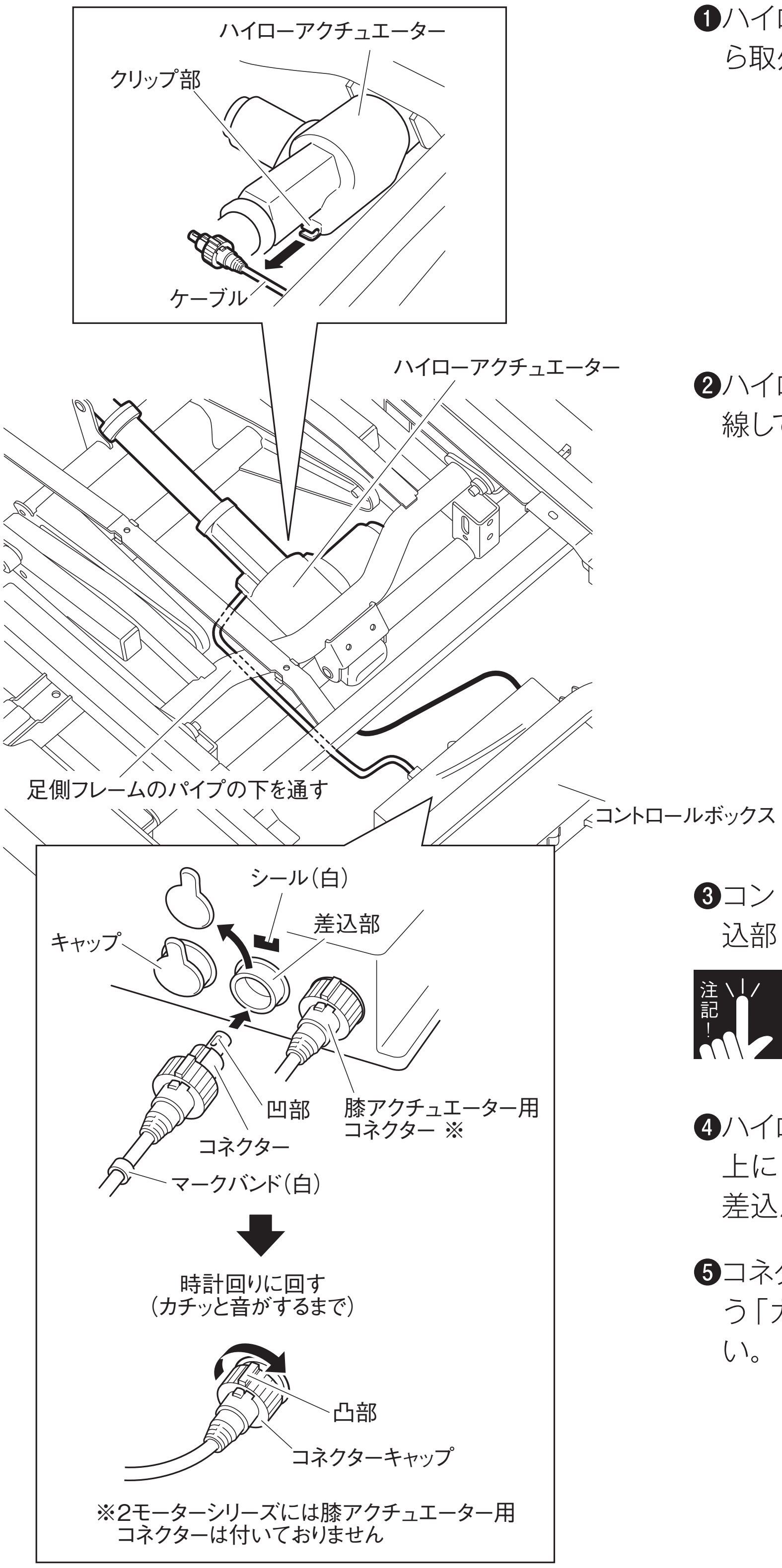
❷ノブボルトで頭側フレームを足側フレームに固定してください。（左右各 1 ヶ所）

⚠ 警告（けいこく）	●ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいると、ベッドが落下して、けがをするおそれがあります。

1モーター ▶P.53　らくらく 3モーター 2モーター ▶P.52

4. コード類の配線

■ 4-1 ハイローアクチュエーターの配線 らくらく 3モーター 2モーター



❶ハイローアクチュエーターのケーブルをクリップ部から取外してください。

❷ハイローアクチュエーターのケーブルを図のように配線してください。

❸コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部（白色）のキャップを取外してください。

注記 **●取外したキャップは紛失しないように保管してください。（組立付属部品が入っていたパックに収納することができます。）**

❹ハイローアクチュエーターのコネクター先端の凹部を上にし、コントロールボックスの差込部（白色）に差込んでください。

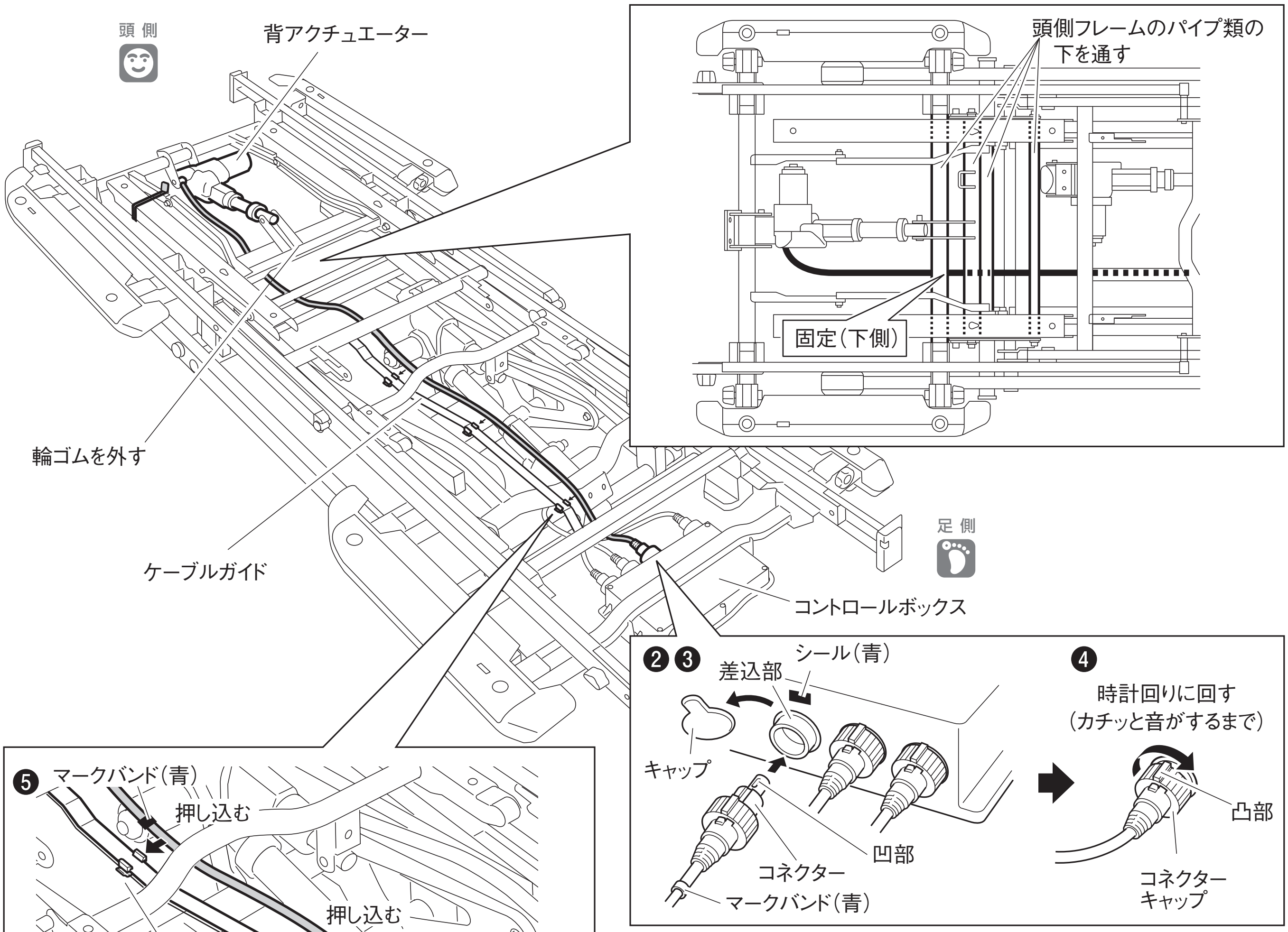
❺コネクターキャップをキャップの凸部が真上にくるよう「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。

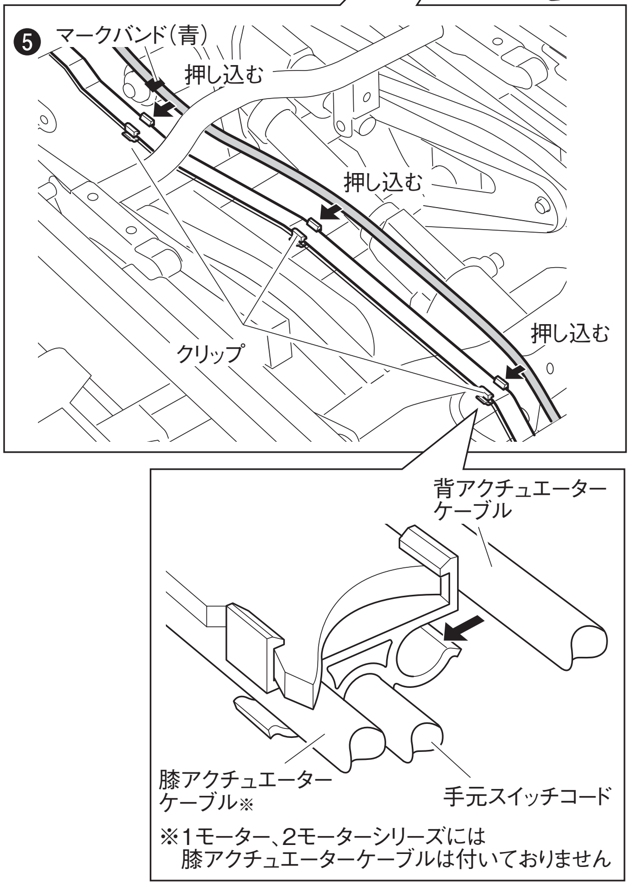
注意（ちゅうい）	**●ケーブルは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。** **●コネクター部をぶつけたり、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。**

9 ベッドの組立方法

4. コード類の配線

■ 4-2 背アクチュエーターの配線





❶背アクチュエーターのケーブルを固定している輪ゴムを取外し、図のようにケーブルガイドに沿って配線してください。

❷コントロールボックスの背アクチュエーター差込部(青色)のキャップを取外してください。

注記!
●取外したキャップは紛失しないように保管してください。(組立付属部品が入っていたパックに収納することができます。)

❸背アクチュエーターのコネクター先端の凹部を上にし、コントロールボックスの差込部(青色)に差込んでください。

❹コネクターキャップをキャップの凸部が真上にくるよう「カチッ」と音がするまで時計回りに回してください。

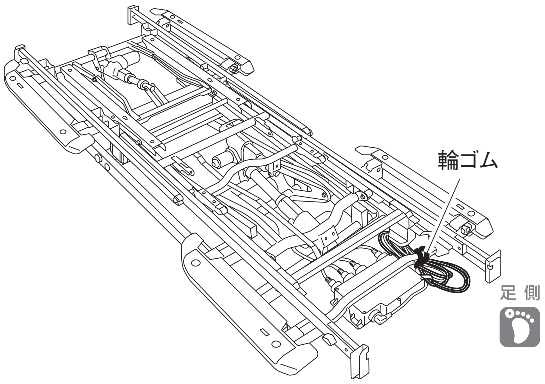
❺マークバンド(青)がクリップよりも頭側にくるようにして、ケーブルガイドについているクリップに、ケーブルにたるみがないように固定してください(3ヶ所)。

⚠ 注意(ちゅうい)

●ケーブルは、手順に従って正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。

●コネクター部をぶつけたり、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

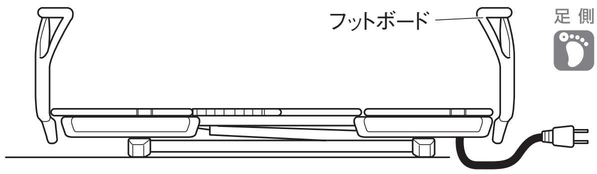
■ 4-3 電源コードの配線



❶電源コードを固定している輪ゴムを取外してください。

注記！ ●**1モーターシリーズの場合、ベースフレームにクリップは付いていません。配線する場所によらず、そのまま電源プラグをコンセントに差込んでください。**

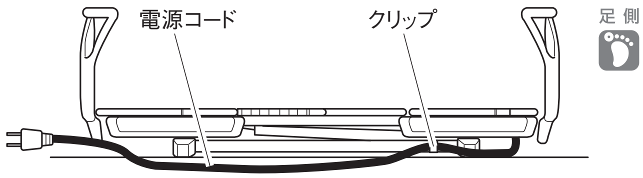
足側に配線する場合



❷そのまま電源プラグをコンセントに差込んでください。

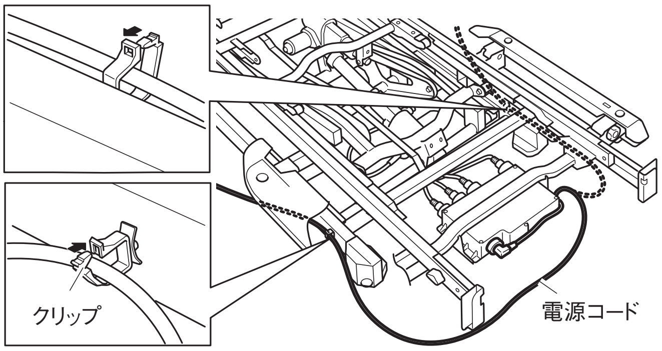
注記！ ●**余ったコードがベースフレームの内側に入りこまないよう、注意して配線してください。**

その他の場合



❷配線する方向（左右）を決め、図のようにベースフレームについているクリップに留めてください。

❸電源プラグをコンセントに差込んでください。



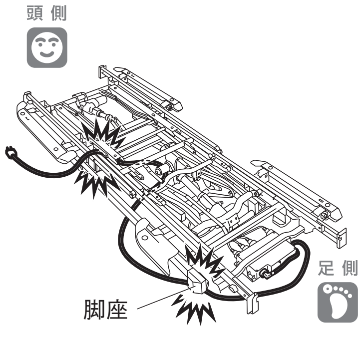
⚠ 警（けい） 告（こく）

●**電源コードは正しく配線してください。断線や破損の原因となります。コード類が破損すると感電・火災のおそれがあります。**

○**電源コードはベースフレームの上側および内側に入り込まないように配線してください。**

○**電源コードは脚座やキャスターなどで踏まないように配線してください。**

○**電源コードはベッドの高さを一番上まであげた状態でも突っ張らないように配線してください。**



9 ベッドの組立方法

4. コード類の配線

■ 4-4 手元スイッチの配線

■手元スイッチを使用する方向にあわせて配線してください。

以下の❶～❸はらくらくモーション･3 モーター･2 モーターシリーズのみの作業です。

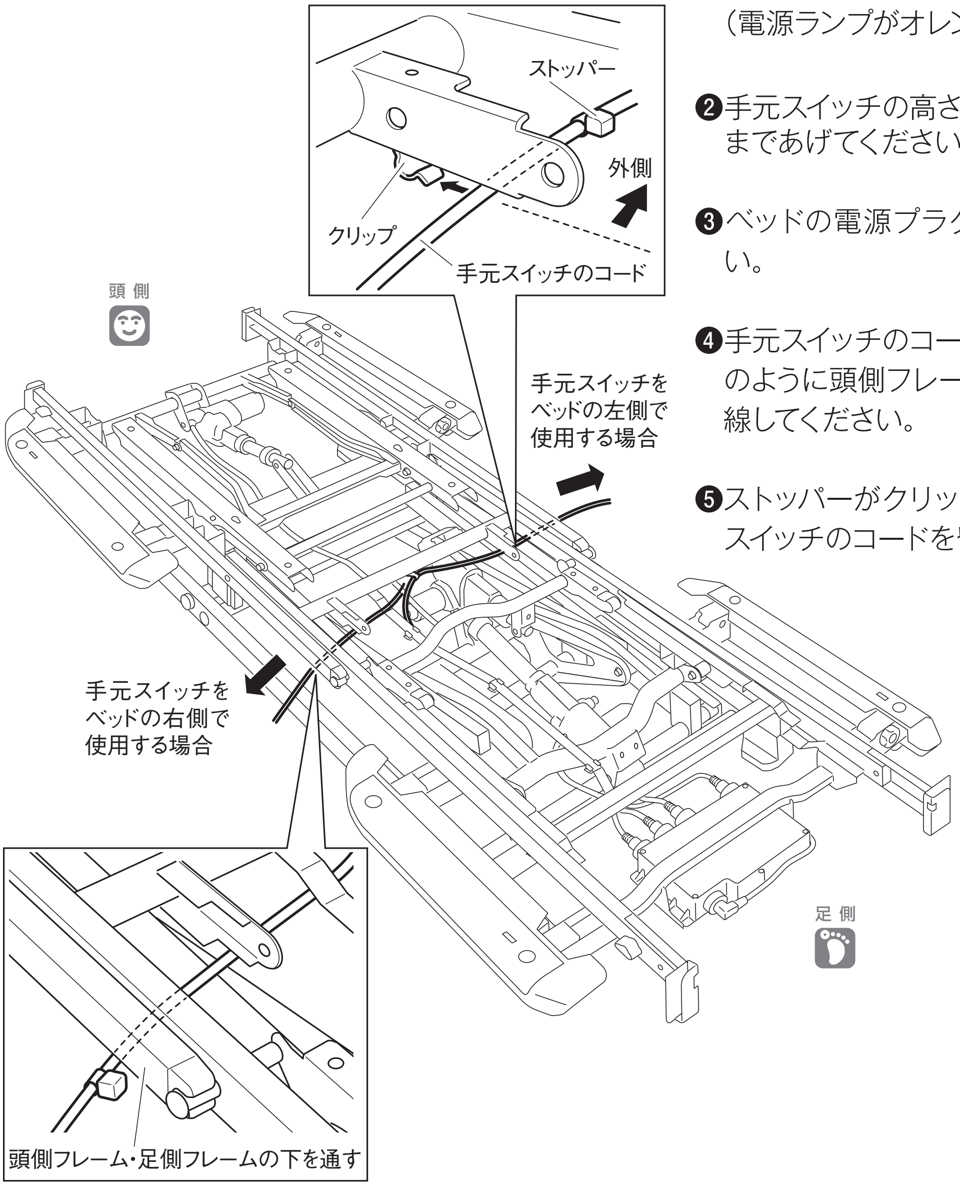
❶手元スイッチの入 / 切ボタンを押して、ベッドの電源を入れてください。
（電源ランプがオレンジ色から緑色に変わります。）

❷手元スイッチの高さ⇧ボタンを押して高さを約25 ㎝まであげてください。

❸ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

❹手元スイッチのコードを使用する側（右･左）に、図のように頭側フレーム･足側フレームの下を通して配線してください。

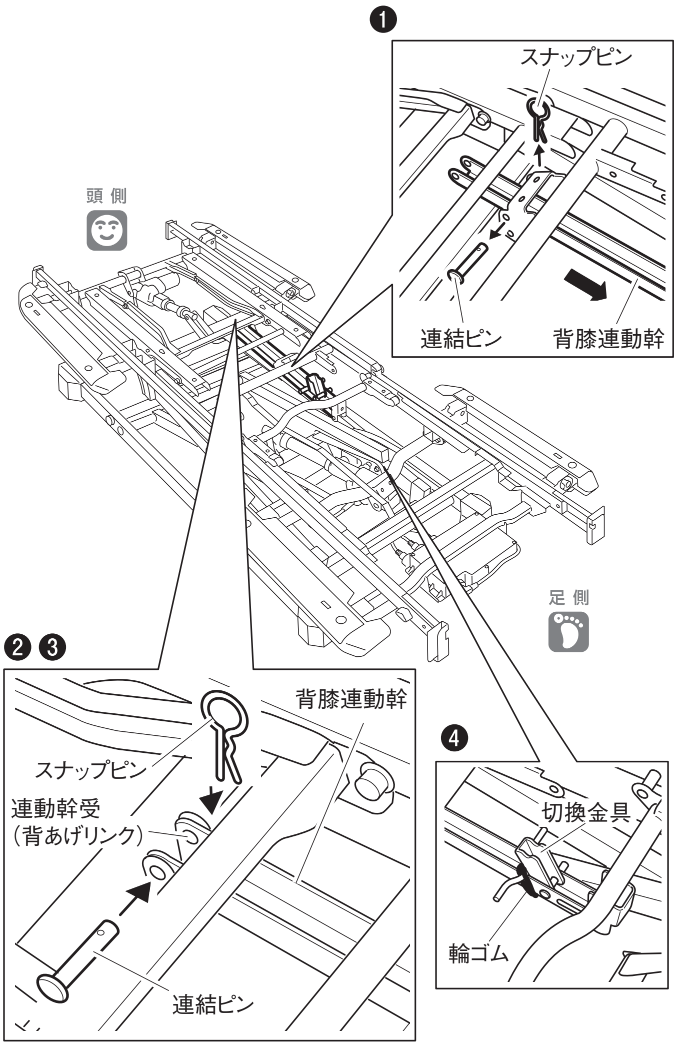
❺ストッパーがクリップの外側にくるようにして、手元スイッチのコードを留めてください。



⚠ 注意	
	●コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。 ●ストッパーがクリップの外側にくるように手元スイッチのコードを取付けてください。

2モーター 1モーター ▶P.56　らくらく 3モーター ▶P.57

5. 背膝連動幹の取付け 2モーター 1モーター



❶背膝連動幹と足側フレームを固定しているスナップピンを抜いて、連結ピンを取外してください。

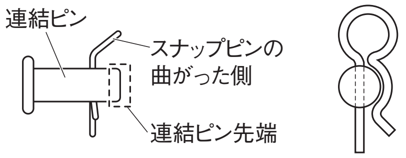
注記！ **●連結ピンを取外す際は、背膝連動幹を手で支えてください。**

❷背膝連動幹を足側に動かし、頭側先端の穴と背あげリンクの連動幹受の穴の位置をあわせ、❶で取外した連結ピンを差込んでください。

注記！ **●連結ピンはベッドの内側から差込んでください。**

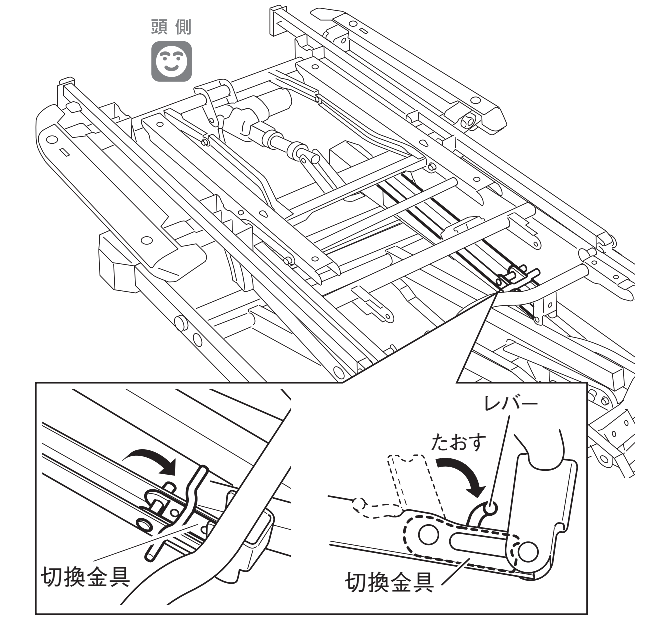
❸連結ピンの穴にスナップピンを差込んでください。

❹切換金具を固定している輪ゴムを取外してください。

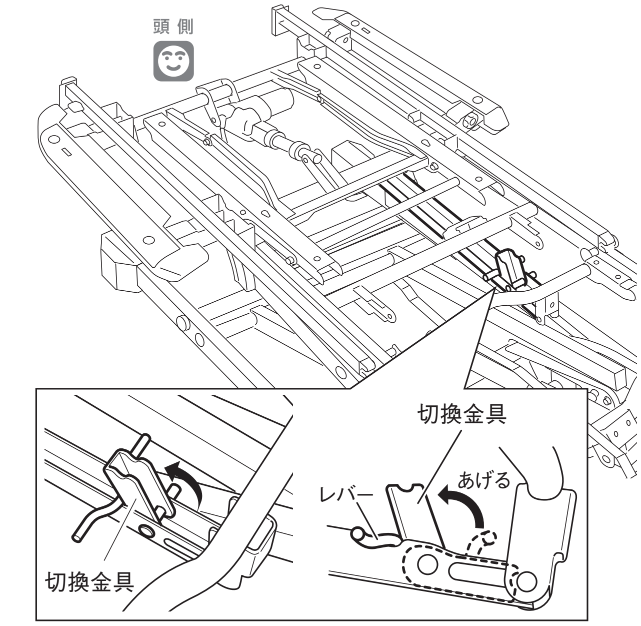
> ⚠ **警（けい） 告（こく）**
>
> **●連結ピンはしっかりと差込み、下図のように裏面でスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。**
>
> 
>

■ご使用状態にあわせて、「背膝連動」または「背あげ」に設定してください。
切換え方法は、37 ~ 38 ページ「背膝連動 / 背あげを切換えたいときは」を参照してください。

背膝連動



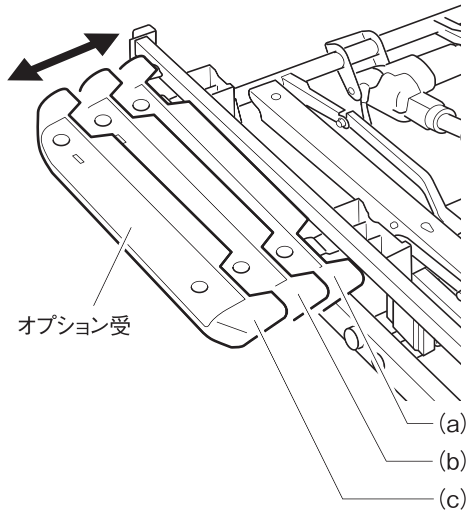
背あげ



9 ベッドの組立方法

6. オプション受の調節

■お使いになるベッドの幅や目的に応じて、オプション受の位置を調節してください。
オプション受の位置を調節する際は、必ず32 ～ 34 ページ「オプション受を使用・格納したいときは」を参照してください。



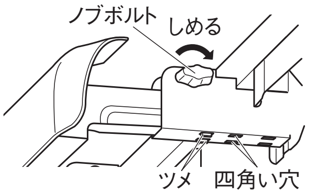
注記!

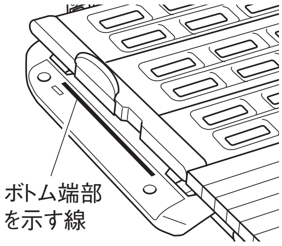
- お使いになるベッドの幅（83 ㎝／ 91 ㎝）を確認してから オプション受の調節を行ってください。
- 工場出荷時は、(a) の位置に設定されています。

ベッドの幅 / オプション受の状態	83cm	91cm
格納時	(a)	(b)
使用時	(b)	(c)

⚠ 警(けい) 告(こく)

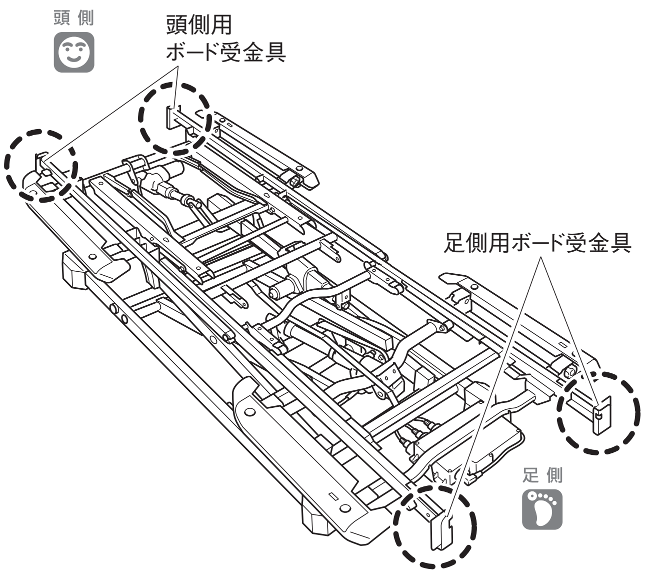
- オプション受はオプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブボルトでしっかりと固定した状態で使用してください。オプション受が、がたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。
- オプション受を使用する場合は、ボトムを取付けた後、オプション受に貼られているラベルのボトム端部を示す線とボトムの端部が、揃っていることを確認してください。 誤った位置で使用すると、ベッドとサイドレール・介助バーなどの間に意図せぬすき間ができ、はさまれてけがをするおそれがあります。





7. ボード受金具の調節

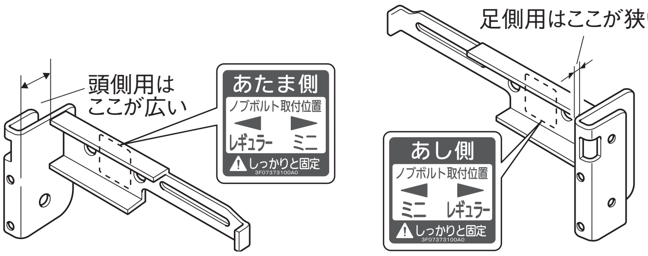
■お使いになるベッドの長さ（レギュラー・ミニ）にあわせて、ボード受金具の取付位置を調節してください。

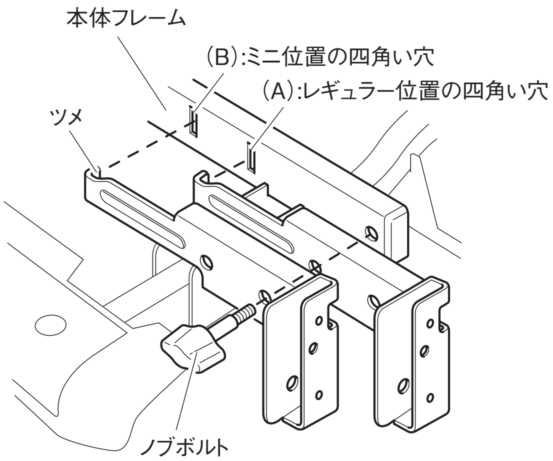


●ボード受金具の位置調節は、4ヶ所（頭側、足側の左右各1ヶ所）すべてについて行ってください。

●ボード受金具には頭側用と足側用があります。作業を行う際は、ボード受金具のラベルをよく確認し、正しく取付けてください。

頭側用ボード受金具　　足側用ボード受金具





※イラストは足側を示しています。

※工場出荷時は、ボード受金具は頭側、足側ともにレギュラー位置に設定されています。

❶調節が不要な場合は、ボード受金具のツメが本体フレームの四角い穴に入った状態でノブボルトがしっかりと固定されていることを確認してください。（4ヶ所）

❷調節が必要な場合は、ノブボルトを取外し、ボード受金具を本体フレームから取外してください。

❸お使いになるベッドサイズにあわせて、ボード受金具のツメを本体フレームの（A）・（B）いずれかの四角い穴に差込んでください。
【レギュラーの場合】
ボード受金具のツメ位置　→（A）
【ミニの場合】
ボード受金具のツメ位置　→（B）

❹ボード受金具をノブボルトでしっかりと固定してください。（4ヶ所）

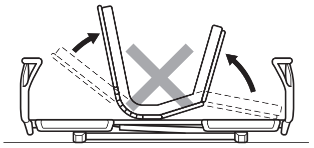
⚠ 警告（けいこく）	●**ボード受金具はベッドの長さ（レギュラー・ミニ）にあわせて正しく設定してください。誤った設定で使用すると、ボトムとボードの間に意図せぬすき間ができる場合があり、けがをするおそれがあります。** ●**ノブボルトは確実に締付けてください。ノブボルトがゆるんでいると、ボードががたついたり落下して、けがをするおそれがあります。**

9 ベッドの組立方法

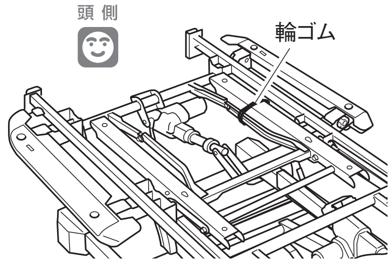
8. ボトムの取付け

⚠ 注意(ちゅうい)

●背ボトム、足ボトムを持ちあげて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。破損・変形のおそれがあります。

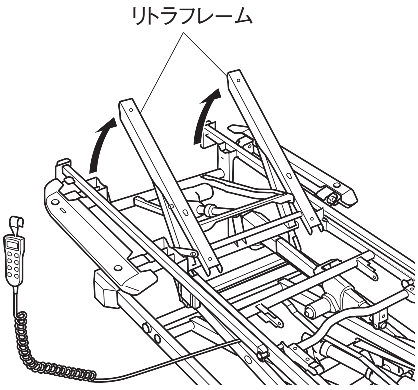


■ 8-1 キューマボトムの取付け



❶リトラフレームを固定している輪ゴムを取外してください。

❷電源プラグをコンセントに差込んでください。



❸手元スイッチの入 / 切ボタンを押し、手元スイッチの電源を入れてください。
（電源ランプがオレンジ色から緑色に変わります。）

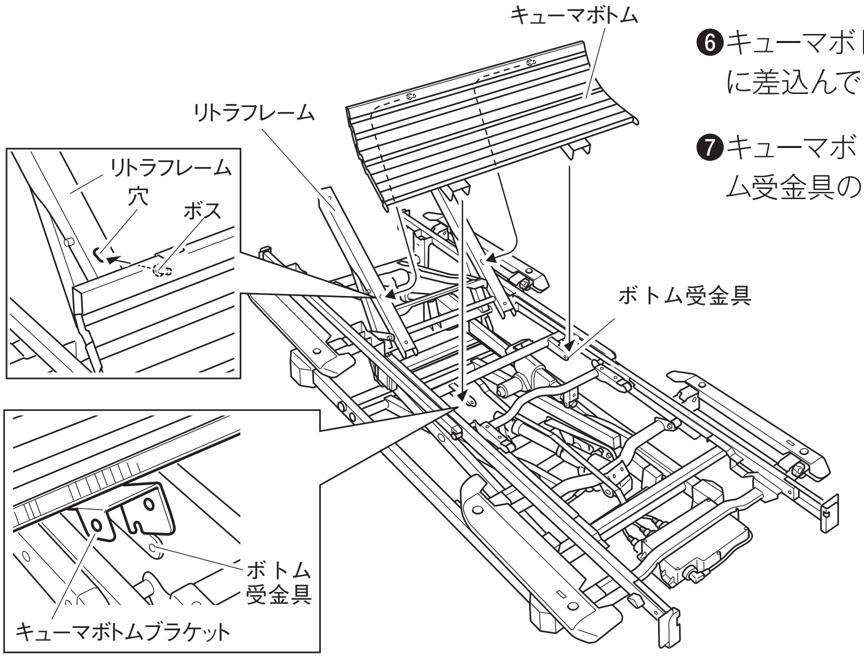
注記！ **●らくらくモーションシリーズをお使いの方は、らくらく切換ボタンを押して「背あげ」にしてから作業を行ってください。**

❹手元スイッチの頭 (らくらくモーションシリーズの場合は、らくらく / 頭) ボタンを押してリトラフレームを約 40° まであげてください。

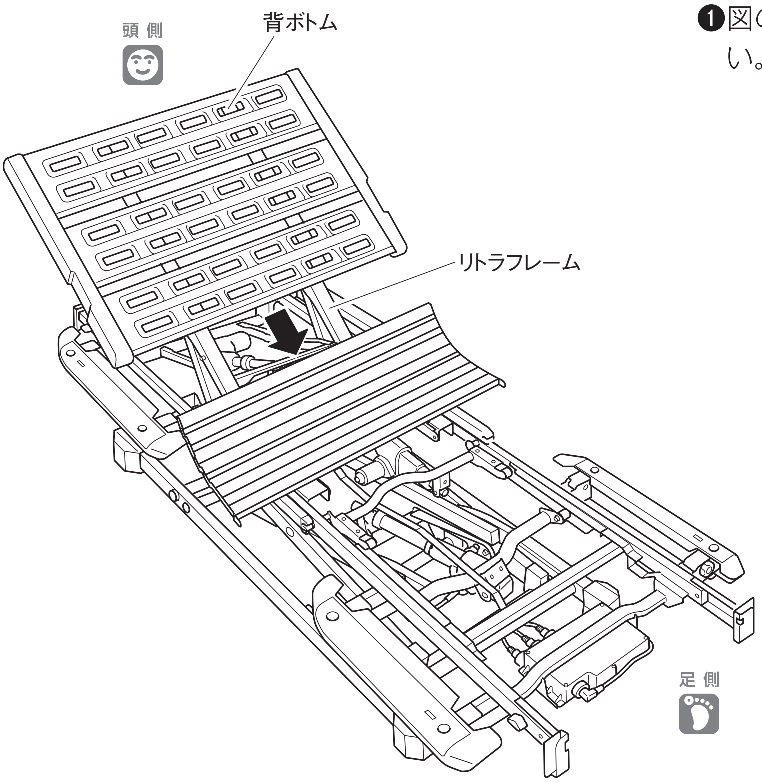
❺電源プラグをコンセントから抜いてください。

❻キューマボトムの左右のボスを、リトラフレームの穴に差込んでください。

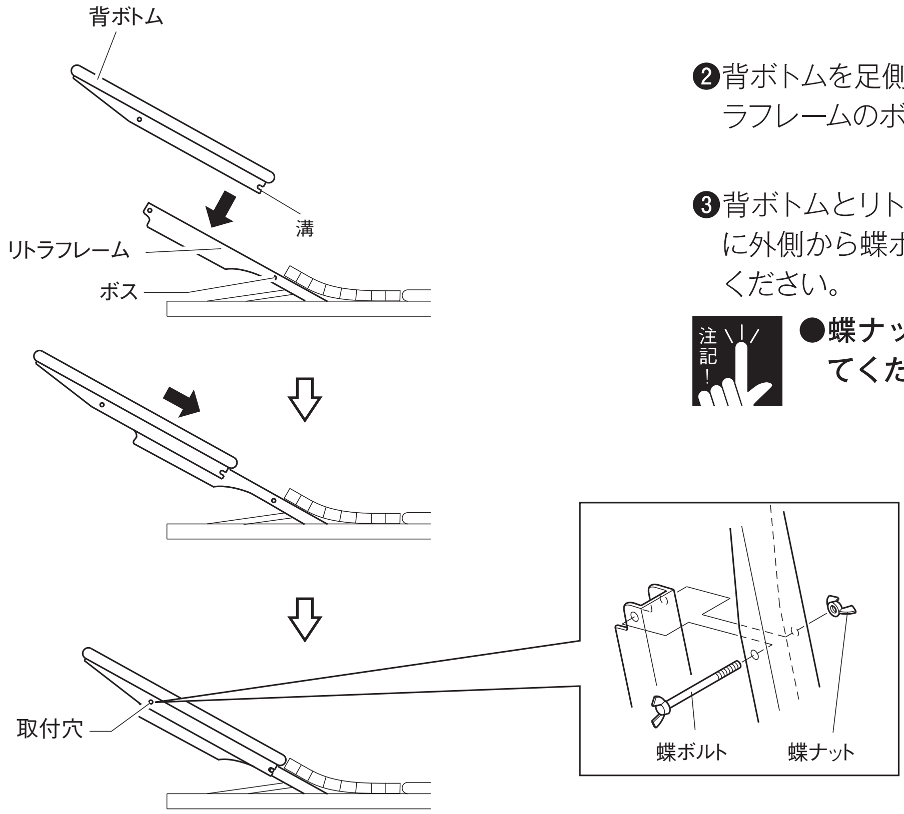
❼キューマボトムのブラケットをベッドフレームとボトム受金具の間に入れてください。



■ 8-2 背ボトムの取付け



❶図のように背ボトムをリトラフレームに載せてください。



❷背ボトムを足側へスライドさせ、背ボトムの溝をリトラフレームのボスに差込んでください。

❸背ボトムとリトラフレームの取付穴（左右各１ヶ所）に外側から蝶ボルトを差込み、蝶ナットで締付けてください。

注記!

●蝶ナットは左右とも、手で十分に締付けてください。

9 ベッドの組立方法

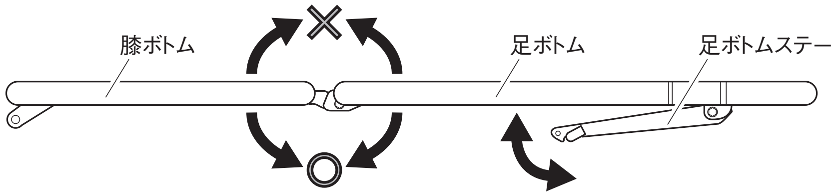
8. ボトムの取付け

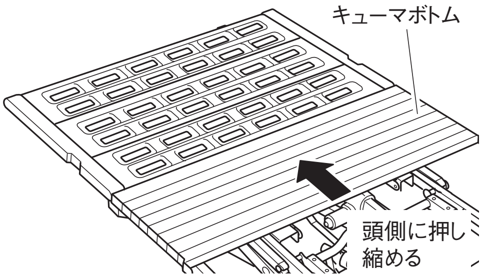
■ 8-3 膝・足ボトムの取付け

⚠ 注意

●足ボトムステーは固定されていません。手などをはさむおそれがありますので、取扱いに注意してください。

●膝・足ボトムを逆向きに折りたたまないでください。破損・変形するおそれがあります。





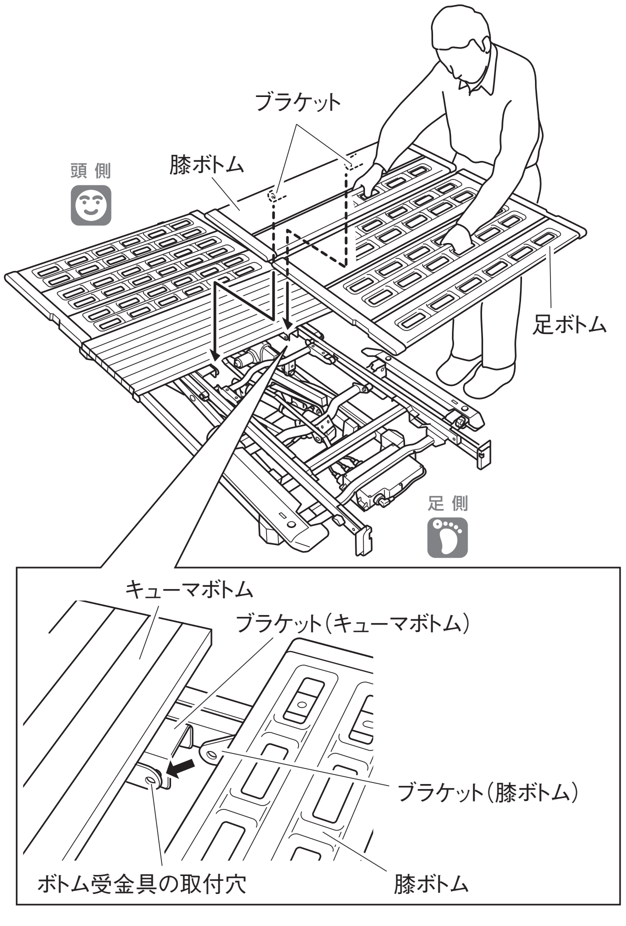
❶電源プラグをコンセントに差込んでください。

❷手元スイッチの頭 (↓)（らくらくモーションシリーズの場合は、らくらく / 頭 (↓)）ボタンを押して、背ボトムを一番下までさげてください。

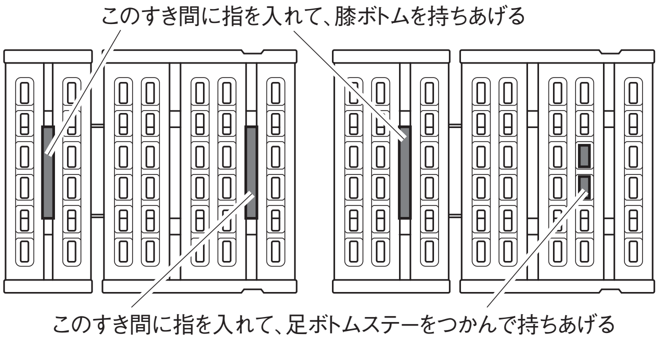
❸電源プラグをコンセントから抜いてください。

❹キューマボトムのブラケットの穴が、ボトム受金具の取付穴とあうまで頭側に寄せてください。

❺図のように足ボトムステーをボトムの上からつかんで、膝・足ボトムを持ってください。

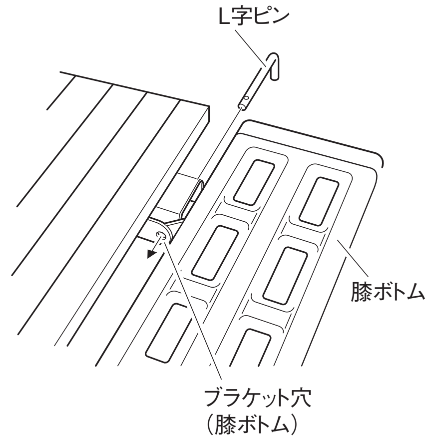


ミニ	レギュラー



❻膝ボトムのブラケットをキューマボトムのブラケットとボトム受金具の間に入れてください。

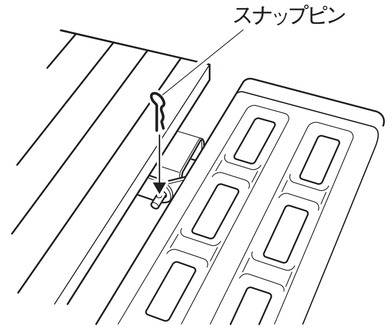
❼



❼膝ボトムのブラケット穴とベッドフレームの取付穴の位置をあわせ、ベッドフレームの取付穴にL字ピンを外側から差込み、キューマボトムと膝・足ボトムをベッドフレームと連結してください。
（左右各1ヶ所）

注記！ **●L字ピンが入れづらい場合は、膝ボトムを少し持ちあげながら入れてください。**

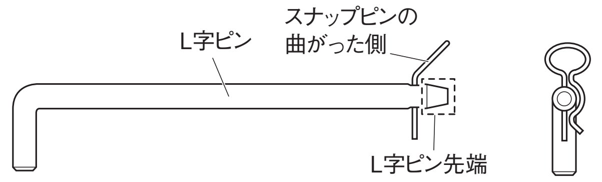
❽



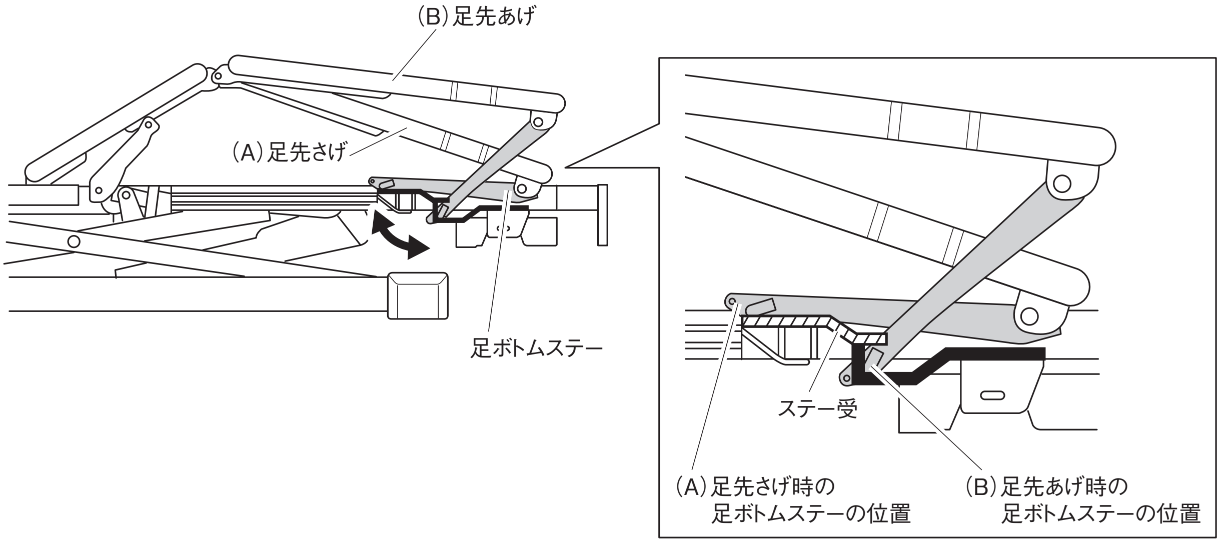
❽L字ピンの穴にスナップピンを差込んでください。
（左右各1ヶ所）

⚠ 警（けい） 告（こく）

●L字ピンはしっかりと差込み、下図のように裏面でスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



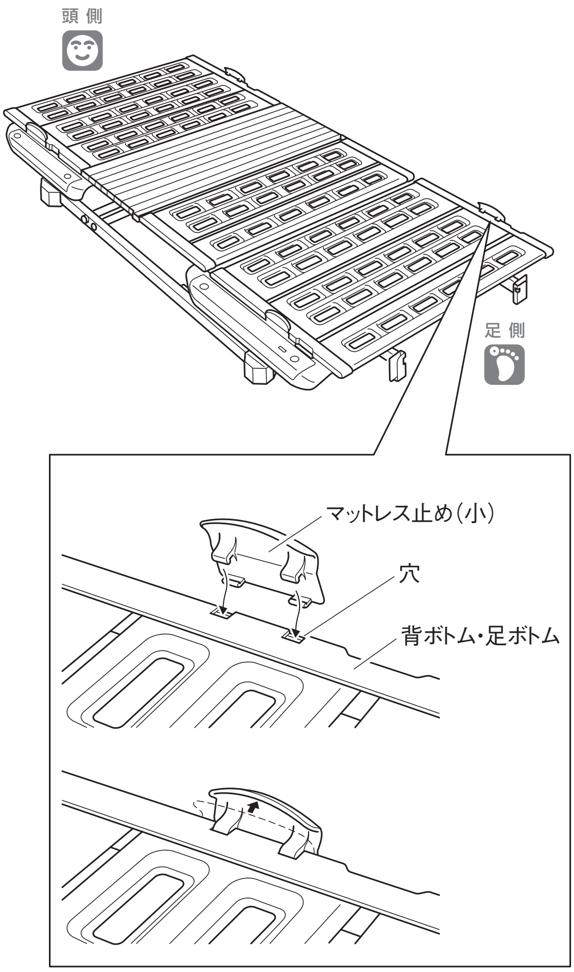
❾ご使用状態にあわせて、足ボトムステーの設定をしてください。（詳細は35～36ページ参照）



⚠ 注（ちゅう） 意（い）	**●足ボトムステーは確実に指定の位置に載せてください。載せ方が不十分な場合や、間違った場所に載せた場合、膝・足ボトムが不意に落下してけがをしたり、膝あげ動作の際にベッドが破損するおそれがあります。**

9 ベッドの組立方法

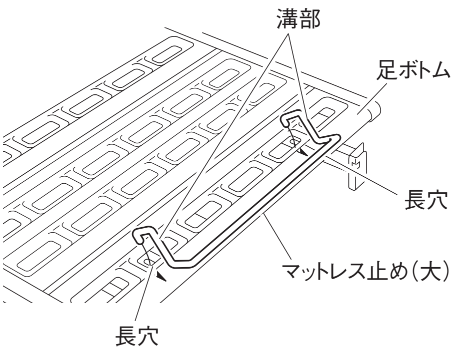
9. マットレス止めの取付け



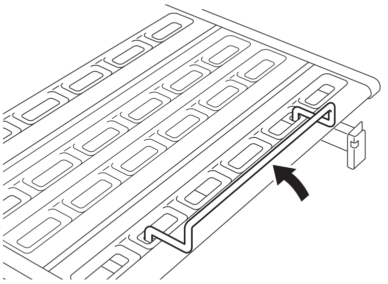
❶付属のマットレス止め(小)を背ボトム・足ボトム両端の穴に斜めに差込んでください。
(背ボトム・足ボトム左右各1ヶ所)

❷マットレス止め(小)を「カチッ」と音がするまで起こしてください。

注記!
●マットレス止め(小)の取付け後、内から外へ軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

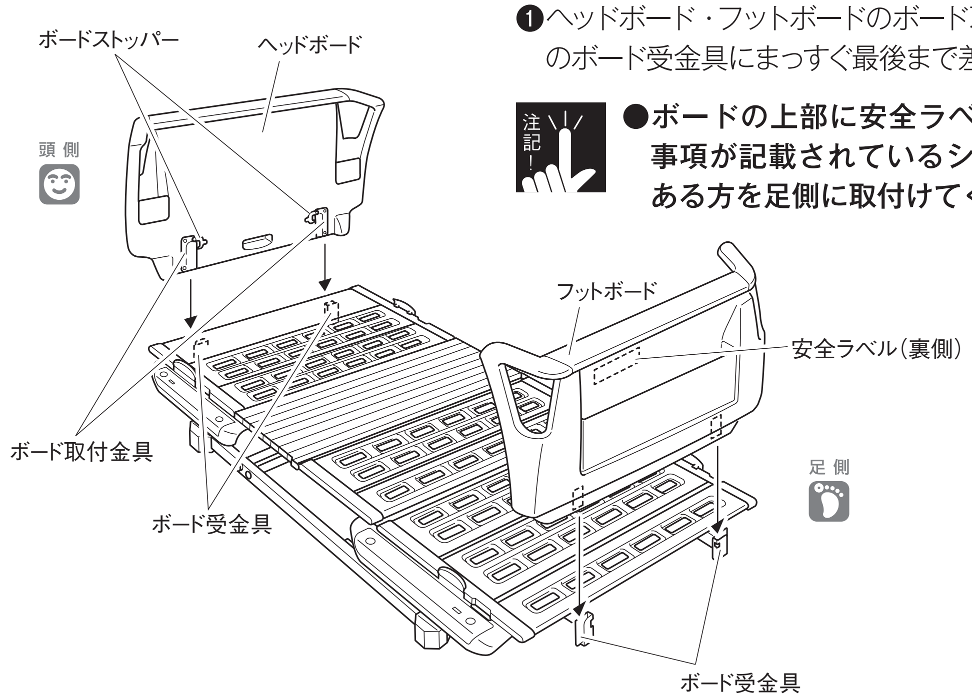


❸マットレス止め(大)を内側に押しながら、先端を足ボトムの長穴に差込んでください。



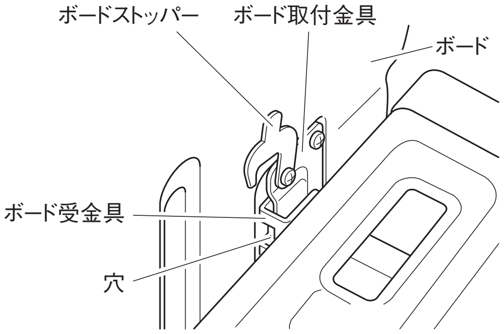
❹マットレス止め(大)を矢印方向に起こし、溝部が足ボトムの長穴に引っ掛かるまで押し込んでください。

10. ヘッドボード・フットボードの取付け

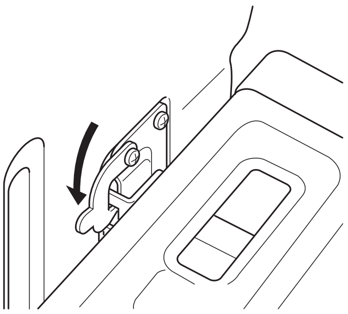


❶ヘッドボード・フットボードのボード取付金具をベッドのボード受金具にまっすぐ最後まで差込んでください。

注記！ **●ボードの上部に安全ラベル（警告・注意事項が記載されているシール）が貼ってある方を足側に取付けてください。**



❷ヘッドボード・フットボードのボードストッパーを左図のように穴へ差込んでください。



❸ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていることを確認してください。

⚠ 警(けい) 告(こく)	**●ボードは正しいユニットの組合せ（40 ～ 41 ページ参照）になっていることを確認したうえで取付けてください。誤った組合せで使用すると、意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などにより、けがをしたりベッドが故障するおそれがあります。**

⚠ 注(ちゅう) 意(い)	**●ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全な場合、ボードが不意に外れて、けがをするおそれがあります。** **●ボードを取付ける際は、落下させないよう注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけるおそれがあります。**

10 組立後の点検

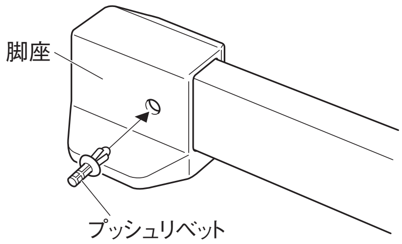
■ベッドの組立てが終わりましたら、ベッドに人が乗っていないことを確認のうえ、このチェックシートで点検してください。（65 ～ 70 ページをコピーしてお使いください。）
■定期点検の際も、このシートを使用してください。
■異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター（70 ページ参照）までお問い合せください。

⚠ 警告	●組立て後は点検を行ってください。組立てが不十分な状態で使用すると、けがや故障するおそれがあります。

⚠ 注意	●点検作業をしている際に異常音や振動が生じた場合には、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター（70 ページ参照）までご連絡ください。 ●キャスターやハイトスペーサーなどのオプションを使用の場合は、各製品の「取扱説明書」に従って、組立・点検を行ってください。

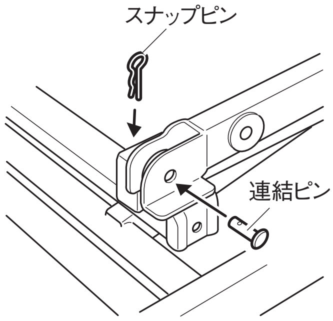
1 脚座の取付け（4 ヶ所）
・ベースフレームの 4 ヶ所すべてに脚座がはまり、プッシュリベッドが確実に取付けられていますか?

□はい
□いいえ→ 46 ページ参照



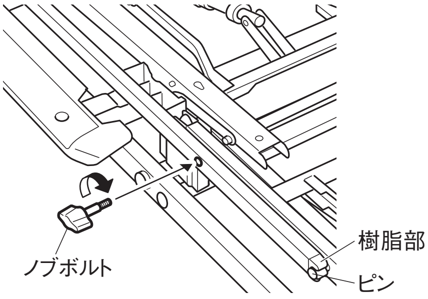
2 ベースフレームと足側フレームの連結（左右各 1 ヶ所）
・連結ピンにスナップピンが確実に差込まれていますか?

□はい
□いいえ→ 48 ～ 50 ページ参照



3 頭側フレームと足側フレームの固定（左右各 1 ヶ所）
・頭側フレームの樹脂部が足側フレームのピンに掛かっていますか?
・ノブボルトで確実に締付けられていますか?

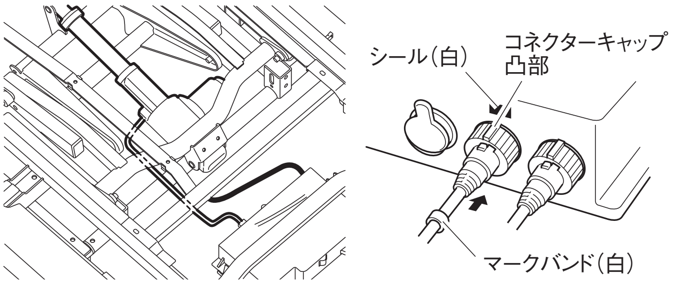
□はい
□いいえ→ 51 ページ参照



4 コード類の傷
・プラグやコードに傷などはありませんか?

□ない
□ある→販売店またはパラテクノコールセンターへ

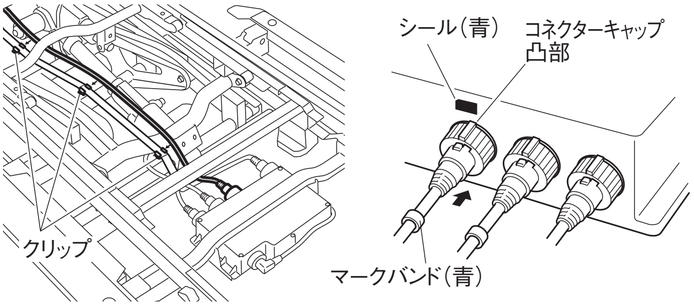
5 ハイローアクチュエーターとコントロールボックスの接続 らくらく 3モーター 2モーター



・ケーブルが正しく配線されていますか?
・コネクターキャップの凸部が真上にきていますか?

□はい
□いいえ→ 52 ページ参照

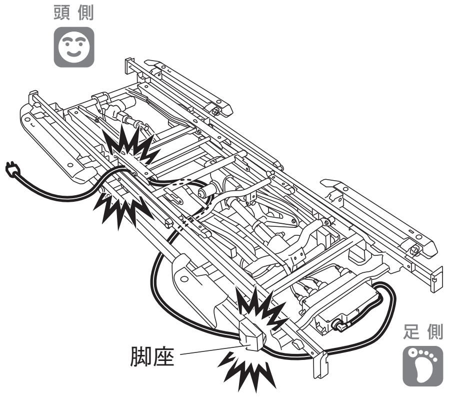
6 背アクチュエーターとコントロールボックスの接続



・ケーブルが正しく配線されていますか?
・ケーブルがクリップに固定されていますか?（3 ヶ所）
・コネクターキャップの凸部が真上にきていますか?

□はい
□いいえ→ 53 ページ参照

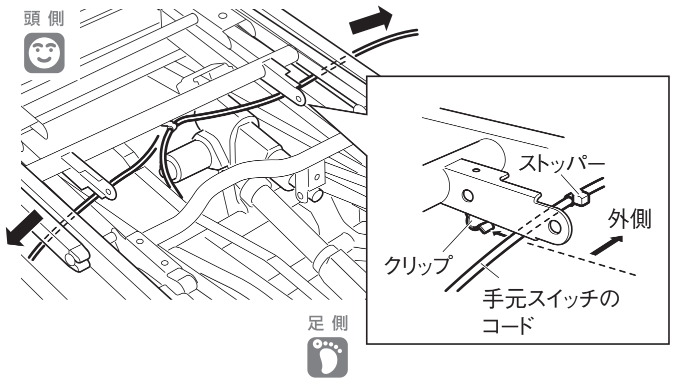
7 電源コードの確認



・コードはベースフレームの外側に配線されていますか?
・フットボードよりも頭側で配線する場合、コードはクリップに留まっていますか?
・可動部と接触していませんか?
・脚座やキャスターなどで踏んでいませんか?
・高さ調節を最低位置から最高位置まで行い、コードが引っ張られることはありませんか?

□はい
□いいえ→ 54 ページ参照

8 手元スイッチの配線



・コードが正しく配線され、クリップに固定されていますか?
・ストッパーがクリップの外側にきていますか?

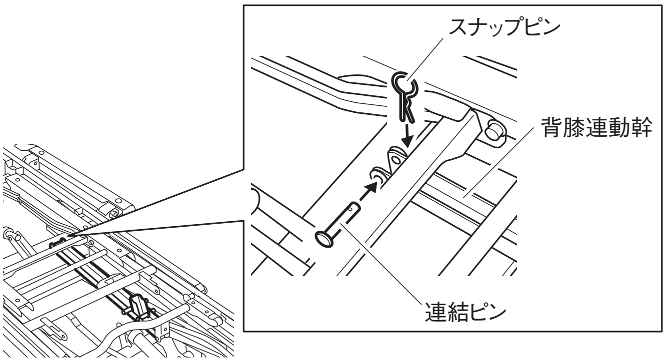
□はい
□いいえ→ 55 ページ参照

10 組立後の点検

9 背膝連動幹と切換金具の連結 2 モーター 1 モーター

・連結ピンにスナップピンが確実に差込まれていますか?
・背膝連動幹が背あげリンクに正しく連結されていますか?

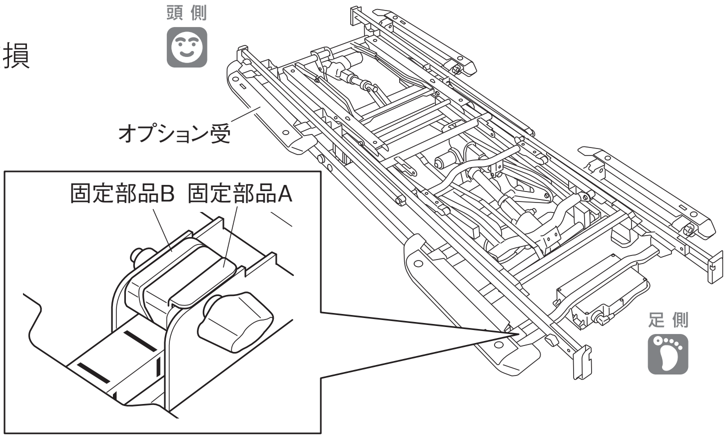
□はい
□いいえ→ 56 ページ参照



10 オプション受の確認

・オプション受や固定部品 A・B に変形や破損はありませんか?

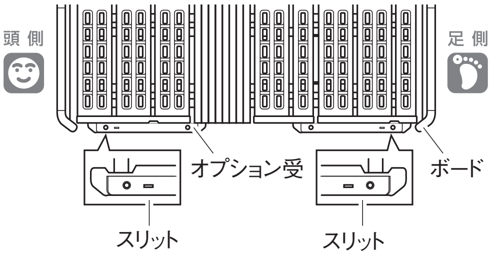
□ない
□ある→販売店またはパラテクノコールセンターへ

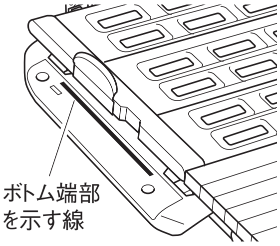


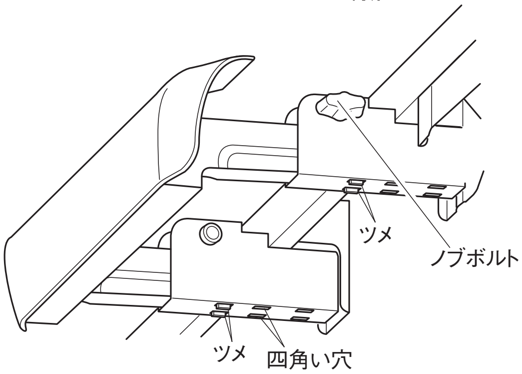
11 オプション受の調節(4 ヶ所)

・左右が正しい向きで取付けられていますか?
・ベッドの幅にあった位置に取付けられていますか?
・オプション受の下側のツメは本体の四角い穴から出ていますか?(オプション受 1 つにつき 4 ヶ所)
・ノブボルトで確実に締付けられていますか?(オプション受 1 つにつき 2 ヶ所)

□はい
□いいえ→ 32 ~ 34、57 ページ参照



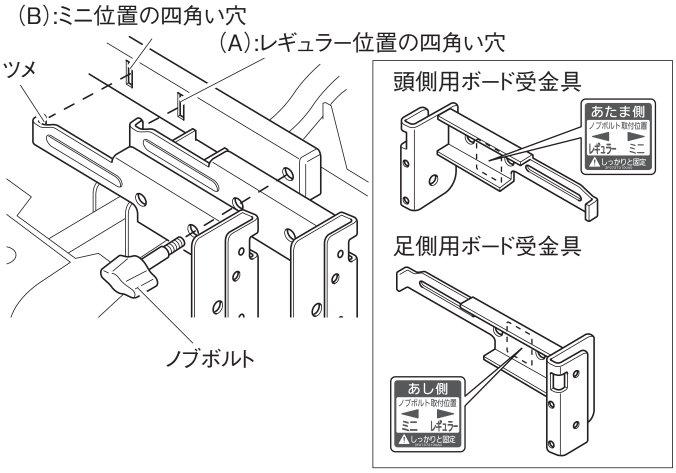




12 **ボード受金具の調節（頭側左右各1ヶ所、足側左右各 1 ヶ所）**

・ボトム長さにあった位置に取付けられていますか?
・頭側用/足側用が正しく取付けられていますか?
・ノブボルトで確実に締付けられていますか?

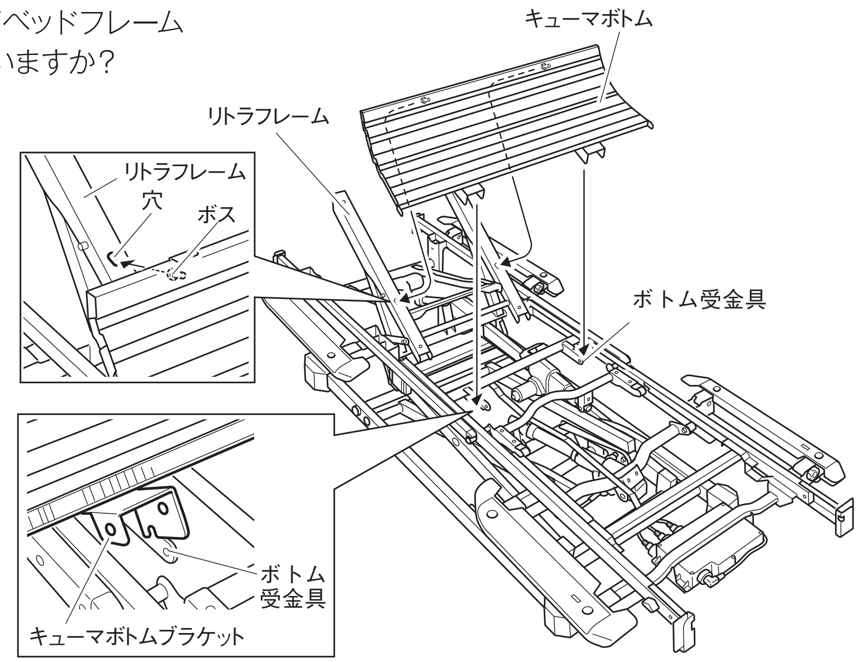
□はい
□いいえ→ 58 ページ参照



13 **キューマボトムの取付け（左右各 1 ヶ所）**

・キューマボトムの左右のボスがリトラフレームの穴に確実に入っていますか?
・キューマボトムのブラケットがベッドフレームとボトム受金具の間に入っていますか?

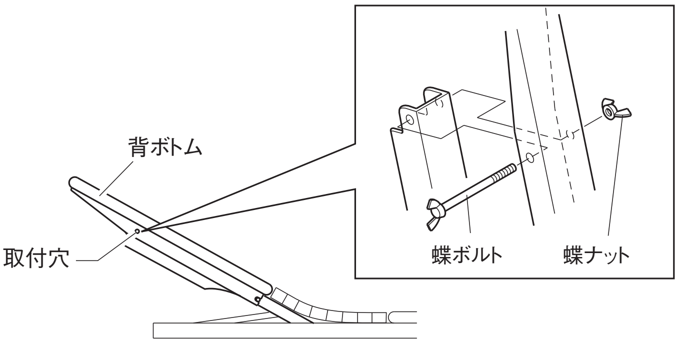
□はい
□いいえ→ 59 ページ参照



14 **背ボトムの取付け（左右各 1 ヶ所）**

・蝶ボルト、蝶ナットで確実に締付けられていますか?

□はい
□いいえ→ 60 ページ参照

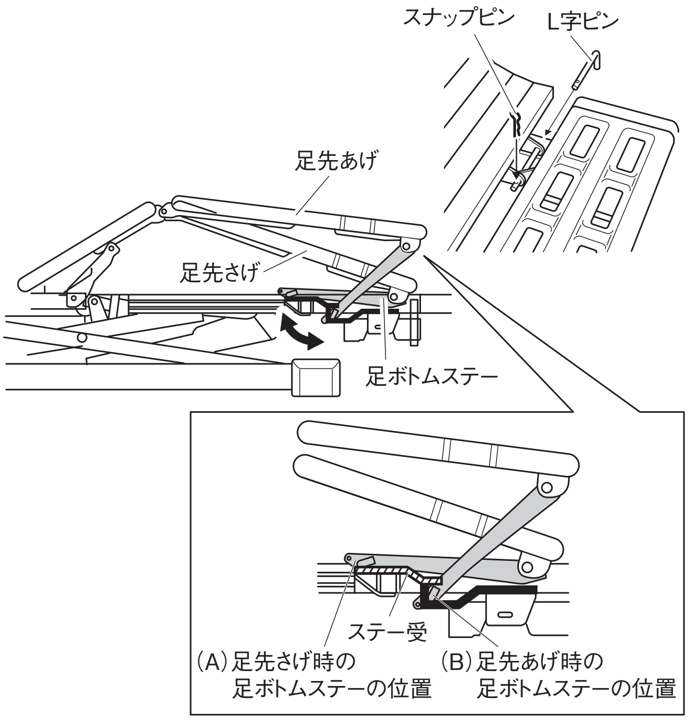


10 組立後の点検

15 膝・足ボトムの取付け（左右各 1 ヶ所）

・L字ピンにスナップピンが確実に差込まれていますか?
・足ボトムステーは指定の位置に載っていますか?

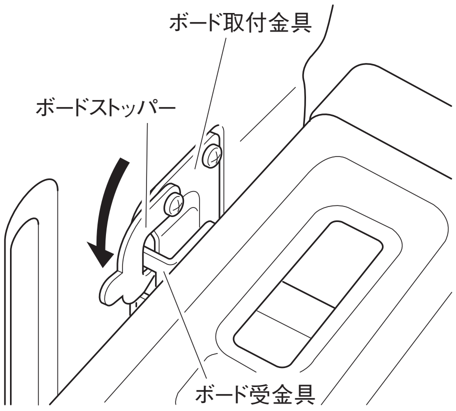
□はい
□いいえ→ 61 ~ 62 ページ参照



16 ボードの取付け状況の確認（頭側・足側）

・ボード取付金具がボード受金具にしっかりと入っていますか?
・ボードストッパーがボード受金具の穴に確実に掛かっていますか?
・ストッパーのロックが確実にかかりますか?
・いちじるしいがたつきがないですか?

□はい
□いいえ→ 64 ページ参照



17 手元スイッチの確認

・電源プラグをコンセントに差込むと手元スイッチの電源ランプがオレンジ色に点灯しますか?
・入 / 切ボタンを押して電源ランプがオレンジ色から緑色に変わりますか?
・操作選択ランプが緑色に点灯しますか?

□はい
□いいえ→ 83 ~ 84 ページ参照

18 点検お知らせランプ

・手元スイッチの点検お知らせランプが点滅していませんか?

□はい（点滅していない）
□点滅している→販売店またはパラテクノコールセンターへ

19 操作時の確認

・手元スイッチで背あげ・膝あげ・高さ調節操作を最大まで行った際、以下の異常がありませんか？

□異常ない

□異常音がする→販売店またはパラテクノコールセンターへ

※場所や状態によってはお客様で注油を行うことができます。

□動作しない（電源ランプが点滅する）→ 83 ～ 84 ページ参照

□ベッドが家具などに当たる→ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。

20 ベッド・電装品の傷・変形

・ボトムやフレームなどに、傷や変形がありませんか？

・手元スイッチ本体に、傷や破損がありませんか？

□ない

□ある→販売店またはパラテクノコールセンターへ

21 ラベルのはがれ

・ラベルがはがれたり、文字が見えなくなっていませんか？

□いいえ

□はい（はがれている・文字が見えない）→販売店またはパラテクノコールセンターへ

22 ベッドの滑り

・ベッドを前後左右などから押して、容易に滑りませんか？

□滑らない

□滑る→脚座の下に脚座カーペット（KQ-P731：別売）などを敷いてください。

※調整・点検が必要な場合は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンターまでお問い合せください。

パラテクノコールセンター　0120-54-8639

【受付時間】９：００～１７：２０（夏季休業・年末年始休業を除く）

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書102ページの「20 アフターサービスについて」をご覧ください。

11 適合オプションについて

⚠ 警告

- オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。
  誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
  各オプションの品番は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。
  ※製品識別表示ラベル上は、S****、Q****と表示されています。
  例）S161Q → KS-161Q　を示します。
- 各オプションの適合表に記載の適合品以外は使用しないでください。意図せぬすき間の発生や製品の破損・変形などにより、けがをするおそれがあります。
- 使用する各オプションの取扱説明書をお読みください。

■適合表

ここでは、ベッドに取付けて使用するオプションのみを記載しています。
下表のオプション以外を使用する場合は、販売店または直接弊社までお問い合せください。

製品名	品番	ページ
延長フレーム　JIS 認証対象	KQ-P90L, KQ-P92L	72
キャスター　JIS 認証対象	KQ-P90C	73
ハイトスペーサー（延長脚）　JIS 認証対象	KQ-P90H, KQ-027A	73
キャスター付ハイトスペーサー（延長脚）　JIS 認証対象	KQ-P90CH	73
ベッドサイドレール　JIS 認証対象	KS-151Q, KS-161Q, KS-171Q KS-126B/C/W,KS-146B/C/W KS-166, KS-176	74
ソフトカバー付ベッドサイドレール	KS-151QC, KS-161QC, KS-171QC KS-126BC/CC/WC, KS-146BC/CC/WC KS-166QC, KS-176QC	74
クリアカバー付ベッドサイドレール	KS-151QT, KS-161QT, KS-171QT KS-126BT/CT/WT, KS-146BT/CT/WT KS-166QT, KS-176QT	74
サクっとポケット付ベッドサイドレール	KS-161QAP/QBP/QCP KS-171QAP/QBP/QCP	74
ソフトガードサイドレール　JIS 認証対象	KS-019A	74
スイングアーム介助バー（ベッド用グリップ）　JIS 認証対象	KS-096A/B	75
ソフトカバー付スイングアーム介助バー	KS-096AC/BC, KS-096ACL/BCL	75
サクっとポケット付スイングアーム介助バー	KS-096AP	75
オーバーテーブル	KQ-060M/L	76
アジャストテーブル	KQ-090	76
サイドサポート	KA-037AR/BR, KA-037AL/BL, KA-038A/B	76
IV ポールホルダー	KQ-P90V	76
ベッド設置式電動介護リフト	KQ-786	79

注記！
- 仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
  ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

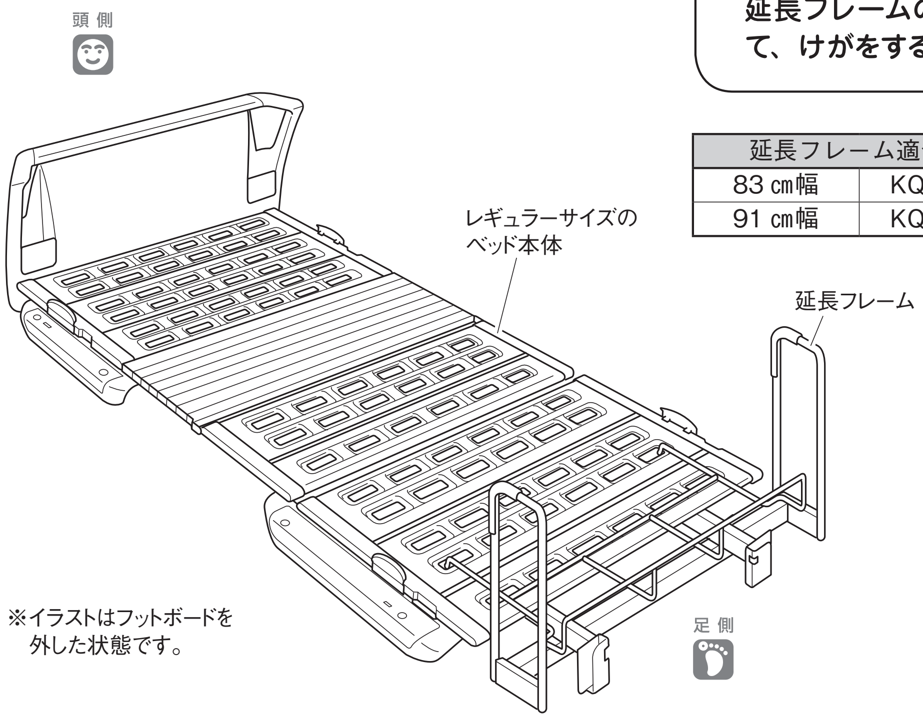
1. 延長フレーム　JIS 認証対象

■レギュラーサイズのベッドに取付け、延長マットレス（別売）を置くことにより、ベッド全長を足側に14cm 延長できます。長身の方（170cm 後半から）にあわせたロングサイズのベッドにすることができます。
■延長フレームは、必ず専用の延長マットレス（下表）を取付け、延長マットレスに適合するレギュラーサイズマットレスと合わせて使用してください。
■楽匠 S シリーズと下表の延長フレームの組合せは JIS 認証を取得しています。下表以外の延長フレームとは組合せないでください。
■下表以外の延長フレームと組合せた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

⚠ 警(けい) 告(こく)

●延長フレームを取付けて使用する際は、適合する延長マットレス（別売）を使用してください。
延長フレームのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。

延長フレーム適合表		延長マットレス
83 ㎝幅	KQ-P90L	KE-523L，KE-553L
91 ㎝幅	KQ-P92L	KE-521L，KE-551L



※イラストはフットボードを
外した状態です。

注記！
●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合せください。

11 適合オプションについて

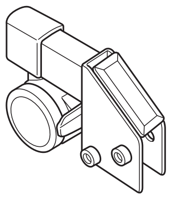
2. キャスター・ハイトスペーサー(延長脚)・キャスター付ハイトスペーサー(延長脚)

JIS 認証対象

■キャスターを取付けることにより、室内での配置換えや掃除をする際などのベッドの移動を補助します。また、ハイトスペーサーを取付けることにより、ゆかからの高さを高くすることができます。
■楽匠 S シリーズと下表のキャスター・ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサーの組合せは JIS 認証を取得しています。
下表以外のキャスター・ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサーとは組合せないでください。
■下表以外のキャスター・ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサーと組合せた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。

●キャスター

KQ-P90C

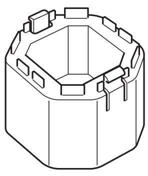


※ベッドの高さは変わりません。

キャスター・ハイトスペーサー・キャスター付ハイトスペーサー適合表		
適合品		ゆかからボトム上面の高さ
キャスター	KQ-P90C	20 ㎝～ 65 ㎝
ハイトスペーサー	KQ-P90H KQ-027A	26.5 ㎝～ 71.5 ㎝ 37 ㎝～ 82 ㎝
キャスター付ハイトスペーサー	KQ-P90CH	26.5 ㎝～ 71.5 ㎝

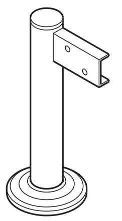
●ハイトスペーサー

KQ-P90H



※ベッドの高さを、約6.5cm
高くすることができます。

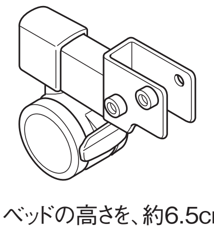
KQ-027A



※ベッドの高さを、約17cm
高くすることができます。

●キャスター付ハイトスペーサー

KQ-P90CH



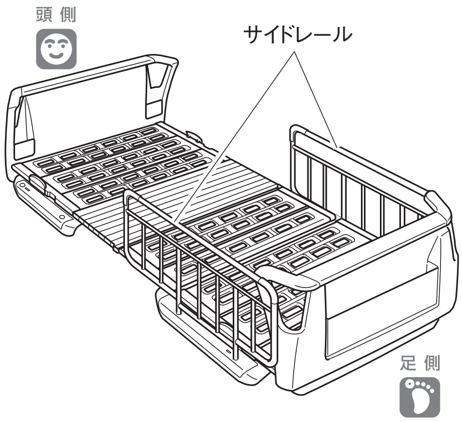
※ベッドの高さを、約6.5cm
高くすることができます。

注記！

●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。
●ベッドサイドテーブル（KF-192・195・196・197・282)、リハビリテーブル（KF-850・840)、床走行式電動介護リフト（KQ-771・781）を使用する場合は、ハイトスペーサー（KQ-P90H・KQ-027A)・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）が必要になります。

3. ベッドサイドレール JIS 認証対象

■ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、ベッドサイドレールが使用できます。
■ベッドサイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。
立ちあがり時など、支えとしてお使いになる場合はスイングアーム介助バーをお使いください。
■使用する方の状態に応じて、すき間を少なくしたソフトガードサイドレール（KS-019A）や各種カバーをお使いください。
■楽匠 S シリーズと下表のベッドサイドレールの組合せは JIS 認証を取得しています。下表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。
■下表以外のベッドサイドレールと組合せた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。



ベッドサイドレール適合表
ベッドサイドレール
KS-151Q、KS-161Q、KS-171Q、KS-166、KS-176、KS-126B/C/W、KS-146B/C/W
ソフトガードサイドレール
KS-019A

注記！
●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

4. ソフトカバー付／クリアカバー付／サクっとポケット付ベッドサイドレール

■ソフトカバー付／クリアカバー付／サクっとポケット付ベッドサイドレールは、下表のベッドサイドレールと各種カバー／サクっとポケットのセットです。
■楽匠Sシリーズとベッドサイドレールの組合せは JIS 認証を取得しています。下表以外のベッドサイドレールとは組合せないでください。
■ソフトカバー／クリアカバー／サクっとポケットのみでもお求めいただけます。

ソフトカバー付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	ソフトカバー
KS-151QC	KS-151Q	KS-15C
KS-161QC	KS-161Q	KS-16C
KS-166QC	KS-166	
KS-126BC/CC/WC	KS-126B/C/W	
KS-171QC	KS-171Q	KS-17C
KS-176QC	KS-176	
KS-146BC/CC/WC	KS-146B/C/W	

クリアカバー付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	クリアカバー
KS-151QT	KS-151Q	KS-15T
KS-161QT	KS-161Q	KS-16T
KS-166QT	KS-166	
KS-126BT/CT/WT	KS-126B/C/W	
KS-171QT	KS-171Q	KS-17T
KS-176QT	KS-176	
KS-146BT/CT/WT	KS-146B/C/W	

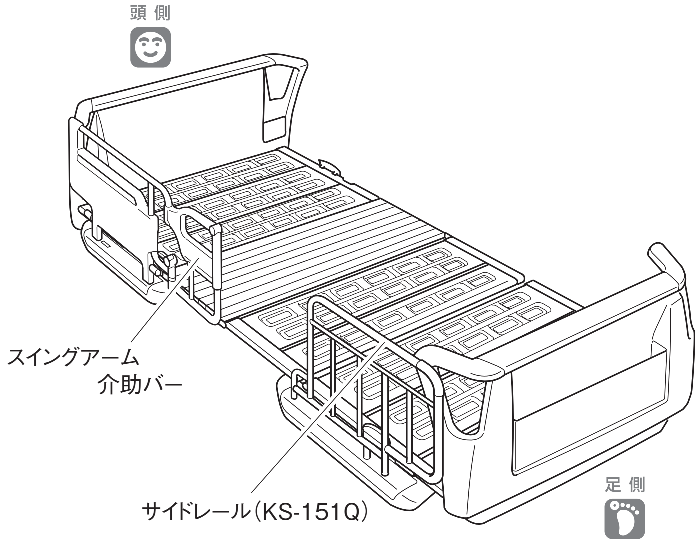
サクっとポケット付ベッドサイドレール	ベッドサイドレール	サクっとポケット
KS-161QAP	KS-161Q	KS-15P
KS-161QBP		KS-16P
KS-161QCP		KS-15P,KS-16P
KS-171QAP	KS-171Q	KS-15P
KS-171QBP		KS-16P
KS-171QCP		KS-15P,KS-16P

注記！
●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

11 適合オプションについて

5. スイングアーム介助バー（ベッド用グリップ） JIS 認証対象

■ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、スイングアーム介助バーが使用できます。
■安全のため、使用者が転落するおそれがある場合などには、スイングアーム介助バーと併用して、サイドレール（KS-151Q シリーズ）またはサイドサポートをご使用ください。
■使用する方の状態に応じて、すき間を少なくした各種ソフトカバーをお使いください。
■楽匠 S シリーズと下表のスイングアーム介助バーの組合せは JIS 認証を取得しています。下表以外のスイングアーム介助バーとは組合せないでください。
■下表以外のスイングアーム介助バーと組合せた場合は、JIS 認証を取得していない状態となります。



スイングアーム介助バー　適合表
KS-096A/B

※スイングアーム介助バーと同じ側で使用できるのは、サイドレール（KS-151Q シリーズ）と、サイドサポートのみです。

注記！ ●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

6. ソフトカバー付／サクっとポケット付スイングアーム介助バー

■ソフトカバー付／サクっとポケット付スイングアーム介助バーは、下表のスイングアーム介助バーとソフトカバー／サクっとポケットのセットです。
■楽匠 S シリーズとスイングアーム介助バーの組合せは JIS 認証を取得しています。下表以外のスイングアーム介助バーとは組合せないでください。
■ソフトカバー／サクっとポケットのみでもお求めいただけます。

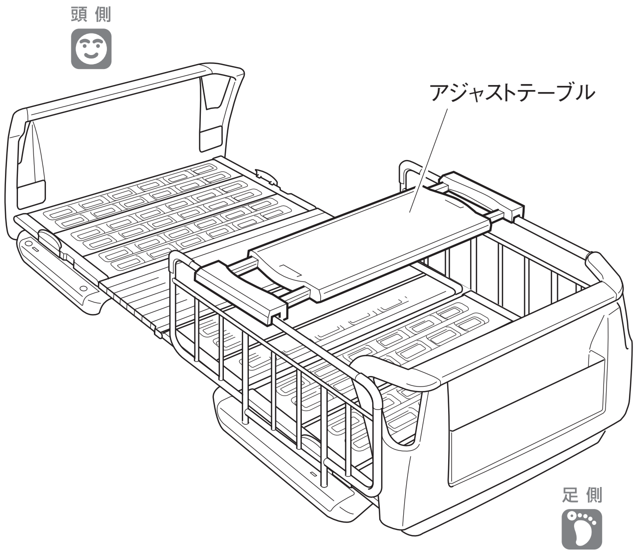
ソフトカバー付スイングアーム介助バー	スイングアーム介助バー	ソフトカバー
KS-096AC	KS-096A	KS-96C
KS-096ACL		KS-96CL
KS-096BC	KS-096B	KS-96C
KS-096BCL		KS-96CL

サクっとポケット付スイングアーム介助バー	スイングアーム介助バー	サクっとポケット
KS-096AP	KS-096A	KS-96P

注記！ ●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

7. オーバーテーブル／アジャストテーブル

■オーバーテーブル／アジャストテーブルはベッドサイドレールの上に載せて使用してください。

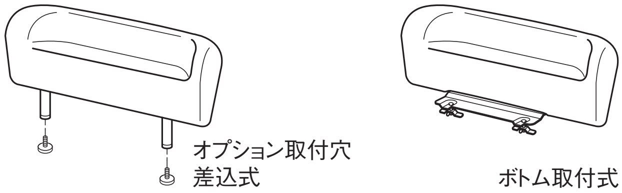


オーバーテーブル／アジャストテーブル適合表	
83cm 幅	91cm 幅
KQ-090 KQ-060M	KQ-090 KQ-060L

注記！
●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

8. サイドサポート

■ベッドの両サイドのオプション取付穴または背ボトムを利用して、サイドサポートが使用できます。



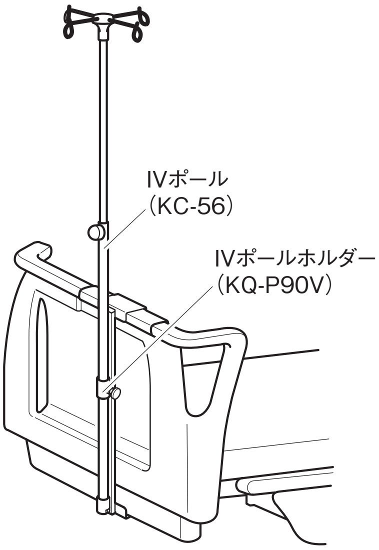
サイドサポート適合表	
オプション取付穴差込式	ボトム取付式
KA-037AR/BR KA-037AL/BL	KA-038A KA-038B

※ボトム取付式は、背ボトム専用です。

注記！
●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

9.IV ポールホルダー

■ボード（樹脂ボードのみ）に取付けることで、IV ポール（KC-56：別売）が使用できます。



⚠ 警告（けいこく）

● IV ポールをご使用になる場合､IV ポールホルダーをご使用になり､IV ポールホルダー以外には IV ポールを取付けないでください。意図せぬすき間の発生により､けがをするおそれがあります。

IV ポールホルダー適合表
KQ-P90V

※ IVポールは KC-56（別売）を使用してください。

注記！
●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。
ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

12 マットレス（別売）の使用方法とご注意

⚠ 警告（けいこく）

- ●マットレスを設置しない状態ではベッドを使用しないでください。ボトムのすき間や穴に手や足の指などがはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ●このベッドには、弊社が指定する適合品のマットレスを組合せてご使用ください。弊社が指定する適合品以外のマットレスと組合せると、寸法や折れ曲がりの点で適合しないだけでなく、サイドレール・介助バーなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけ故障の原因となります。

■適合マットレス

●一般用マットレス

ベッドサイズ		ミニサイズ		レギュラーサイズ		
		83 cm幅	91 cm幅	83 cm幅	91 cm幅	
マットレスサイズ		幅×長さ［cm］				厚［cm］
品名		83 × 180	91 × 180	83 × 191	91 × 191	
プレグラースーパーマットレス		—	—	KE-563 [約 6.5 kg]	KE-561 [約 7.0 kg]	8
プレグラーマットレス		KE-5531Q [約 6.1 kg]	KE-5511Q [約 6.6 kg]	KE-553Q [約 6.5 kg]	KE-551Q [約 7.0 kg]	8
エバーフィットマットレス	清拭タイプ	KE-5231Q [約 8.1 kg]	KE-5211Q [約 8.7 kg]	KE-523Q [約 8.4 kg]	KE-521Q [約 9.3 kg]	10
	洗浄タイプ	KE-5731Q [約 6.8 kg]	KE-5711Q [約 7.4 kg]	KE-573Q [約 7.2 kg]	KE-571Q [約 8.0 kg]	
ポケットコイルスプリングマットレス		—	—	KE-453 [約 17.0 kg]	KE-451 [約 18.5 kg]	14
クレーターマットレス		—	—	KE-763 [約 6.5 kg]	KE-761 [約 7.0 kg]	9

●体圧分散マットレス

ベッドサイズ		ミニサイズ		レギュラーサイズ		
		83 cm幅	91 cm幅	83 cm幅	91 cm幅	
マットレスサイズ		幅×長さ［cm］				厚［cm］
品名		83 × 180	91 × 180	83 × 191	91 × 191	
コンフォケアマットレス		—	—	KE-813 [約 7.5 kg]	KE-811 [約 9.0 kg]	8.5
マキシーフロートマットレス ※		KE-8031A [約 8.5 kg]	KE-8011A [約 9.5 kg]	KE-803A [約 9.0 kg]	KE-801A [約 10.0 kg]	15
アクアフロートマットレス	清拭タイプ	—	—	KE-833Q [約 11.0 kg]	KE-831Q [約 12.0 kg]	12
	通気タイプ	KE-8431Q [約 10.5 kg]	KE-8411Q [約 11.5 kg]	KE-843Q [約 11.0 kg]	KE-841Q [約 12.0 kg]	
パラフロートマットレス ※		—	—	KE-853A [約 9.0 kg]	KE-851A [約 10.0 kg]	16
アキュマックス ※		—	—	KE-823 [約 11.5 kg]	KE-821 [約 12.5 kg]	15.5
エアマットレス　ここちあ		KE-9031Q [約 5.1 kg]	KE-9011Q [約 5.5 kg]	KE-903Q [約 5.4 kg]	KE-901Q [約 5.8 kg]	13

※マキシーフロートマットレス、パラフロートマットレス、アキュマックスとサイドレールを併用する場合は、KS-171Qシリーズ、KS-146 シリーズ、KS-019A、KS-096A/B シリーズをご使用ください。

注記！

- ●詳細な取扱いは、マットレスに添付されている取扱説明書を参照してください。
- ●マットレスはベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。

13 電動介護リフト使用時のご注意

1. 電動介護リフト（床走行式リフト）の使用方法とご注意

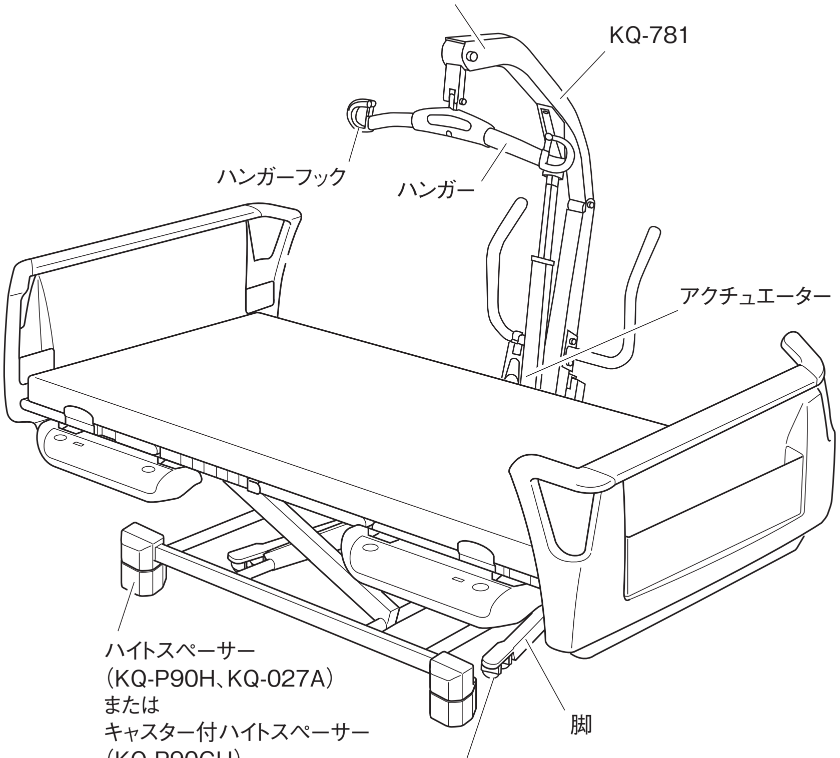
■下記の床走行式電動介護リフト（以下、床走行式リフト）が使用できます。

● KQ-771・KQ-781

⚠ 警告	
⚠ 警（けい）告（こく）	●床走行式リフトに添付されている取扱説明書もお読みください。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。 ●ベッド操作時および床走行式リフト操作時は床走行式リフトの周囲に注意してください。 ○ベッドとハンガーの間にはさまれたり、ハンガーに当たってけがをするおそれがあります。 ○ブームやハンガーが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損するおそれがあります。 ○ハンガーフックがサイドレールなどに引っ掛かり、床走行式リフトやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。 ○ベッドと床走行式リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たり、破損・変形するおそれがあります。 ●床走行式リフトの脚をベッドの下に差込んでいるときは、床走行式リフトのキャスターロックをかけないでください。ベッド操作のときにベッドと床走行式リフトの脚部やアクチュエーター部などが当たると、床走行式リフトが転倒してけがをしたり、ベッドや床走行式リフトが破損・変形するおそれがあります。 ●床走行式リフトの脚をベッドの下に差込むときは、電源コードを踏んだり乗り越えたりしないでください。電源コードが破損して、感電･火災のおそれがあります。

注記！
●床走行式リフトを使用する際は､ハイトスペーサー（KQ-P90H､KQ-027A）またはキャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用してください。このベッドに付属の脚座またはキャスター（KQ-P90C）を使用している場合、ベッドとの併用はできません。
●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。

※イラストはKQ-781を示します。



13 電動介護リフト使用時のご注意

2. 電動介護リフト（機器設置式リフト）の使用方法とご注意

■下記のベッド設置式電動介護リフト（以下、設置式リフト）が使用できます。

● KQ-786

⚠ 警告

●設置式リフトに添付されている取扱説明書もお読みください。誤った使いかたをすると、思わぬけがをするおそれがあります。

●設置式リフトの最大使用者体重は100kgです。100kgを超える方に使用すると、落下してけがをしたり、ベッドや設置式リフトが破損･変形するおそれがあります。

●ベッド操作時および設置式リフト操作時は、設置式リフトやベッドの周囲に注意してください。
- ○昇降ユニットとベッドやサイドレール、壁や周りのものなどとの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- ○昇降ユニットやアームが人に当たってけがをしたり、ベッドや家具などに当たり破損するおそれがあります。
- ○ハンガーフックがサイドレールに引っ掛かり、設置式リフトやサイドレールなどが破損・変形するおそれがあります。
- ○特に、予測できない行動をとると思われる方や体位を自分で保持できない方には十分注意してください。

●ベッドの電源コードは設置式リフトの取扱説明書を参照し、正しく配線してください。誤った配線で設置式リフトを使用すると、ベッドの電源コードが断線したり破損して、感電・火災のおそれがあります。

⚠ 注意

●ベッドは、一旦停止位置以下では使用しないでください。設置式リフトのサイドフレームとベッドのオプション受が接触し、設置式リフトのサイドフレームやベッドのオプション受が破損するおそれがあります。

注記!

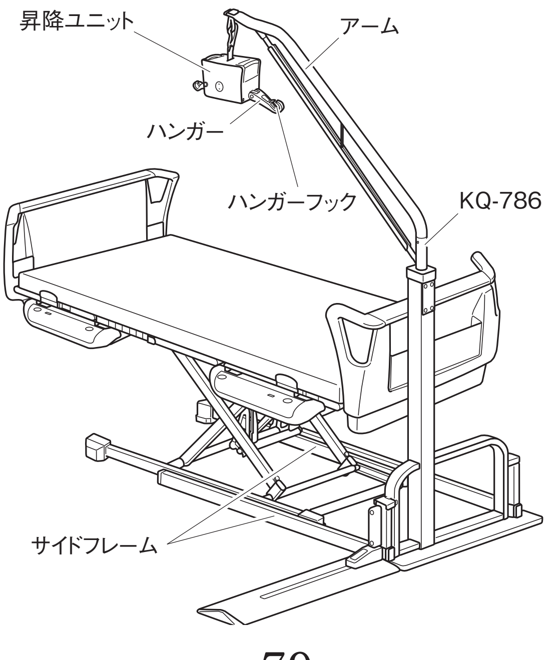
● 1 モーターシリーズをご使用の場合、足側への取付けはできません。

●設置式リフトを使用する際は、キャスター（KQ-P90C）・ハイトスペーサー（KQ-P90H・KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）との併用はできません。

● IV ポールホルダー（KQ-P90V）をご使用の場合、IV ポールホルダー（KQ-P90V）を取付けている側へ、設置式リフトを取付けることはできません。

●延長フレーム（KQ-P90L・KQ-P92L）をご使用の場合、足側への取付けはできません。

●仕様変更などによりこの取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合せください。



14 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

1. 背さげのしかた

■停電時やベッドの故障により、背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。背さげ操作は、以下の手順で行ってください。
停電時以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合､83 ～ 84 ページの「16 故障かな？と思ったら」に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店もしくはパラテクノコールセンター(102ページ参照)までご連絡ください。

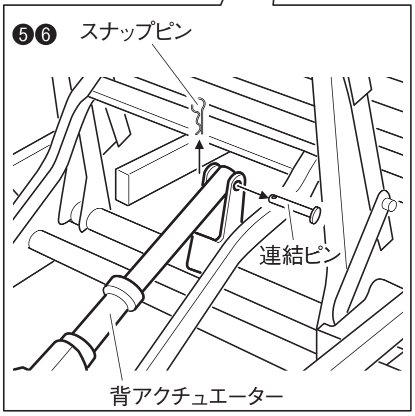
⚠ 注(ちゅう) 意(い)	●作業は2人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。

❶ベッドの電源プラグをコンセントから抜いてください。

❷ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。

❸ヘッドボードを取外してください。（87 ページ参照）

❹背ボトムと背あげリンクを支えてください。

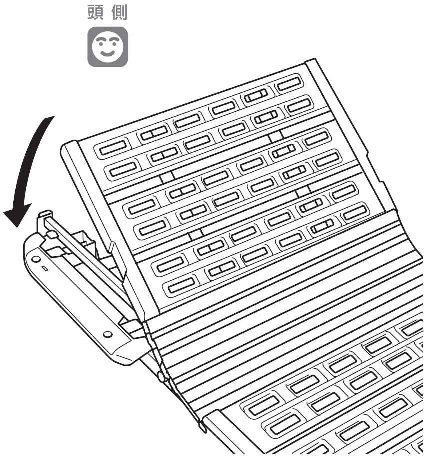


⚠ 注(ちゅう) 意(い)	●背膝連動に設定している場合は、背あげリンクをしっかりと持って操作してください。背あげリンクがさがり、けがをするおそれがあります。

❺背アクチュエーターの先端の連結ピンについているスナップピンを取外してください。

❻連結ピンを取外してください。連結ピンを取外すと背あげリンクが自由に動くようになります。

注記！ ●取外した連結ピンおよびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。



❼背あげリンクを降ろしてから背ボトムをゆっくり降ろしてください。

❽ヘッドボードを取付けてください。

注記！ ●この作業を行ったときは、復帰作業を行って元の状態に戻すまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

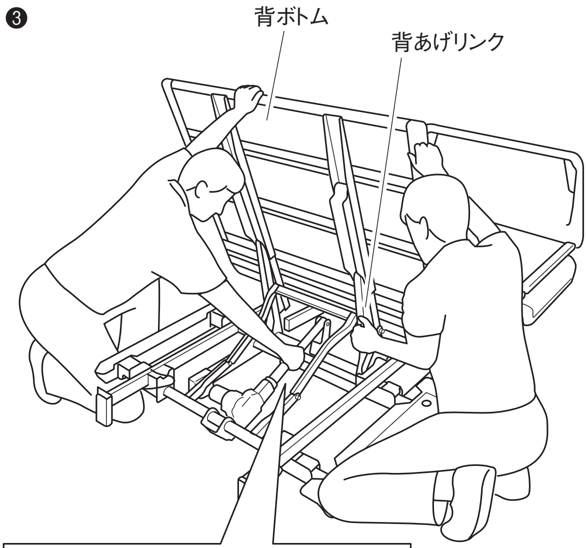
14 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

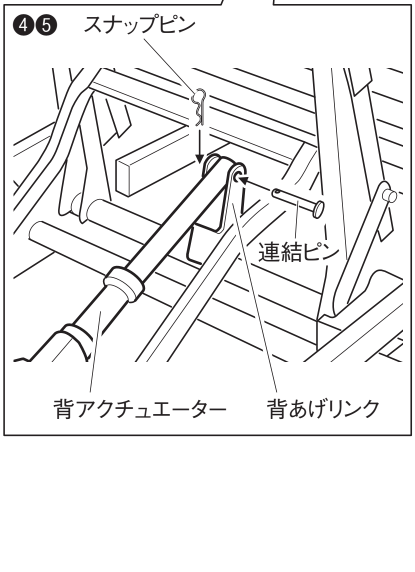
2. 戻しかた

■停電の時には、電源が回復した後に、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、65～70ページの「10 組立後の点検」に従い、点検を行ってください。

⚠ 注意（ちゅうい）	●作業は２人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。

使用する部品	取外した連結ピン、スナップピン各１本

❸




❶ベッドをご使用の方にベッドから降りていただき、寝具･マットレスなどをベッドから降ろしてください。

❷ヘッドボードを取外してください。
（87ページ参照）

❸背ボトムと背あげリンクを持ちあげ、支えてください。

注記！ ●２モーター・１モーターシリーズをご使用の場合、背膝連動を解除し（「背あげ」に切換え）た方が作業がしやすくなります。（37～38ページ参照）

❹背アクチュエーター先端の穴と背あげリンクの穴の位置をあわせ、取外してあった連結ピンを差込んでください。

❺連結ピンが抜けないようにスナップピンを差込んでください。

❻ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。

❼手元スイッチを操作して背ボトムを一番下までさげてください。

❽ヘッドボードを取付けてください。

15 定期点検と日常のお手入れ

1. 定期点検

■安全にご使用いただくために、1 年に 1 回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。
（点検項目は、65 ～ 70 ページ「10 組立後の点検」を参照してください。）

■異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター（102 ページ参照）までお問い合せください。

2. 日常のお手入れ

⚠ 警告（けいこく）	●誤操作によるはさまれを予防するため、電源プラグをコンセントから抜いてお手入れを行ってください。 ●ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電するおそれがあります。

⚠ 注意（ちゅうい）	●ベッドのお手入れの際は、ベッド各部の突起部分でけがをしないように注意してください。

■汚れを落とす場合（ベッド本体）

●下記❶～❸の手順で行ってください。

❶水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
❷水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
❸乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

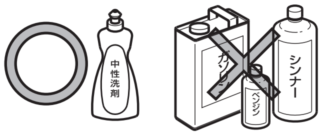
■消毒する場合

●必ず下記の消毒剤を、指定の濃度、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

76.9 ～ 81.4%	消毒用エタノール
0.05 ～ 0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
0.05 ～ 0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）
0.02 ～ 0.05%	次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）

※別の方がベッドを使用する前には、ベッドを消毒することをおすすめします。

⚠ 注意（ちゅうい）	●揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。 ●消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。 ●中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。



注記！ ●オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

■オプションなど

●各オプションに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

■マットレス

●マットレスに添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

16 故障かな？と思ったら

■故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。

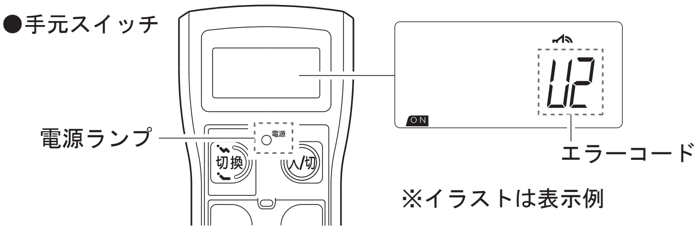
■チェック･処置をしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて､販売店またはパラテクノコールセンター（102 ページ参照）まで修理をご依頼ください。

■以下の症状により､電動で背さげをできない場合は､手動で背さげを行ってください。(80 ～81 ページ参照)

■地震・火災・水害などで被災したベッドは、販売店またはパラテクノコールセンター（102 ページ参照）まで点検・修理をご依頼ください。電装品のショートや漏電による感電・火災、ベッドの変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

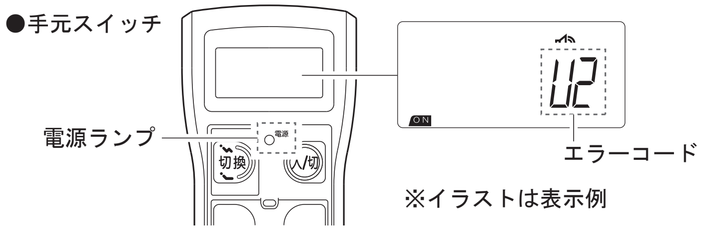
■故障や一時的異常の場合は液晶表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードをご確認ください。

※エラーコードはらくらくモーションシリーズのみ表示します。



※イラストは表示例

状態（症状）	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
●操作ボタンを押しても、ベッドが動かない。	消灯	–	●電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差込んでください。	–
			●電源プラグはコンセントに差込んでいるが、手元スイッチの電源ランプが消えていませんか？	●コンセントに他の電気機器のプラグを差込んで、電気が来ているかを確認してください。	–
	常時オレンジで点灯	–	–	●入 / 切ボタンを押して、手元スイッチの電源を「入」にしてください。	20
	操作ボタンを押したときだけ、オレンジで点灯	–	–	●全禁止スイッチを押して、手元スイッチのロックを解除してください。	26
	緑で点灯	–	●押した操作ボタンの操作選択ランプが消えていませんか？	●動作部位選択スイッチを操作して、ボタン操作を有効に設定してください。	27
	常時赤で速い点滅（0.2 秒毎）	H2・H3・H6	–	●一度電源プラグを抜き、手元スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差込んでください。	–
	ボタンを押したときだけ、赤で速い点滅（0.2 秒毎）	H1	●連続使用しましたか？	●約 20 分間放置してコントロールボックスが冷えるのを待ってください。	–
		H4・H5	●アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	●アクチュエーターのコネクターを差しなおしてください。	–



※イラストは表示例

状態（症状）	手元スイッチの電源ランプ	手元スイッチのエラーコード	チェック	処置	参照ページ
●操作ボタンを押しても、ベッドが動かない。	ボタンを押したときだけ、赤で遅い点滅（1 秒毎）	U0	●電源プラグをコンセントに差込んだときに、操作ボタンが押されていませんか？ ●入 / 切ボタンを押して手元スイッチの電源を入れるときに、操作ボタンが押されていませんか？	●押されているボタンを離してください。	―
		U1	●可動部分に障害物はありませんか？	●障害物を取り除いてから、操作を行ってください。	―
		U2	●ベッド上で電子治療機器などを使用していませんか？	●電子治療機器などを使用する場合は、電源プラグを抜いてからご使用ください。通信状態の異常を検知する保護機能が働いた場合があります。故障ではありません。	―
		U3・U4	●連続使用しましたか？（アクチュエーターが過熱すると、保護機能が働き動作が停止する場合があります）	●約 20 分放置して、アクチュエーターが冷えるのを待ってください。（完全に冷える前に操作をしますと、再度点滅状態になります。完全に冷えるまで放置してください）	―
●操作したボタンと異なる部位が動作する。	緑で点灯	―	●頭（足）のあげボタンを押したときに、膝（背）もさがりましたか？	●角度制限機能が働いているためで、故障ではありません。	21、23
			●らくらく動作表示 ON が点灯していませんか？	●背ボトムの動作がらくらくモーションに設定されています。故障ではありません。	21 ～ 22
			●アクチュエーターが正しく配線されていますか？	●アクチュエーターのコネクターを外し、正しく配線してから操作を行ってください。	52 ～ 53
●手元スイッチの点検お知らせ表示（ランプ）が点滅している。	―	―	―	●電装品の点検時期であることを表示しています。販売店またはパラテクノコールセンター（102 ページ参照）までご連絡ください。	29

●修理のご依頼やお問い合せの際は、製品識別表示ラベル（43 ～ 45 ページ参照）に表示された番号もあわせてご連絡ください。

17 長期保管と移動（移設）について

1. 長期保管

■長期にわたりベッドをご使用にならないときは下記の点にご注意ください

●高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
温度－10 ～ 50℃、湿度 30 ～ 90% RH の環境で保管してください。

●取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。

■組みあがった状態でベッドを保管する場合

●背ボトム、膝ボトムを水平にしてください。

●ベッドの高さを最低位置までさげてください。

●ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。

●ベッドは壁に立て掛けたりせず、ゆかに水平のまま保管してください。

●電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードをはさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

■分解して保管する場合（ベッドの分解は販売店にご依頼されることをおすすめします）

● 87 ～ 99 ページ「18 ベッドの分解方法」に従って分解・保管をしてください。
※使用を再開する場合は、46 ～ 64 ページ「9 ベッドの組立方法」に従って正しく組立てた後、65 ～70 ページ「10 組立後の点検」に従い、点検を行ってください。

2. 移動（移設）

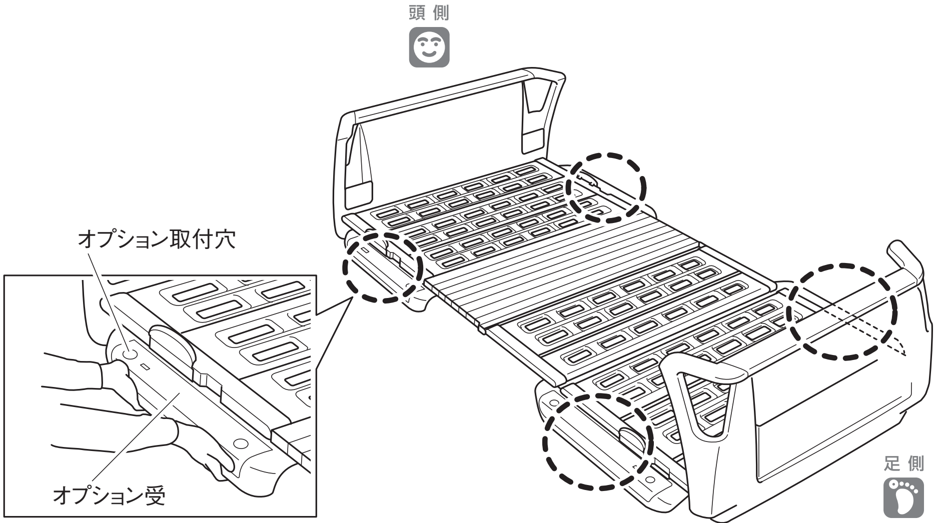
1. 組みあがった状態でベッドを移動（移設）する場合

●背や腰などを痛めないよう、少なくとも 4 人で運んでください。

●ベッドを使用している方にベッドから降りていただき、寝具、マットレスを降ろし、オプション（サイドレール、介助バーなど）を取外してください。

●オプション受がしっかりと固定されていることを確認し、頭側フレームと足側フレームのオプション受中央部（オプション取付穴の間）のフレーム部を持って運んでください。

●手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損、傷から守るため束ねてベッド本体に固定して運んでください。

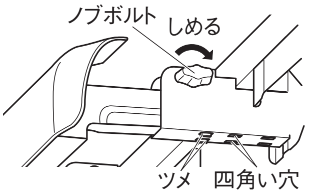


オプション受中央部（オプション取付穴の間）のフレーム部を持つ

⚠ 警告

●移動（移設）の際、オプション受はオプション受のツメを本体の四角い穴に入れ、ノブボルトでしっかりと固定した状態で持ってください。オプション受ががたついたり外れたりして、けがをするおそれがあります。

●指定の場所以外を持って持ちあげたり運ばないでください。ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。



⚠ 注意

●オプション受のカバー上部や両端を持つと、カバーが破損してけがをするおそれがあります。

●オプション受を持つ際、カバー裏面の突起部分に指などを触れないでください。けがをするおそれがあります。

●キャスター（KQ-P90C）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用する場合、段差や傾斜のある路面での移動は避けてください。故障の原因となります。特にキャスター（KQ-P90C）を使用する場合、ベッドの部品とゆかとのすき間が少ないため、ゆかを傷つけるおそれがあります。やむを得ない場合はベッドをできるだけゆっくりと動かして移動させてください。

2. 分解して移動（移設）させる場合（ベッドの分解は販売店にご依頼されることをおすすめします。）

● 87 ～ 99 ページ「18 ベッドの分解方法」に従って分解してください。

※使用を再開する場合は、46 ～ 64 ページ「9 ベッドの組立方法」に従って正しく組立てた後、65 ～ 70 ページ「10 組立後の点検」に従い、点検を行ってください。

18 ベッドの分解方法

■ベッドの分解は販売店に依頼することをおすすめしますが、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

注記！
●取外した連結ピン・スナップピンなどは、紛失しないように保管してください。
（組立付属部品が入っていたパックに収納することができます）

注意	●ベッドの分解は手順に従って行ってください。手順どおりに行わないと、コード類が断線したり、ベッドが破損・変形するおそれがあります。 ●キャスター（KQ-P90C）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用している場合は、キャスターを固定状態（回転・旋回しない状態）にしてから作業を行ってください。固定状態になっていない場合、分解作業中にベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

1. 分解作業の前に

❶ベッドのオプション（サイドレール・介助バーなど）をベッドから取外してください。

❷寝具・マットレスなどをベッドから降ろしてください。

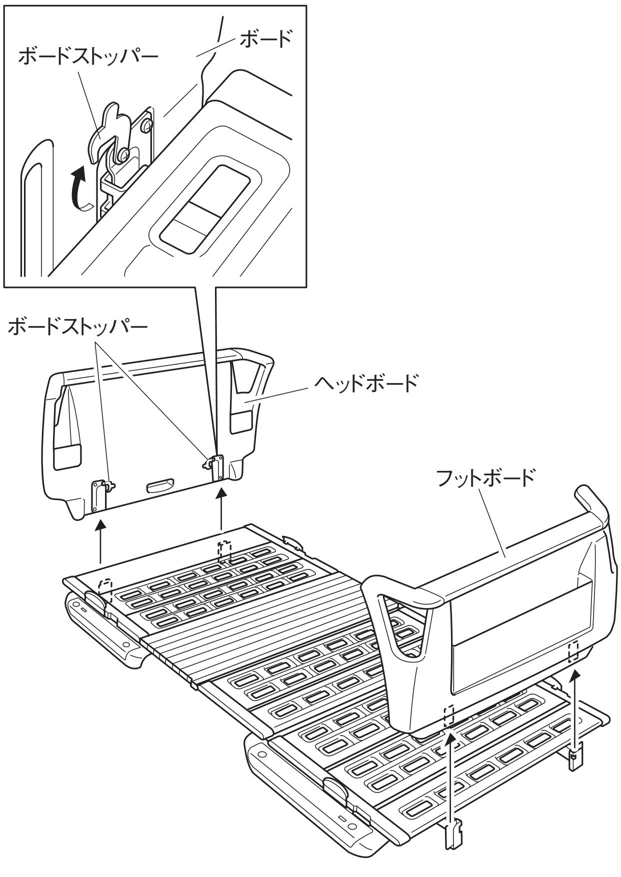
❸電源プラグをコンセントに差込んでください。

❹ベッドの高さを一番下までさげてください。
（らくらくモーション･3モーター･2モーターシリーズ）

❺背ボトムと膝ボトムを最低位置までさげてください。

❻電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. ヘッドボード・フットボードの取外し

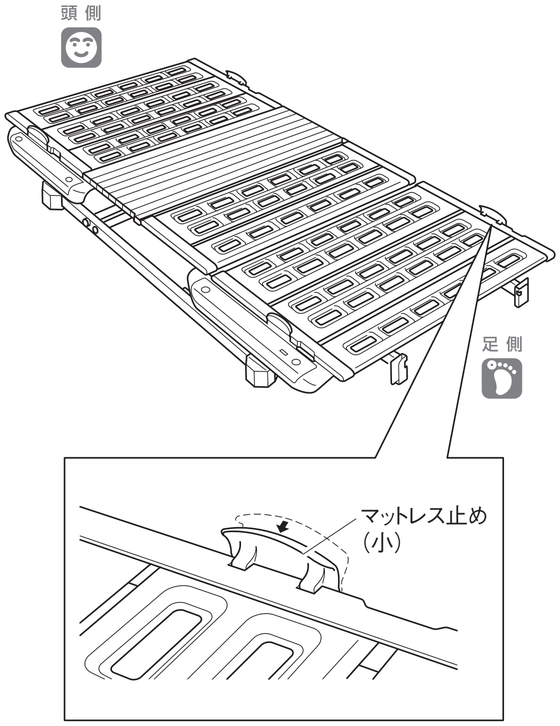


❶ヘッドボード左右のボードストッパーを外してください。

❷ヘッドボードを真上に持ちあげて取外してください。

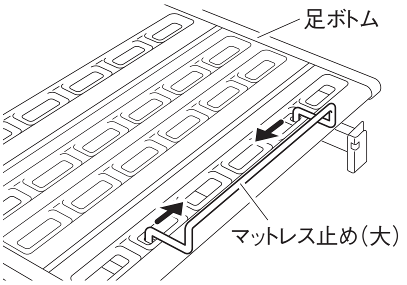
❸フットボードも同様に取外してください。

3. マットレス止めの取外し

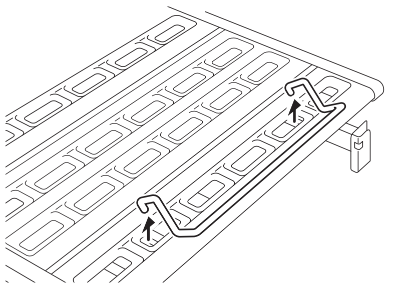


❶マットレス止め（小）を内側に倒してください。

❷マットレス止め（小）を真上に持ちあげ、取外してください。
（背ボトム、足ボトム左右各 1 ヶ所）



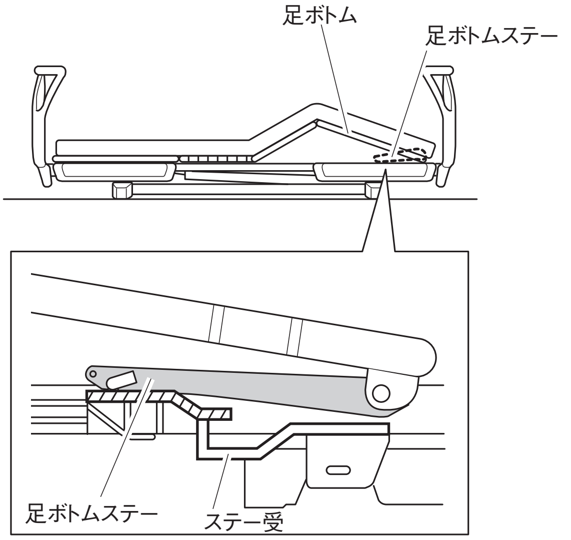
❸マットレス止め（大）の先端を内側に押しながら真上に持ちあげ、溝部を足ボトムの長穴から外してください。

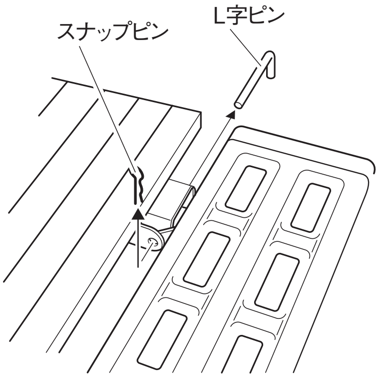


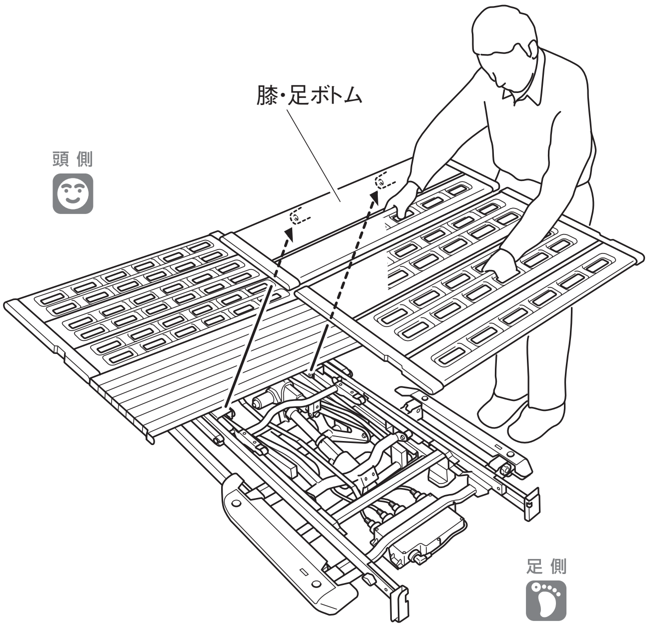
❹図のようにマットレス止め（大）を傾けながら真上に持ちあげて取外してください。

18 ベッドの分解方法

4. ボトムの取外し







■ 4-1. 膝・足ボトムの取外し

❶足ボトムが「足先さげ」の状態になっていることを確認してください。
※「足先あげ」の状態の場合には、35 ~ 36 ページを参照して「足先さげ」の状態に切換えてください。

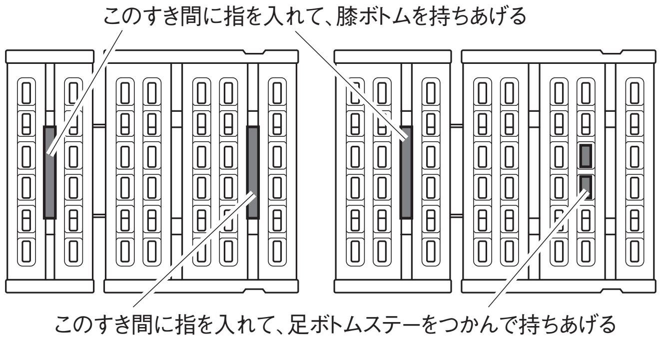
⚠ 注(ちゅう) 意(い)	●足ボトムの状態に注意してください。「足先あげ」の状態で作業を行うと、膝・足ボトムを取外す際、足ボトムステーがステー受に引っ掛り、ベッドが変形するおそれがあります。

❷スナップピンを抜いて、膝・足ボトム、キューマボトムとベッドフレームを連結しているL字ピンを抜き取ってください。

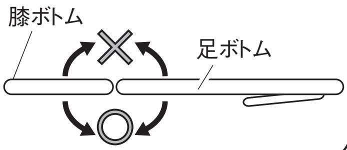
注記!
●L字ピンが抜きにくい場合は、膝ボトムを少し持ちあげてください。

❸図のようにと足ボトムステーをボトムの上からつかんで持ちあげ、膝・足ボトムをベッドフレームから取外してください。

ミニ	レギュラー



⚠ 注(ちゅう) 意(い)	●膝・足ボトムを逆向きに折りたたまないでください。破損・変形するおそれがあります。



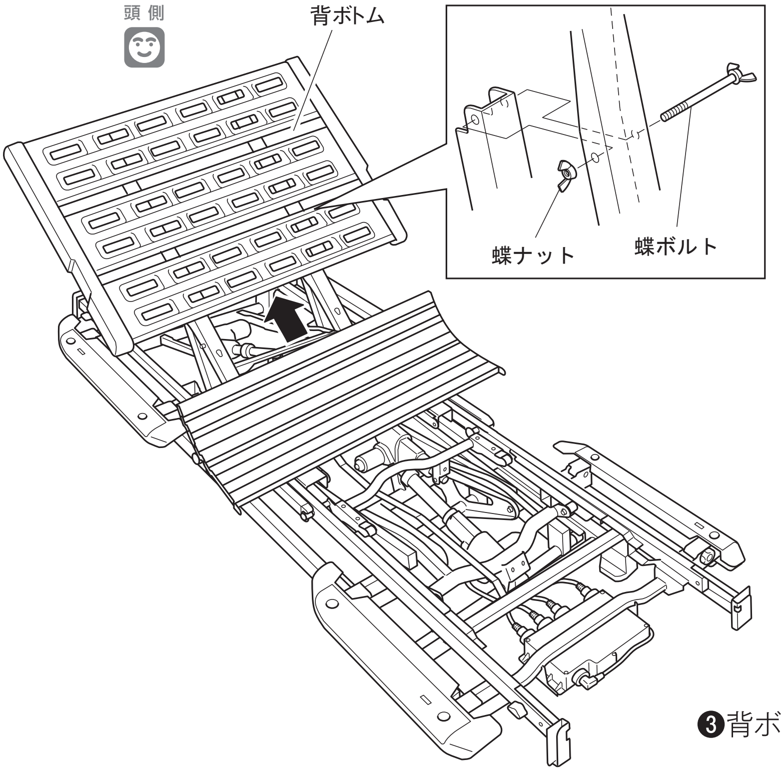
■ 4-2. 背ボトムの取外し

❶電源プラグをコンセントに差込んでください。

❷手元スイッチの入 / 切ボタンを押して、ベッドの電源を入れてください。

注記！

●らくらくモーションシリーズをお使いの方は、らくらく切換ボタンを押して、「背あげ」にしてから作業を行ってください。（操作方法は 21 ページ参照）



❸背ボトムを約 40° まであげてください。

❹電源プラグをコンセントから抜いてください。

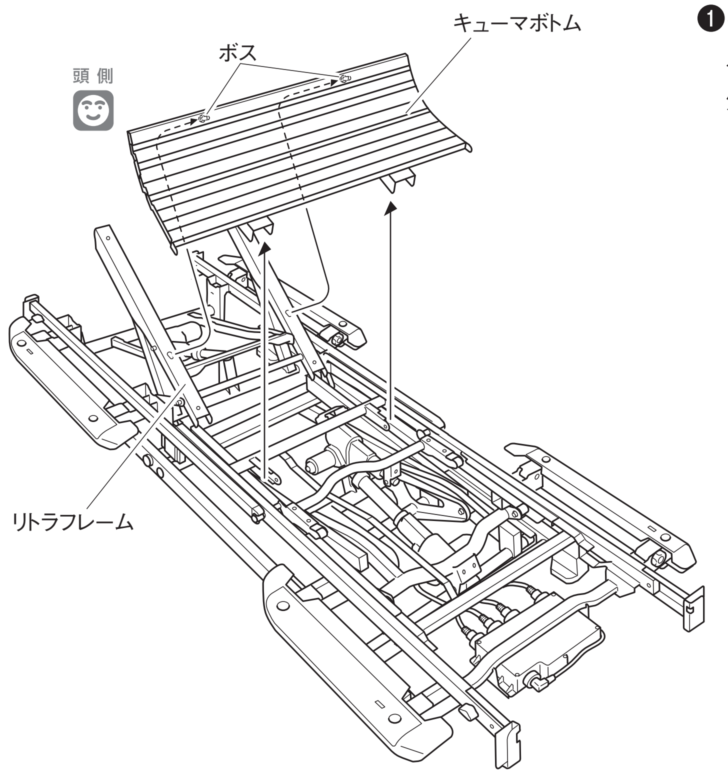
❺背ボトムの裏の蝶ナットを取外し、蝶ボルトを引き抜いて取外してください。

❻背ボトムを持ちあげ、リトラフレームから取外してください。

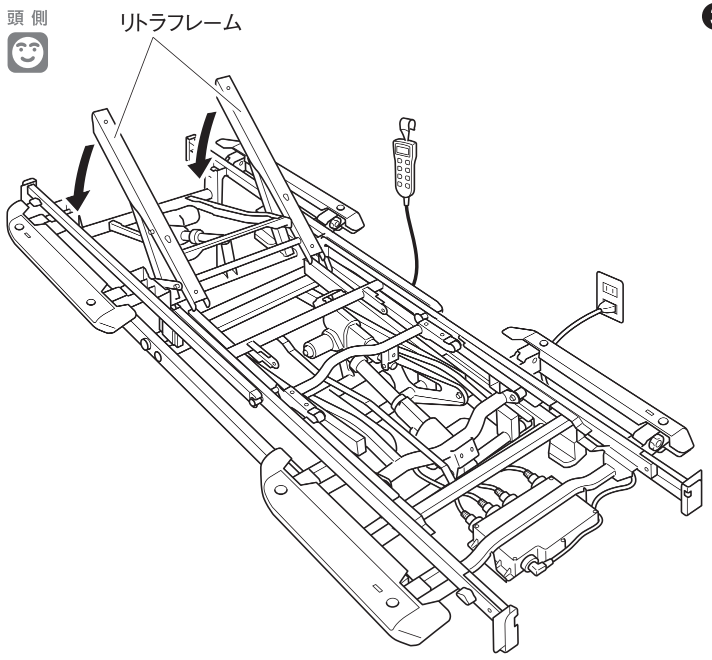
18 ベッドの分解方法

4. ボトムの取外し

■ 4-3. キューマボトムの取外し



❶キューマボトムをベッドの頭側に引きながら、左右のボスをリトラフレームから外し、キューマボトムを取外してください。

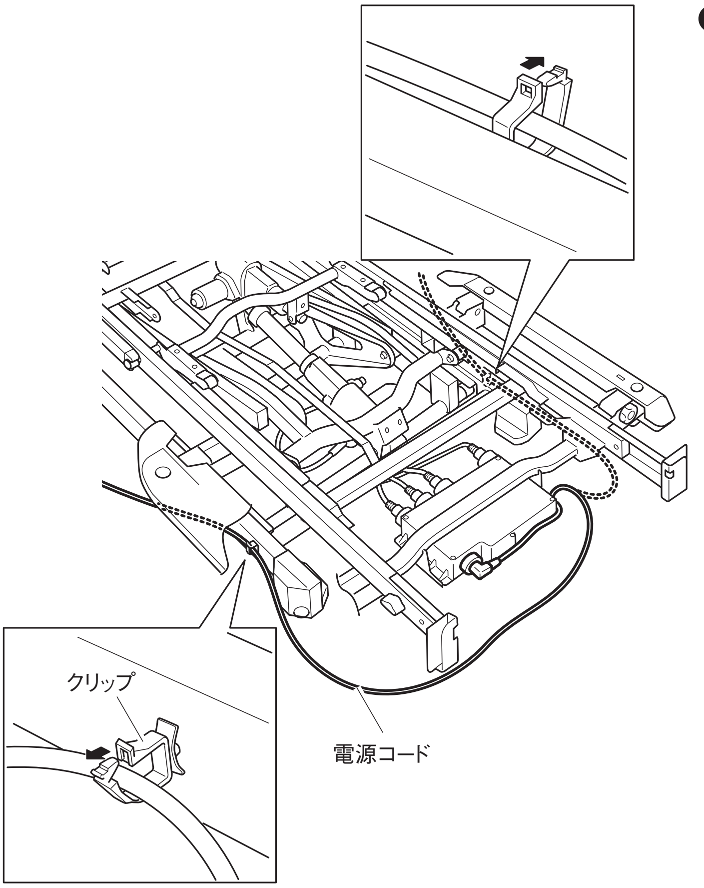


❷電源プラグをコンセントに差込み、手元スイッチの頭 (↓)（らくらくモーションシリーズの場合は、らくらく／頭 (↓)）ボタンを押して、リトラフレームを一番下までさげてください。

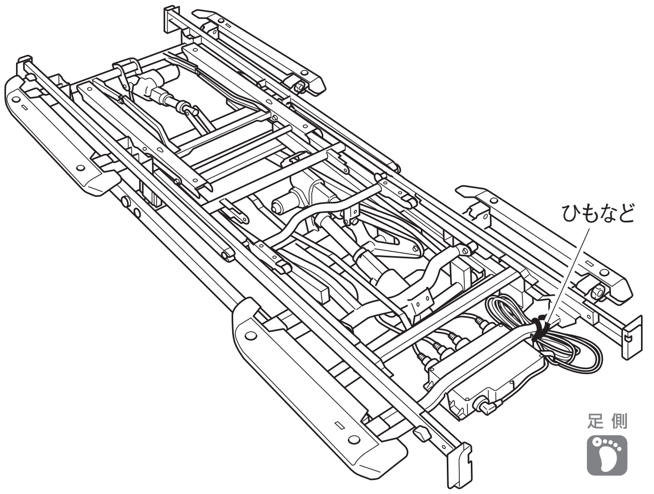
❸電源プラグをコンセントから抜いてください。

5. コード類の配線の取外し

■ 5-1. 電源コードの取外し



❶ベースフレームのクリップに電源コードを止めている場合は、クリップから電源コードを取外してください。

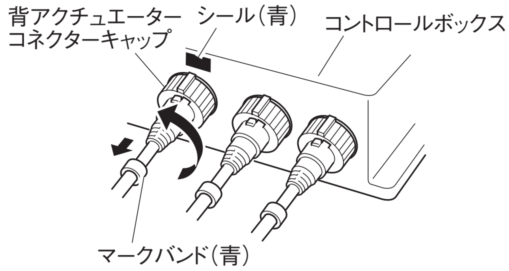


❷電源コードをまとめ、足側フレームにひもなどで固定してください。

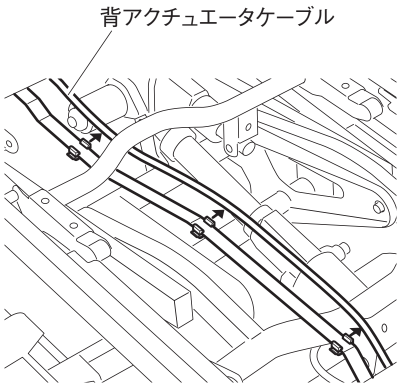
18 ベッドの分解方法

5. コード類の配線の取外し

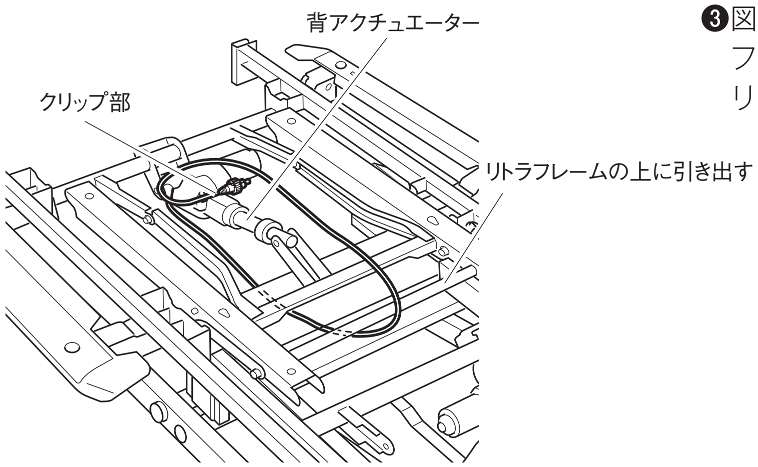
■ 5-2. 背アクチュエーター配線の取外し



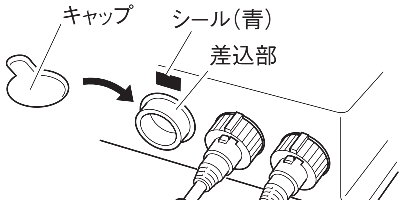
❶背アクチュエーターのコネクターキャップを反時計回りに回して、コントロールボックスの差込部（青色）からコネクターを引き抜いてください。



❷背アクチュエーターのケーブルを足側フレームのケーブルクリップ（3ヶ所）から取外し、背アクチュエーター側へ引き出してください。



❸図のように、背アクチュエーターのケーブルをリトラフレームの上に引き出し、背アクチュエーターのクリップ部に固定してください。



❹組立ての際に取外したキャップを、コントロールボックスの背アクチュエーター差込部（青色）に差込んでください。

注記！ **●コントロールボックスの保護のため、キャップは必ず差込んでください。**

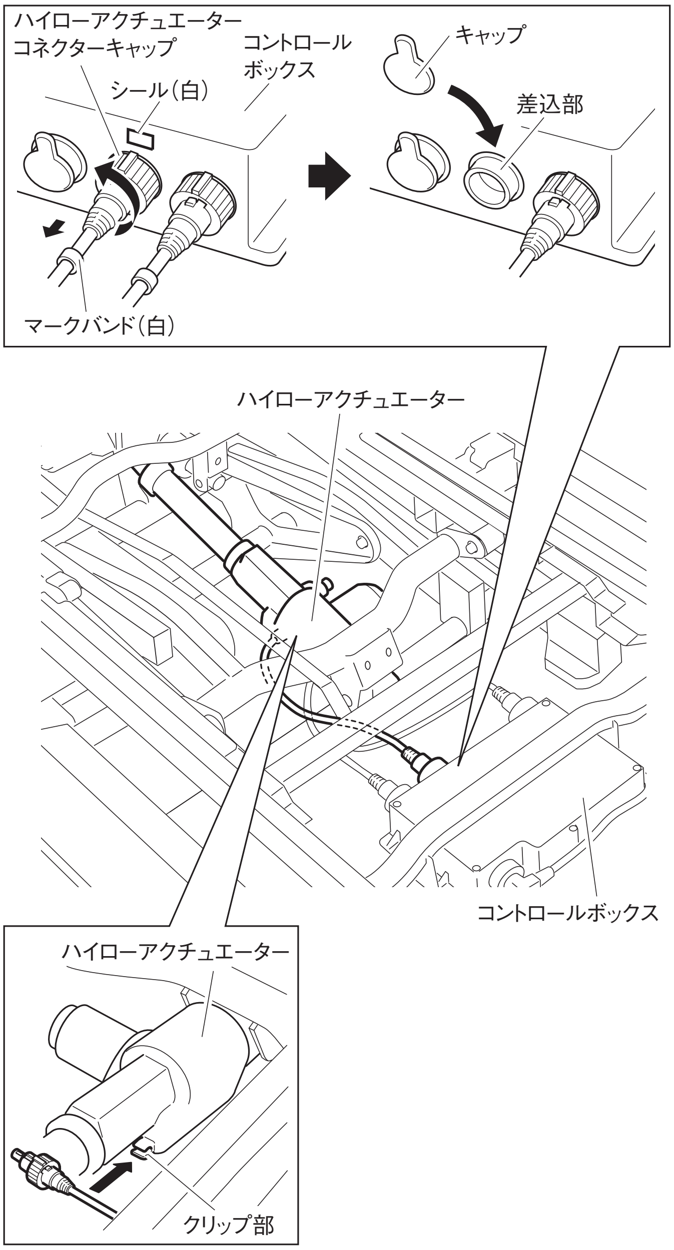
⚠ 注意

●コネクター部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。
●搬送・保管時はアクチュエーターのクリップ部にケーブルを固定してください。

1モーター ▶P.95　らくらく 3モーター 2モーター ▶P.94

■ 5-3. ハイローアクチュエーター配線の取外し

らくらく　3モーター　2モーター



❶ハイローアクチュエーターのコネクターキャップ を反時計回りに回して、コントロールボックスの差込部（白色）からコネクターを引き抜いてください。

❷ケーブルをハイローアクチュエーターのクリップ部に固定してください。

❸組立ての際に取外したキャップを、コントロールボックスのハイローアクチュエーター差込部（白色）に差込んでください。

注記!

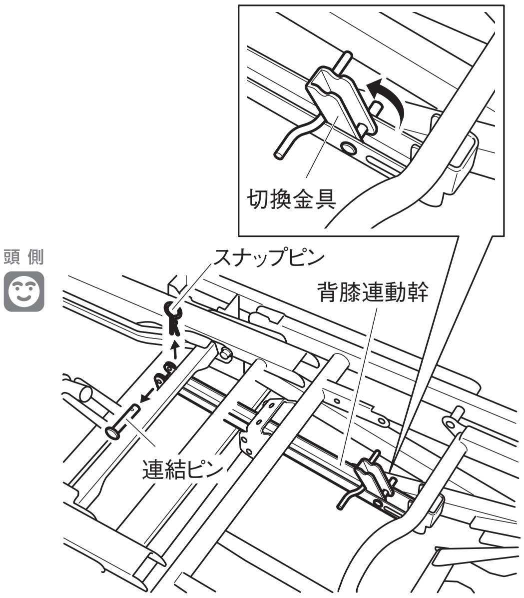
●コントロールボックスの保護のため、キャップは必ず差込んでください。

⚠注意（ちゅうい）	**●コネクター部を落としたり、衝撃を加えたり、はさんだりしないでください。コネクター部が破損するおそれがあります。** **●搬送・保管時はアクチュエーターのクリップ部にケーブルを固定してください。**

2モーター 1モーター ▶P.95　らくらく 3モーター ▶P.96

18 ベッドの分解方法

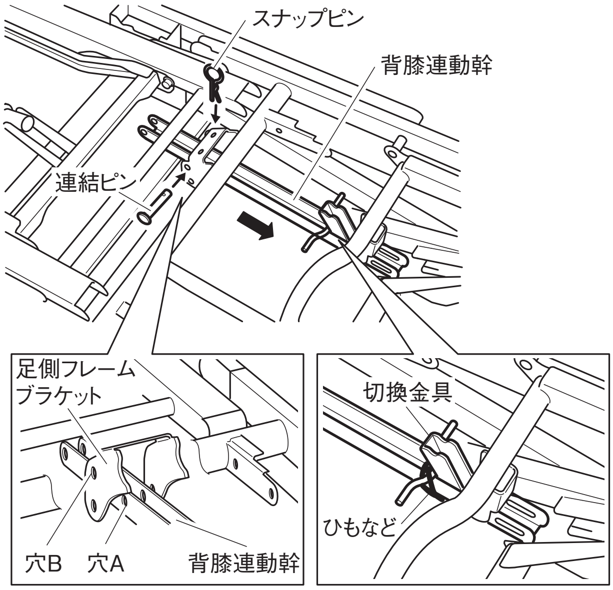
6. 背膝連動幹の取外し 2モーター 1モーター



❶設定が「背あげ」状態になっていることを確認してください。
※背膝連動に設定している場合は、38ページを参照して切換金具をあげ、背膝連動を解除してください。

❷背膝連動幹を支えながら先端（頭側）のスナップピンを抜いて、連結ピンを引き抜き、背あげリンクから背膝連動幹を取外してください。

注記！ **●連結ピンを取外す際は、背膝連動幹を手で支えてください。**

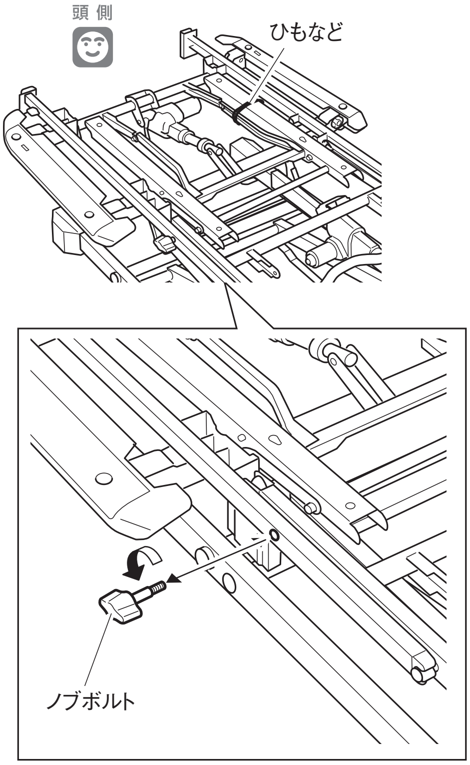


❸背膝連動幹を足側にずらし、背膝連動幹の穴Aと足側フレームのブラケットの穴Bの位置をあわせ、❷で取外した連結ピンとスナップピンで背膝連動幹を固定してください。

❹切換金具が動かないように、ひもなどで固定してください。

7. 頭側フレームの取外し

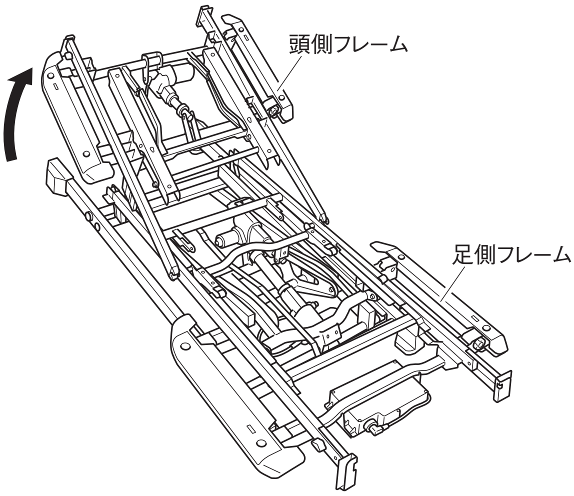
●オプション受を格納するとユニットを小さくできます。(格納方法は 33 ~ 34 ページ参照)



❶リトラフレームをひもなどで固定してください。

❷頭側フレームと足側フレームを固定しているノブボルトを取外してください。(左右各1ヶ所)

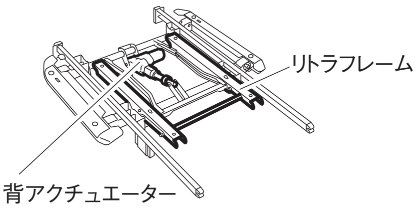
注記!
●**背アクチュエーターのケーブルが他のユニットのフレームなどを通っていないことを確認してください。**



❸頭側フレームを足側フレームから取外してください。

⚠ 注意

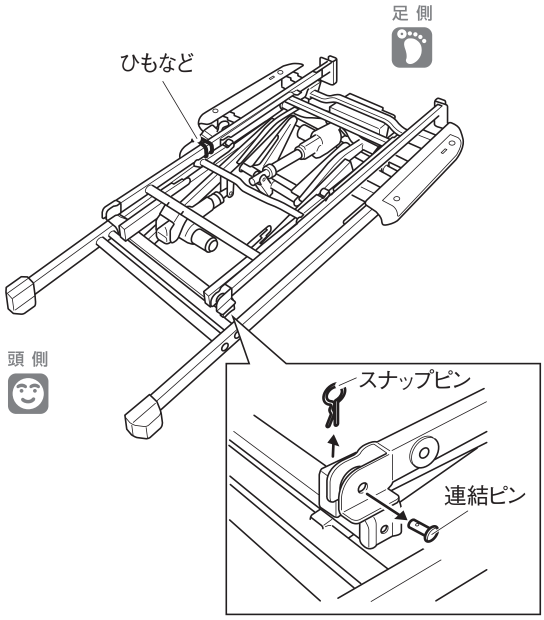
●**背アクチュエーター・リトラフレームなどを持って、運搬や分解を行わないでください。けがや破損の原因となります。**



18 ベッドの分解方法

8. 足側フレームの取外し

■オプション受を格納するとユニットを小さくできます。（格納方法は 33 ～ 34 ページ参照）



注記

●キャスター（KQ-P90C）を使用している場合は、キャスターの取扱説明書に従って、キャスターを正しく取外してください。

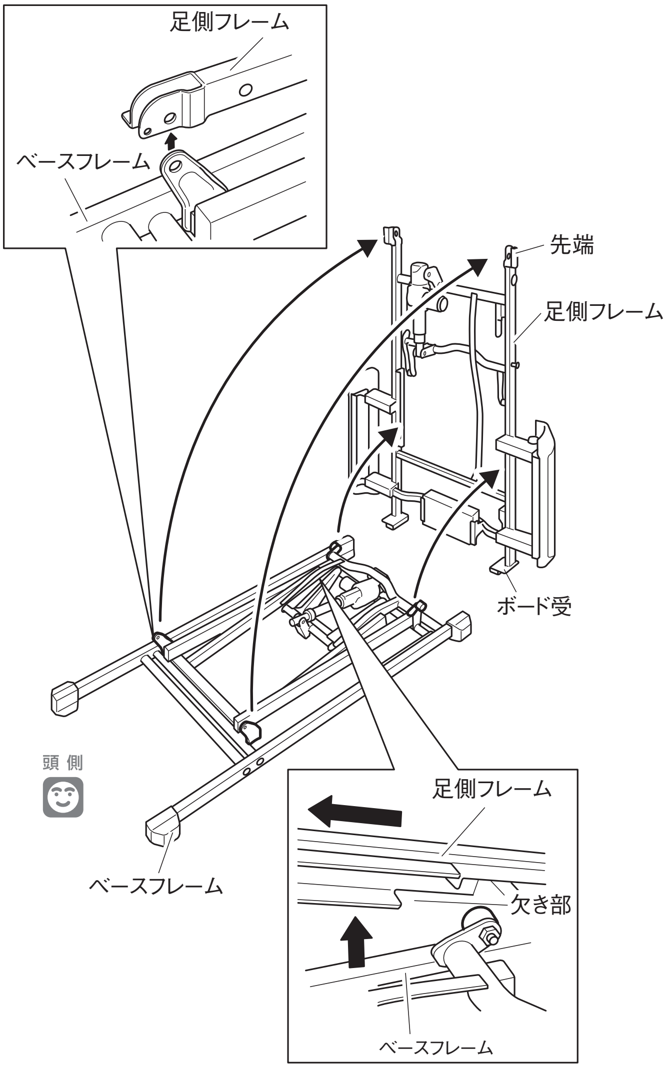
❶膝あげリンクをひもなどで固定してください。

❷手元スイッチコードをひもなどで足側フレームに固定してください。

❸足側フレームとベースフレームを連結しているスナップピンを抜いて、連結ピンを取外してください。（左右各 1 ヶ所）

※ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用している場合は、❹以降の作業は 98 ページ「ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）使用している場合」を参照ください。

❹❺

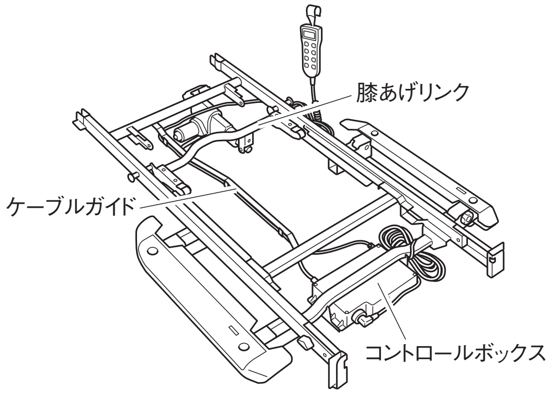


❹足側フレームの先端を少し持ちあげながら、図のようにベースフレームのローラーが足側フレームのローラー受の欠き部にくるまで、頭側にスライドさせてください。

❺足側フレームの先端を持ちあげて、ベースフレームから取外してください。

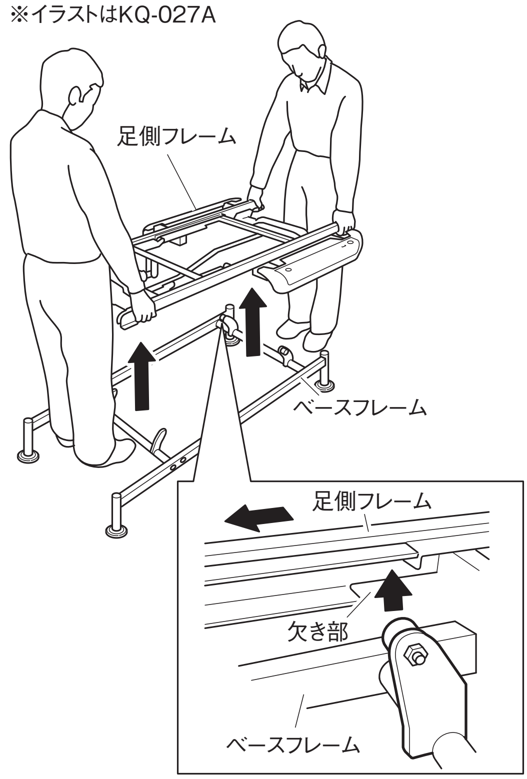
⚠ 注（ちゅう） 意（い）

●膝あげリンクやケーブルガイド、コントロールボックス周辺部を持って運搬や分解を行わないでください。けがや破損の原因となります。



■ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）を使用している場合

※イラストはKQ-027A



注記！ ●ハイトスペーサー（KQ-027A）・キャスター付ハイトスペーサー（KQ-P90CH）の取扱説明書もあわせてご確認ください。

⚠ 注意	●作業は２人以上で行ってください。手や腕などをはさまれ、けがをするおそれがあります。

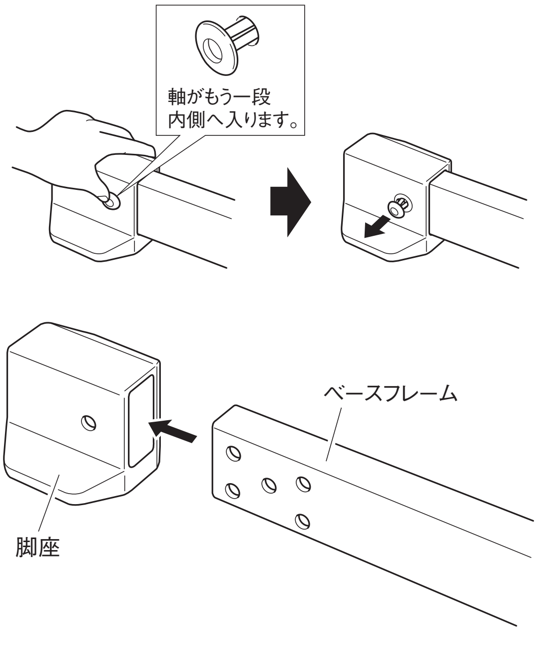
❹足側フレームを２人以上で持ち、ベースフレームのローラーが足側フレームのローラー受の欠き部の真上にくるまで足側フレームを頭側にスライドさせてください。

❺足側フレームを持ちあげて、ベースフレームから取外してください。

脚座を取外したいときは

キャスター・ハイトスペーサーなどを使用する場合や、ベースフレームから脚座を取外して保管したい場合は、以下の手順に従って脚座を取外してください。

⚠ 注意	●ベースフレームから脚座を取外すときは、ベッドを分解してベースフレームのみの状態にしてから作業を行ってください。



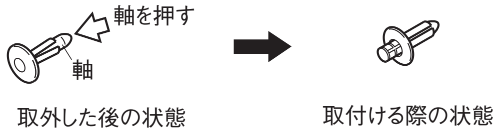
❶脚座を固定しているプッシュリベットの軸をカチッと音がするまで、指で押込んで固定を解除してください。
※指で押込めない場合は、押込み過ぎないように注意しながらドライバーなどで軽く押込んでください。

❷プッシュリベットを脚座から取外してください。

❸脚座をベースフレームから取外してください。（4ヶ所）

注記！ **●脚座とプッシュリベットは、紛失しないよう袋などに入れて保管してください。**

※脚座を再度取付ける際は、プッシュリベットの軸を押出してから使用してください。

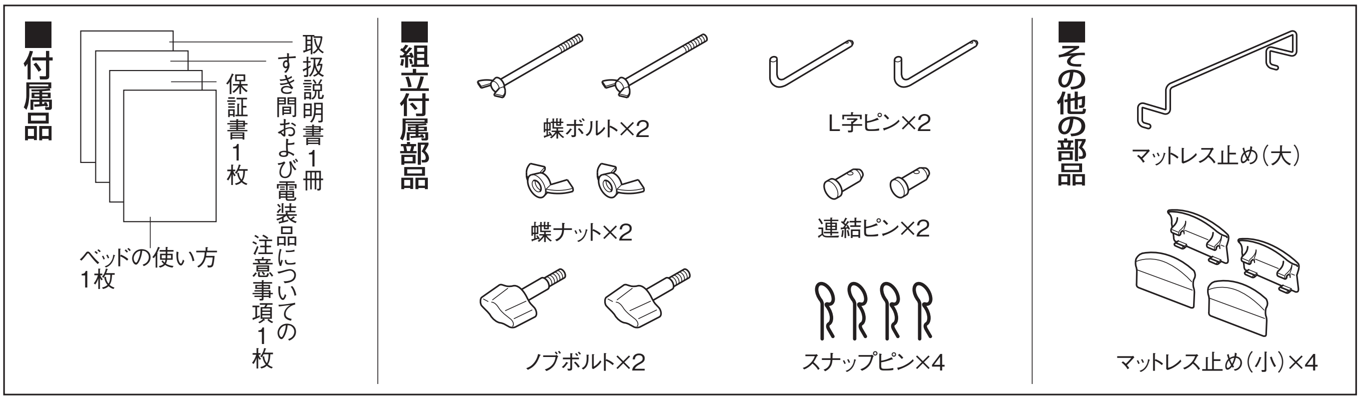


18 ベッドの分解方法

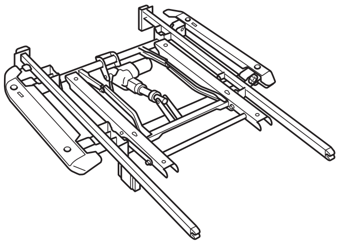
9. 付属部品と分解したユニットの保管

■付属品、組立付属部品、その他部品の保管

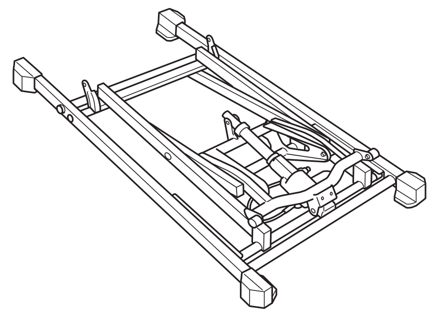
ベッドを分解した後、本取扱説明書および下記の組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて保管してください。（組立付属部品は、開梱時に部品が入っていたパックに収納することができます。）



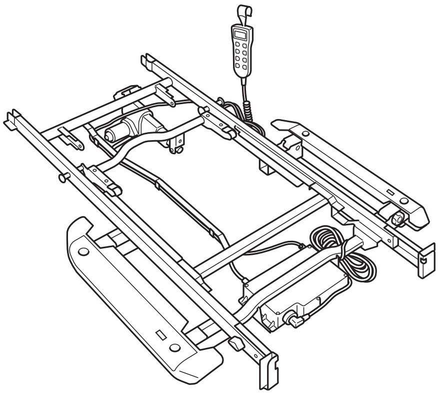
❶頭側フレーム



❷ベースフレーム

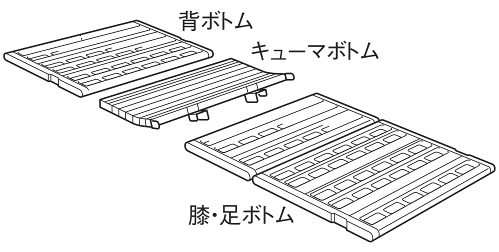


❸足側フレーム

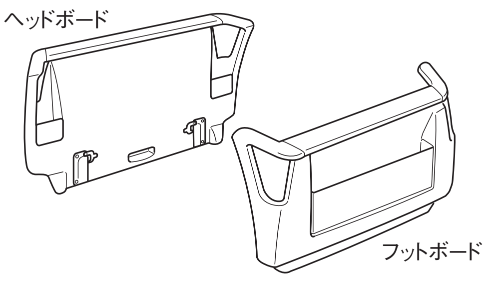


●手元スイッチ、電源コードは束ねて足側フレームと一緒に保管してください。
●梱包するときは、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすい所に明記しておくと、後日開梱するときに便利です。

❹ボトム



❺ボード



注記!

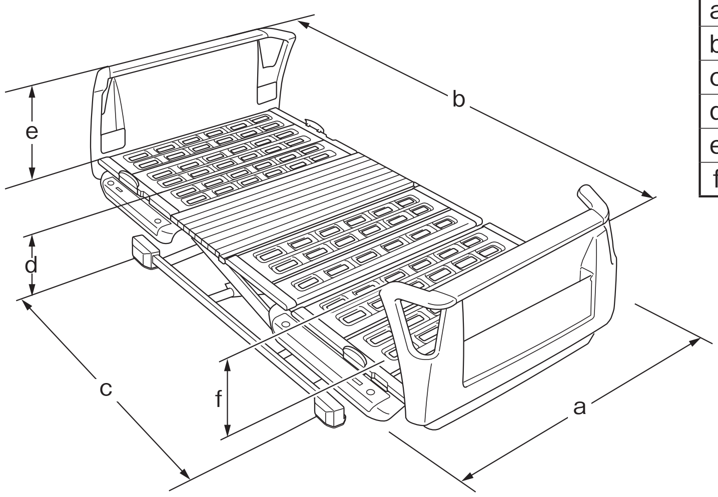
●**ボードを重ねるときは、金具でボードが傷つかないように当てものをしてください。**

19 仕様

		らくらくモーションシリーズ			3モーターシリーズ		
ベッド本体 83幅 ミニ	型番	KQ-9600	KQ-9601	KQ-9602	KQ-9300	KQ-9301	KQ-9302
	寸法（cm）	a.93[格納：86]　b.199（192）※1　c.126　d.20～65　e.39　f.39（20）※1					
	製品質量	約91kg		約92kg	約91kg		約92kg
83幅 レギュラー	型番	KQ-9610	KQ-9611	KQ-9612	KQ-9310	KQ-9311	KQ-9312
	寸法（cm）	a.93[格納:86]　b.210（203）※1　c.126　d.20～65　e.39　f.39（20）※1					
	製品質量	約92kg		約93kg	約92kg		約93kg
91幅 ミニ	型番	KQ-9620	KQ-9621	KQ-9622	KQ-9320	KQ-9321	KQ-9322
	寸法（cm）	a.100[格納:93]　b.199（192）※1　c.126　d.20～65　e.39　f.39（20）※1					
	製品質量	約93kg		約94kg	約93kg		約94kg
91幅 レギュラー	型番	KQ-9630	KQ-9631	KQ-9632	KQ-9330	KQ-9331	KQ-9332
	寸法（cm）	a.100[格納:93]　b.210（203）※1　c.126　d.20～65　e.39　f.39（20）※1					
	製品質量	約94kg		約95kg	約94kg		約95kg
電源コード長さ		有効長さ約3m					
モーター数		3モーター					
手元スイッチ		液晶タイプ8ボタン			LEDタイプ7ボタン		
主な材質	ボード	ポリプロピレン	ポリプロピレン オレフィン系シート	MDFなど オレフィン系シート	ポリプロピレン	ポリプロピレン オレフィン系シート	MDFなど オレフィン系シート
主な材質	ボトム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
頭側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
頭側フレーム	オプション受カバー	ABS樹脂	ABS樹脂 オレフィン系シート		ABS樹脂	ABS樹脂 オレフィン系シート	
足側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
足側フレーム	オプション受カバー	ABS樹脂	ABS樹脂 オレフィン系シート		ABS樹脂	ABS樹脂 オレフィン系シート	
主な材質	ベースフレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
最大使用者体重		138kg					
安全使用荷重※2		1700N（174kgf）					
最大マットレス厚※3		14（16）cm					
動作保証条件	温度／湿度	10～40℃／30～75% RH					
背あげ傾斜角度／所要時間		0～75±5°／約33秒（普通）・約25秒（速い）					
膝あげ傾斜角度／所要時間		0～30±3°／約11秒					
昇降高さ調節量／所要時間※4		約45㎝／約45秒（普通）・約31秒（速い）					
耐用期間		8年［自己認証（当社データ）による］※ただし、消耗部品は除く					

■各部の寸法

●a～fの寸法は、上記表に記載しています。



	項目	箇所
a	全幅	最大外径寸法[オプション受格納時寸法]
b	全長	最大外径寸法
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d	ボトムの高さ	ゆか～ボトム上面（最低高さ～最高高さ）
e	ヘッドボード高さ	ボトム上面～ヘッドボード上端
f	フットボード高さ	ボトム上面～フットボード上端

19 仕 様

				2モーターシリーズ			1モーターシリーズ		
ベッド本体	83幅	ミニ	型番	KQ-9200	KQ-9201	KQ-9202	KQ-9100	KQ-9101	KQ-9102
			寸法（cm）	a.93[格納:86]	b.199（192）※1	c.126	d.20～65<20>※1	e.39	f.39（20）※1
			製品質量	約89.5kg		約91kg	約73.5kg		約75kg
		レギュラー	型番	KQ-9210	KQ-9211	KQ-9212	KQ-9110	KQ-9111	KQ-9112
			寸法（cm）	a.93[格納:86]	b.210（203）※1	c.126	d.20～65<20>※1	e.39	f.39（20）※1
			製品質量	約90.5kg		約92kg	約74.5kg		約76kg
	91幅	ミニ	型番	KQ-9220	KQ-9221	KQ-9222	KQ-9120	KQ-9121	KQ-9122
			寸法（cm）	a.100[格納:93]	b.199（192）※1	c.126	d.20～65<20>※1	e.39	f.39（20）※1
			製品質量	約91.5kg		約93kg	約75.5kg		約77kg
		レギュラー	型番	KQ-9230	KQ-9231	KQ-9232	KQ-9130	KQ-9131	KQ-9132
			寸法（cm）	a.100[格納:93]	b.210（203）※1	c.126	d.20～65<20>※1	e.39	f.39（20）※1
			製品質量	約92.5kg		約94kg	約76.5kg		約78kg
	電源コード長さ			有効長さ約3m					
	モーター数			2モーター			1モーター		
	手元スイッチ			LEDタイプ5ボタン			LEDタイプ3ボタン		
	主な材質	ボード		ポリプロピレン	ポリプロピレン オレフィン系シート	MDFなど オレフィン系シート	ポリプロピレン	ポリプロピレン オレフィン系シート	MDFなど オレフィン系シート
		ボトム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
		頭側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
			オプション受カバー	ABS樹脂	ABS樹脂 オレフィン系シート		ABS樹脂	ABS樹脂 オレフィン系シート	
		足側フレーム	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
			オプション受カバー	ABS樹脂	ABS樹脂 オレフィン系シート		ABS樹脂	ABS樹脂 オレフィン系シート	
		ベースフレーム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
	最大使用者体重			138kg					
	安全使用荷重※2			1700N（174kgf）					
	最大マットレス厚※3			14（16）cm					
	動作保証条件	温度／湿度		10～40℃／30～75% RH					
	背あげ傾斜角度／所要時間			0～75±5°／約33秒（普通）・約25秒（速い）					
	膝あげ傾斜角度／所要時間			0～20±2°（背膝連動時）／—					
	昇降高さ調節量／所要時間※4			約45㎝／約45秒（普通）・約31秒（速い）			—		
	耐用期間			8年［自己認証（当社データ）による］　※ただし、消耗部品は除く					

電装品	形式	リニアアクチュエーター（DCモーター）
	電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
	消費電力	背あげ：113W以下　膝あげ：76W以下　高さ調節：168W以下
	待機電力	0.6W以下
	最大連続使用時間	約5分　（休止時間　約20分※5）

※1）（　）寸法は、木製ボード仕様（KQ-9**2）の寸法。
<>寸法は、1モーターシリーズ（KQ-91**）の寸法。
※2）安全使用荷重：ベッドの動作が行える最大荷重（使用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重）。
※3）サイドレール（KS-161Q・151Q・126シリーズ）使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。
（　）寸法は、サイドレール（KS-171Q・146シリーズ、KS-019A）、介助バー（KS-096A/B）使用時に適合する弊社製の最大マットレス厚。
注）JIS規格を満たす最大マットレス厚は以下のとおりです。
KS-161Q・151Q・126シリーズ　：15cm
KS-171Q・146シリーズ・KS-019A　：21cm
KS-096A/Bシリーズ　：17cm
※上記製品を組合せて使用する場合は、寸法が小さいものを基準にしてください。
※4）所要時間はあげる際の時間です。さげる際にゆかからボトム上面までの高さが約28㎝に達した時点で安全性確保のためブザーが鳴り一旦停止します。再度高ささげボタンを押すとブザーを繰り返し鳴らしながら低速で最低高さまでさがるため、所要時間は異なります。
※5）ベッドを最大連続使用時間（約5分）動作させた場合、電装品を過熱から保護するための時間。

20 アフターサービスについて

1. 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入が無い場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の 83 ～ 84 ページ「16 故障かな?と思ったら」に従って調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

●品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ラベルの貼付位置は 43 ～ 45 ページ参照）
●お買い上げ日
●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
●お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

●手元スイッチは消耗部品です。

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社ではこのベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後8年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合せください。

パラテクノコールセンター　フリーダイヤル **0120-54-8639**　受付時間:9:00 ～ 17:20（夏季休業·年末年始休業を除く）

【パラテクノ株式会社について】

弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

< パラマウントベッド 株式会社 >

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号　東京営業部	☎(03)3648-1171（代）
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181（代）
仙台支店	〒980-0013	仙台市青葉区花京院2丁目1番65号　花京院プラザ4階	☎(022)217-7311（代）
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707（代）
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間1715番地1	☎(042)795-8800（代）
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600（代）
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791（代）
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311（代）
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131（代）

PARAMOUNT BED

’12.03
製版：株式会社 ハル